

学会発表

Titles of Speeches at Scientific Meetings etc.

斎藤嘉朗, 荒川憲昭: ツールの開発・標準化に関するレギュラトリーサイエンス研究者からの期待と課題.
第14回 レギュラトリーサイエンス学会学術大会
(2024.9.13)

斎藤嘉朗, 三澤隆史, 出水庸介, 蜂須賀暁子: 医薬品等規制調和・評価研究事業「セラノスティクス対応放射性医薬品の試験要件についての評価研究」安定供給と使用促進へ.

第34回日本医療薬学会年会 (2024.11.3)

斎藤嘉朗: バイオシミラーの治験と国際規制動向.
第45回 日本臨床薬理学会学術総会 (教育講演)
(2024.12.13)

森田時生, 吉田寛幸, 富田奈緒美, 佐藤陽治: 薬物の膜透過性に対する添加剤の影響 - 人口リン脂質膜を用いたスクリーニング評価 -.
日本薬剤学会第39年会 (2024.5.25)

伊豆津健一*, 小出達夫, 吉田寛幸, 佐藤陽治: 後発医薬品の対象となる有効成分の結晶に関する国際比較.
日本薬剤学会第39年会 (2024.5.22)

* 国際医療福祉大学

伏見雅裕¹, 東野雅規², 生田祥太郎³, 吉田寛幸, 菅野清彦⁴: 炭酸緩衝系溶出試験法における落し蓋のpH維持効果に関する施設間比較.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.22)

¹ 沢井製薬株式会社

² 東和薬品株式会社

³ ニプロ株式会社

⁴ 立命館大学

Morita T, Yoshida H, Tomita N, Sato Y: Screening methods comparison of the effect of pharmaceutical excipients on drug permeability.
39th JSSX and 26th North American ISSX Meeting
(2024.9.17)

吉田寛幸, 森田時生, 富田奈緒美, 稲垣葵, 栗田麻里, 佐藤陽治: 高脂血症治療剤の溶出挙動の類似性評価 - 公的機関による後発医薬品の品質検証 -.

第57回日本薬剤師会学術大会 (2024.9.22)

森田時生, 吉田寛幸, 佐藤陽治: 点鼻製剤の噴霧特性評価法の検討と先・後発医薬品間の比較.

第34回日本医療薬学会年会 (2024.11.3)

森田時生, 吉田寛幸, 富田奈緒美, 宮崎玉樹, 佐藤陽治: 日本における点鼻製剤の後発品が先発品と異なる噴霧特性を示す要因の解析.
日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

肥沼佳菜¹, 森田時生, 植草義徳¹, 菊地晴久¹, 今岡鮎子¹, 秋好健志¹, 大谷 壽一^{1,2}: 柑橘ジャバラ果汁とその果汁中成分のCYP2C9阻害特性解析.
日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

¹ 慶應義塾大学

² 慶應義塾大学病院

吉田寛幸, 森田時生, 稲垣葵, 富田奈緒美, 佐藤陽治: 咽頭部モデルを用いた空気力学粒子径評価の有用性に関する検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

伊豆津健一*, 間宮弘晃*, 森田時生, 吉田寛幸: 生物学的同等性試験に関するFDAの製品別ガイダンスの役割と国内での試験法提示に関する検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

* 国際医療福祉大学

新納拓徒¹, 高木敏英², 吉田寛幸, 山下伸二³, 上林敦¹: *in silico*数理モデルと*in vitro* BE Checkerの組み合わせによるヒト薬物動態プロファイルの予測.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

¹ 東京理科大学

² 摂南大学

³ 立命館大学

宮崎玉樹, 武田佳彦*, 伊藤和輝*, 尾本和樹*, 安藤大介, 小出達夫, 佐藤陽治: マイクロX線CTを用いた非晶質アセトアミノフェンの結晶化挙動評価.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.25)

* (株) リガク

宮崎玉樹, 武田佳彦¹, 小出達夫, 佐藤陽治, 伊豆津健

一^{*2}, 米持悦生^{*2}: エテンザミドの流動性に及ぼす医薬品添加物の影響.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ (株) リガク

*² 国際医療福祉大学成田

小出達夫, 横尾英知, 青山佳敬*, 魚返祐太朗*, 山本栄一, 出水庸介, 内山奈穂子: 高度分析技術を用いた医薬品共結晶原薬の構造解析手法に関する研究.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

* 日本電子株式会社

滝井彩乃*, 島田尚輝*, 小出達夫, 深水啓朗*: ラマン分光法を用いたコアモルファス製剤の評価.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

* 明治薬科大学

赤羽広輝*, 安藤大介, 小出達夫, 深水啓朗*: 共焦点ラマン分光法を用いた皮膚内溶解型マイクロニードルの薬物浸透性評価に向けた検討.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

* 明治薬科大学

Tatsuo Koide, Daisuke Ando, Tamaki Miyazaki, Toshiro Fukami*, Yoji Sato: Cocrystal quantification in tablets using transmission Raman spectroscopy with partial least squares-discriminant analysis.

XXVIII International Conference on Raman Spectroscopy (2024.8.1)

* Meiji Pharmaceutical University

赤羽広輝*, 安藤大介, 小出達夫, 深水啓朗*: 共焦点ラマン分光装置を用いたマイクロニードル製剤の薬物皮膚浸透性評価の検討.

第49回製剤・創剤セミナー (2024.9.10)

* 明治薬科大学

Hiroki Akahane*, Daisuke Ando, Tatsuo Koide, Toshiro Fukami*: Assessment of Transdermal Drug Delivery in skin via Dissolving Microneedles using Confocal Raman Microspectroscopy.

The 1st International Conference in Pharmaceutics and Cosmetics (2024. 11.18)

* Meiji Pharmaceutical University

小出達夫, 宮辻恵, 菅野仁美, 宮崎玉樹, 佐藤陽治: HPLCを用いた医薬品中のニトロソアミン類の検出・定量の可能性に関する研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

青柳龍征^{*1}, 内山博雅^{*1}, 森下太揮^{*1}, 田仲涼眞^{*1}, 門田和紀^{*2}, 安藤大介, 小出達夫, 戸塚裕一^{*1}: 薬物の溶出制御を目指したアモルファス塩含有溶解型マイクロニードル製剤の検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

*¹ 大阪医科薬科大学

*² 和歌山県立医科大学

中山幸治^{*1}, 藤本政弥^{*1}, 横山拓馬^{*2}, 五十嵐彩^{*2}, 佐原純輝^{*2}, 吉井健司^{*3}, 西山勝彦^{*3}, 坂本知昭: 錠剤搬送ラインにおける高強度タイムストレッチ近赤外分光を用いた高速含量測定.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.25)

*¹ 東和薬品株式会社

*² ウシオ電機株式会社

*³ 第一実業ビズウィル株式会社

秋山高一郎*, 高橋和宏*, 朝野綾香*, 里園浩*, 坂本知昭: フロースルー法を用いたテラヘルツ時間領域減衰全反射分光法による酸水溶液の中和反応のモニタリング.

日本プロセス化学会2024 (2024.7.5)

* 浜松ホトニクス株式会社

Mine S^{*1}, Sakamoto T, Shoda T, Takei H^{*2}, Inada K^{*3}, Tamura K^{*1}, Suzuki S^{*1}, Fukuda S^{*3}, Akao K^{*1}: Reaction monitoring system using surface-enhanced Raman spectroscopy for flow synthesis process.

RSC-JAIMA Symposium on Analytical Chemistry 2024, (2024.9.5)

*¹ JASCO Corporation

*¹ Toyo University

*¹ JASCO Engineering

坂本知昭, 青木尚代, 荒木笙馬, 正田卓司, 浦本貴容子^{*1}, 森井康晴^{*1}, 藤巻康人^{*2}, 佐藤陽治: ラマン分光法によるアルドール縮合フロー合成工程のリアルタイム解析.

日本分析化学会第73年会 (2024.9.13)

*¹ 東京理化器械株式会社

*² 東京都立産業技術研究センター

藤巻康人^{*1}, 小野里磨優^{*2}, 坂本知昭: 絶対PL量子収率測定による医薬品固体製剤の硬度予測.

日本分析化学会第73年会 (2024.9.13)

*¹ 東京都立産業技術研究センター

*² 東邦大学

坂本知昭: 製薬分野におけるテラヘルツ波技術の活用と今後の展望.

第68回日本薬学会 関東支部大会－光・電磁波と物質の相互作用を基盤とした薬学研究動向－ (2024.9.14)

秋山高一郎*, 高橋和宏*, 安田敬史^{*1}, 黒田拓司*, 里園浩*, 坂本知昭: テラヘルツ減衰全反射分光による懸濁液の分散安定性評価方法～測定原理と理論的検証～
第75回コロイドおよび界面化学検討会 (2024.9.17)

* 浜松ホトニクス株式会社

Satozono H*, Akiyama K*, Asano A*, Sakamoto T: Chemical reaction process monitoring in flow by using terahertz wave.

Symposium on Frontier of Terahertz Science XI (S-FTS2024) (2024.10.17)

* Hamamatsu Photonics KK

中山幸治^{*1}, 藤本政弥^{*1}, 横山拓馬^{*2}, 五十嵐彩^{*2}, 佐原純輝^{*2}, 吉井健司^{*3}, 西山勝彦^{*3}, 坂本知昭: 錠剤搬送ラインにおける高強度タイムストレッチ近赤外分光を用いた高速含量測定.

第41回製剤と粒子設計シンポジウム (2024.11.13)

*¹ 東和薬品株式会社

*² ウシオ電機株式会社

*³ 第一実業ビズワイル株式会社

Sasaki T*, Otsuka M*, Sakamoto T: Terahertz Laser

Spectroscopy and its Applications Mainly for Pharmaceutical Industry.

International Workshop on Nanodevice Technologies 2024 (IWNT2024) (2024.11.15)

* Shizuoka University

Shimura K*, Mohara M*, Ono T*, Aiko K*, Anderson A*, Sakamoto T: Influence of compaction pressure, tablet thickness and tablet shape on quantification of an API with Frequency-Domain Terahertz Spectroscopy.

IFPAC2025 (2025.3.4)

* Hitachi High-tech Co.

坂本知昭, 青木尚代, 正田卓司, 佐藤陽治: 小型ラマン分光器を用いたβ-ニトロスチレン生成アルドール縮合フロー合成工程のPAT解析.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

秋山高一郎, 朝野綾香, 高橋和宏, 里園浩, 坂本知昭: テラヘルツ時間領域減衰全反射分光法による原薬の化学反応の連続モニタリングの検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 浜松ホトニクス株式会社

前田善柱*, 原矢佑樹, 阿部康弘, 佐藤陽治, 加藤くみ子*: 動的透析法を用いたリポソーム製剤の薬物放出特性に関する研究.

第40回日本DDS学会学術集会 (2024.7.10)

* 北里大学

金子心優^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 辻優太^{*1}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: ノックアウトマウスを用いたマウス由来抗マウスTNFR2モノクローナル抗体作製法の検討.

日本薬学会第125年会 (2025.3.27)

*¹ 神戸学院大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

岡部有香^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 辻優太^{*1}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: 抗ヒトBAFF受容体モノクローナル抗体のBAFFシグナル阻害剤としての

有用性。

日本薬学会第125年会 (2025.3.28)

*¹ 神戸学院大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

三輪綺羅々^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 辻優太^{*1}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: 抗ヒトBAFF受容体モノクローナル抗体の*in vitro*でのB細胞リンパ腫殺傷効果。

日本薬学会第125年会 (2025.3.28)

*¹ 神戸学院大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

中本和希^{*1}, 井上雅己^{*1,2}, 辻優太^{*1}, 阿部康弘, 伊勢知子^{*2}, 永田諭志^{*2}, 角田慎一^{*1,2}: 抗ヒトBAFFRモノクローナル抗体の抗体依存性細胞傷害活性とエピトープの連関。

日本薬学会第125年会 (2025.3.28)

*¹ 神戸学院大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

阿部康弘, 白井明子, 原矢佑樹, 吉田寛幸, 佐藤陽治: 脂質ナノ粒子製剤の品質特性評価と技術的課題。

日本薬学会第125年会 (2025.3.29)

Ishii-Watabe A, Nishimura K, Shibata H, Suzuki T, Cludts I*, Wadhwa M*, Saito Y: Points to consider for using ADA screening assay signal-to-noise ratio (S/N) as an alternative to titer in immunogenicity assessment: Report using international reference ADA. 18th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2024.5.8)

* National Institute of Biological Standard and Control

Yamamoto T, Nishimura H, Hashii H, Ishii-Watabe A, Yamamoto Y^{*2}, Ochiya T^{*1}: Establishment of a method for mass production of extracellular vesicles based on microRNA regulation.

13th International Society for Extracellular Vesicles annual meeting (2024.5.9)

*¹ Tokyo Medical University

*² National Cancer Center Research Institute

Nishimura H, Yamamoto T, Hashii N, Ishii-Watabe A: Characterization of human MSC-derived extracellular vesicle preparations using size-exclusion HPLC and ion-exchange HPLC coupled with multi-angle light scattering detection.

13th International Society for Extracellular Vesicles annual meeting (2024.5.9)

Tamura T^{*1,2}, Yamamoto T, Kogure A^{*1}, Yoshioka Y^{*1}, Sakamoto S^{*2}, Ichikawa T^{*2}, Ochiya T^{*1}: Osteoclasts educated by prostate cancer cells promote bone destruction via EV-mediated communication networks in bone metastatic site.

13th International Society for Extracellular Vesicles annual meeting (2024.5.10)

*¹ Tokyo Medical University

*² Chiba University

山元智史, 山本雄介^{*1}, 石井明子, 落谷孝広^{*2}: 薬剤耐性骨髄腫細胞由来の細胞外小胞が内包するmicroRNAとIMiDs耐性化機構との関連性の検討.

第49回日本骨髄腫学会 (2024.6.2)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 東京医科大学医学総合研究所

小関悠希^{*1}, 山口祐希^{*2}, 青山道彦, 多田稔, 妹尾暁暢^{*1}, 石井明子, 内山進^{*2,3}, 内橋貴之^{*3,4}, 加藤晃一^{*3}, 谷中冴子^{*1}, カアベイロホセ^{*1}: IgG1の構造形成と機能においてヒンジ領域が担う役割の探究.

第24回日本蛋白質科学会年会 (2024.6.11)

*¹ 九州大学大学院薬学研究院

*² 大阪大学大学院工学研究科

*³ 生命創成探究センター

*⁴ 名古屋大学大学院理学研究科

橋井則貴, 小幡千紘, 石井明子: Multi-attribute methodによる抗体医薬品の構造特性評価.

第24回蛋白質科学会年会 (2024.6.12)

木吉真人, ソンチホン*, 谷中冴子*, 加藤晃一*, 村田和義*, 石井明子: クライオ電子顕微鏡を用いた抗体医薬品の立体構造解析.

第24回日本蛋白質科学会年会 (2024.6.12)

* 生命創成探求センター

木吉真人, 鈴木琢雄, 井上成彰^{*1}, 寺尾陽介^{*1}, 長門石
暁^{*2}, 井出輝彦^{*1}, 津本浩平^{*2}, 石井明子: Neonatal
Fc受容体-抗体医薬品相互作用の分子基盤解明.
第18回バイオ関連化学シンポジウム (2024.9.12)

^{*1} 東ソー株式会社

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

石井明子, 西村仁孝, 山元智史, 橋井則貴: エクソソーム
製剤の品質評価とレギュレーション.
第40回日本DDS学会学術集会 (2024.7.11)

Goto K*, Tsukimura W*, Hashii N, Takada Y*, Ishii-Watabe A, Mizuno M*, Sugi T*: Synthesis of site-specific ADC using one-pot glycan remodeling and its biological studies.

Glyco-core Symposium 2024 (2024.7.16)

* The Noguchi Institute

Saito T*, Hanazaki K*, Kinjo K*, Hashii N, Sawada H*: Molecular and functional analysis of sperm protein s-Themis in self-incompatibility.

12th International Tunicate Meeting (2024.7.21)

* Shizuoka University

西村和子, 柴田寛子, 斎藤嘉朗, 石井明子: バイオシミラーと先行バイオ医薬品の同等性/同質性評価に用いられる品質評価法、及び類似性の判定基準に関する国際動向の調査.

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2024.9.9)

高田美生*, 月村亘*, 三浦晴香*, 橋井則貴, 石井明子,
杉智和*, 水野真盛*, 後藤浩太朗*: ワンポット糖鎖リ
モデリング法により合成した位置選択的ADCの生物學
的評価.

第43回日本糖質学会 (2024.9.13)

* 野口研究所

石井明子: 化学合成ペプチド医薬品の品質評価に関する
ガイドライン案について.

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2024.9.14)

石井明子: 医薬品の品質に関する承認事項とその変更管
理の在り方について ~薬事規制検討会での議論に基づ
く今後の方向性~.

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2024.9.14)

Ishii-Watabe A, Nishimura K, Shibata H, Suzuki T, Cludts I*, Wadhwa M*, Saito Y: Comparison of titer and signal-to-noise ratio for determination of anti-drug antibody magnitude in immunogenicity assessment of biopharmaceuticals by using anti-drug antibody reference panel.

2024 ISSX/JSSX Meeting (2024.9.16)

* UK MHRA

Shibata H: Utilization of Machine Learning on the Classification of Silicone Oil Droplets and Protein Particles in Biopharmaceutical Products.

The 14th Global Summit on Regulatory Science (GSRS24) (2024.9.18)

山元智史, 山本雄介^{*1}, 石井明子, 落谷孝広^{*2}: PSAT1を介したEV分泌が促進するがん転移機構と転移リスク診断としての有用性の検討.

第44回日本分子腫瘍マーカー研究会 (2024.9.18)

*1 国立がん研究センター研究所

*2 東京医科大学医学総合研究所

平野悠太^{*1,2}, 鈴木公基^{*1,3}, 中山淳^{*1,4}, 山元智史, 荒
屋潤^{*2}, 藤田雄^{*2}, 山本雄介^{*1}: シングルセルメタ解析
によって明らかとなった肺腺癌と肺扁平上皮癌における
線維芽細胞の特性.

第83回日本癌学会 (2024.9.19)

*1 国立がん研究センター研究所

*2 東京慈恵会医科大学

*3 名古屋大

*4 大阪国際がんセンター研究所

石井明子, 青山道彦, 鈴木琢雄, 柴田寛子: バイオ医薬
品の免疫原性リスク低減のための規制要件と予測・評価
法に関する現状と課題.

第31回日本免疫毒性学会学術年会 (2024.9.20)

田村貴明^{*1}, 山元智史, 木暮暁子^{*2}, 吉岡祐亮^{*2}, 山本
雄介^{*3}, 坂本信一^{*1}, 市川智彦^{*1}, 落谷孝広^{*2}: 転移性

前立腺癌に教育された破骨細胞由来細胞外小胞は骨転移巣で主要進展・骨破壊を促進する。
第83回日本癌学会（2024.9.20）

*¹ 千葉大学大学院医学研究科

*² 東京医科大学医学総合研究所

*³ 国立がん研究センター研究所

西村仁孝、山元智史、木吉真人、橋井則貴、石井明子：細胞外小胞製剤の単粒子レベルでの特性解析法の開発。
第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2024.9.21）

水野真盛*、月村亘*、橋井則貴、高田美生*、石井明子、杉智和*、後藤浩太朗*：ワンポット糖鎖リモデリング法による位置選択的ADCの合成とその生物学的評価。

第18回東北糖鎖研究会（2024.10.8）

* 野口研究所

西村仁孝、山元智史、橋井則貴、石井明子：HPLCおよび多角度光散乱を用いた細胞外小胞製剤の不均一性評価法の開発。

第11回日本細胞外小胞学会学術集会（2024.10.28）

田村貴明*¹、山元智史、木暮暁子*²、吉岡祐亮*²、山本雄介*³、坂本信一*¹、市川智彦*¹、落谷孝広*²：転移性前立腺癌に教育された破骨細胞由来細胞外小胞は骨転移巣で主要進展・骨破壊を促進する。

第11回日本細胞外小胞学会学術集会（2024.10.28）

*¹ 千葉大学

*² 東京医科大学

*³ 国立がん研究センター

山元智史、西村仁孝、橋井則貴、石井明子：EVの品質評価のための生物活性評価法の最適化に関する検討。

第11回日本細胞外小胞学会学術集会（2024.10.29）

石井明子：エクソソームを含む細胞外小胞を利用した治療用製剤の薬事規制に関する現状と課題。

第11回日本細胞外小胞学会学術集会（2024.10.29）

橋井則貴、小幡千絵、斎藤嘉朗、石井明子：質量分析によるヒト血漿中抗体薬物複合体の薬物抗体比分析手法の分析法バリデーション。

第97回日本生化学会大会（2024.11.8）

石井明子：バイオシミラー（バイオ後続品）の基礎と最近の話題～バイオシミラーの普及推進・活用において重要な薬剤師の役割～。

第26回近畿薬剤師学術大会（2024.11.10）

原園景、柴田寛子、石井明子：グラジエントHPLC分析を用いたバイオ医薬品の試験法における適切なシステム適合性の設定に関する検討。

第61回全国衛生技術協議会年会（2024.11.22）

日向昌司、石井明子：バイオ医薬品の不純物である宿主細胞由来タンパク質の試験法に関する研究。

第61回全国衛生技術協議会年会（2024.11.22）

山元智史：PSAT1を介した細胞外小胞分泌とがん転移促進機構。

第47回日本分子生物学会（2024.11.27）

高田美生*、月村亘*、三浦晴香*、橋井則貴、石井明子、杉智和*、水野真盛*、後藤浩太朗*：ワンポット糖鎖リモデリング法で合成した位置選択的ADCの生物学的評価。

第3回日本抗体学会学術大会（2024.12.8）

* 野口研究所

青山道彦、伊藤貴仁、三澤隆史、多田稔、出水庸介、石井明子：GalNAc型LYTACにおける修飾部位が生物活性に及ぼす影響。

第3回日本抗体学会学術大会（2024.12.9-10）

小関悠希*¹、山口祐希*²、青山道彦、多田稔、妹尾暁暢*¹、石井明子、内山進*^{2,3}、内橋貴之*^{3,4}、加藤晃一*³、谷中冴子*¹、カアベイロホセ*¹：ヒンジ領域のPro230がIgG1の高次構造と機能に与える影響。

第3回日本抗体学会学術大会（2024.12.9-10）

*¹ 九大院薬

*² 阪大院工

*³ 生命創成探究センター

*⁴ 名大院理

高橋史*¹、妹尾暁暢*²、青山道彦、多田稔、石井明子、カアベイロホセ*²、谷中冴子*^{2,3}、加藤晃一*³：Fcγ受容体とIgGのFab領域における相互作用の解析。

第3回日本抗体学会学術大会（2024.12.9-10）

*¹ 九大薬

*² 九大院薬

*³ 生命創成探求センター

Shibata H: Role of ICH Q2/Q14 and ICH Q6B Specifications on establishment of control strategy. CMC Strategy Forum Japan 2024 (2024.12.10)

橋井則貴：Multi-attribute methodを用いた抗体医薬品の品質評価。

第3回日本抗体学会学術大会（2024.12.11）

西村仁孝, 石井明子：細胞外小胞の特性評価。

第9回DIA再生医療製品・遺伝子治療用製品シンポジウム（2024.12.12）

石井明子：教育講演 バイオシミラーの基礎。

第45回日本臨床薬理学会学術総会（2024.12.13）

西村和子, 柴田寛子, 碇川絵夢*, 鈴木琢雄, 鈴木康夫*, 斎藤嘉朗, 石井明子：バイオ医薬品の免疫原性評価における抗体測定法に関する研究。

第45回日本臨床薬理学会学術総会（2024.12.14）

* 銀座セントラルクリニック

石井明子：バイオ医薬品の免疫原性評価に関するガイドライン案について。

第16回JBFシンポジウム（2025.3.4）

西村和子, 柴田寛子, 碇川絵夢*, 鈴木琢雄, 鈴木康夫*, 斎藤嘉朗, 石井明子：免疫原性評価においてADAスクリーニングアッセイのS/N比を抗体価の代替指標として用いる場合の留意事項（第3報）。

第16回JBFシンポジウム（2025.3.4）

* 銀座セントラルクリニック

橋井則貴：LC/MSを利用したヒト血漿中ADCのDAR分析手法の開発。

第16回JBFシンポジウム（2025.3.5）

山元智史, 西村仁孝, 橋井則貴, 石井明子：MSC由来細胞外小胞が持つ抗炎症作用の評価最適化に関する検討。

第24回日本再生医療学会（2025.3.20）

石井明子：エクソソームを含む細胞外小胞（EV）を利用した医薬品の品質確保について。

第24回日本再生医療学会（2025.3.20）

三浦巧, 高野慈美, 河野掌*, 草川森士, 黒田拓也, 平井孝昌, 西村仁孝, 山元智史, 石黒斉*, 澤田留美, 石井明子, 佐藤陽治, 安田智：細胞外小胞（EV）製剤製造用細胞基材の品質特性の探索に関する研究。

第24回日本再生医療学会総会（2025.3.20）

* 神奈川県立産業技術総合研究所

山元智史, 西村仁孝, 橋井則貴, 石井明子：陰イオン交換HPLCを利用した細胞外小胞の品質評価。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

木吉真人, 大山泰史^{*1}, 柴田寛子, 鈴木仁子^{*1}, 樋口祐士^{*1}, 津本浩平^{*2}, 石井明子：近紫外CDスペクトルと統計的解析手法を用いた抗体医薬品の高次構造評価。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

*¹ 日本分光株式会社

*² 東京大学大学院工学系研究科

柴田寛子, 高畠圭二^{*1}, 千賀由佳子^{*1}, 丸山彰^{*2}, 中野理子^{*3}, 木下崇司^{*4}, 小峰優香^{*5}, 岡部真二^{*6}, 櫻井真帆^{*7}, 伊藤優花^{*8}, 浦嶋千裕^{*9}, 鬼頭宏和^{*10}, 木下岬^{*11}, 喜多陽子^{*12}, 島ノ江知樹^{*13}, 神田雄平^{*14}, 宮本佳奈^{*15}, 吉川弘樹^{*16}, 栗之丸隆章^{*17}, 前田裕貴^{*18}, 木吉真人, 本田真也^{*1}, 鳥巣哲生^{*19}, 内山進^{*19}, 石井明子：タンパク質微粒子測定の高度化を指向した新規粒子標準試料の有用性評価：動的光散乱法による多機関共同測定。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

*¹ 産総研

*² 武田薬品工業

*³ デンカ

*⁴ 堀場製作所

*⁵ 第一三共

*⁶ JCRファーマ

*⁷ 住友ファーマ

*⁸ 大鵬薬品工業

*⁹ 東レリサーチセンター

*¹⁰ エーザイ

*¹¹ 日本血液製剤機構

*¹² 塩野義製薬

*¹³ Meiji Seika ファルマ

*¹⁴ 持田製薬

*¹⁵ 小野薬品工業

*¹⁶ テルモ

*¹⁷ ユー・メディコ

*¹⁸ 島津製作所

*¹⁹ 阪大院工

日向昌司, 石井明子: LC/MSを用いた宿主細胞由来タンパク質 (HCP) 分析における留意点.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

高田亜理菜*, 山元智史, 大場誠吾*, 石井明子: 不死化間葉系幹細胞と初代培養細胞の性状比較と細胞外小胞解析.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

* 昭和大学

山元智史, 西村仁孝, 高田亜理菜*, 橋井則貴, 石井明子: 間葉系幹細胞由来細胞外小胞の新規抗炎症評価マークとしてのCXCL10の同定と細胞外小胞を介した抗炎症反応評価系の確立.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

* 昭和大学

鈴木琢雄, 橋井則貴, 石井明子: FcRn親和性変換抗体の生体内分布と免疫原性に関する研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

原園景, 柴田寛子, 石井明子: 抗体医薬品のイオン交換クロマトグラフィーとペプチドマップのデータの比較に関する研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

小関悠希*, 山口祐希*, 青山道彦, 多田稔, 妹尾暁暢*, 石井明子, 内山進*, 内橋貴之*, 加藤晃一*, 谷中冴子*, カアベイロホセ*: IgG1のヒンジ変換が高次構造と機能に与える影響の探査.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ 九大院薬

*² 阪大院工

*³ 生命創成探究センター

*⁴ 名大院理

青山道彦, 多田稔, 横尾英知, 伊藤貴仁, 三澤隆史, 出

水庸介, 石井明子: リンカー構造と修飾部位の組み合わせが部位特異的抗体薬物複合体の生物活性に及ぼす影響.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

石井明子, 西村仁孝, 山元智史, 橋井則貴: エクソソームを含む細胞外小胞 (EV) 製剤の開発推進と品質確保のためのレギュラトリーサイエンス研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

高橋史*, 妹尾暁暢*, 青山道彦, 多田稔, 石井明子, カアベイロホセ*, 谷中冴子*, 加藤晃一*: Fcγ受容体とIgGのFab領域における相互作用の解析.

日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

*¹ 九大薬

*² 九大院薬

*³ 生命創成探究センター

政田さやか, 後藤佑斗, 内山奈穂子, 山本栄一: オンラインSFE/SFC/MSシステムを用いたニトロソアミン類の一斉分析法の検討.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.22)

田中誠司, 細江潤子, 増本直子, 伊藤美千穂: いわゆる健康食品中の定量NMRを用いたカンナビジオール定量法の有用性検討.

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.23)

河村麻衣子, 田中理恵, 伊藤美千穂, 花尻(木倉)瑠理: 超臨界流体クロマトグラフー四重極飛行時間型質量分析計 (SFC-QTOF-MS)を用いたTHC構造類似体分析法に関する検討).

日本法中毒学会第43年会 (2024.6.29)

田中理恵, 伊藤美千穂, 花尻(木倉)瑠理: 2023年より流通が確認されたTHCアナログ含有を標榜する製品中の化合物の同定.

日本法中毒学会第43年会 (2024.6.30)

丸山卓郎, 小栗一輝*, 清水聖子*, 鈴木淳子*, 豊岡寛美*, 土田貴志*, 小森園正彦*, 小松かつ子*, 川原信夫*, 河野徳昭*, 高野昭人*, 酒井英二*, 政田さやか, 増本直子, 中嶋順一*, 山口茂治*, 徳本廣子, 伊藤美千穂: 日本薬局方における生薬の性状記載の改正及び整備について.

第41回和漢医薬学会学術大会 (2024.8.24)

*¹ 生薬の性状研究班

*² 小林製薬

政田さやか、伊藤美千穂：漢方製剤の適用拡大を念頭にした基盤整備研究③～処方実態調査～.

第41回和漢医薬学会学術大会（2024.8.25）

Tanaka R., Ito M., Kikura-Hanajiri R.: Identification of compounds in products claiming to contain tetrahydrocannabinol analogs that have been distributed in Japan since 2023.
61th meeting of TIAFT (2024.9.3)

田中誠司、細江潤子、新井玲子、内山奈穂子、増本直子、伊藤美千穂、石附京子、杉本直樹、鈴木梓^{*1}、浅野龍二^{*1}、五十嵐靖^{*1}、三浦亨^{*2}、武藤康弘^{*2}、末松孝子^{*3}、小松功典^{*3}、日向野太郎^{*4}、古川茶勲^{*4}、嶋田典基^{*5}、合田幸広：チョウトウコウ配合漢方処方エキスを対象とした相対モル感度を用いた定量法（RMS法）の検討。

日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

*¹ (株)ツムラ

*² 富士フィルム和光純薬（株）

*³ 日本電子（株）

*⁴ 大正製薬（株）

*⁵ (株) 常磐植物化学研究所

後藤佑斗、政田さやか、局外生規2026WG、伊藤美千穂：淡豆豉の水分活性と乾燥減量について。

日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

新井玲子、鎌倉浩之、増本直子、政田さやか、伊藤美千穂：エネルギー分散型蛍光X線分析装置（EDX）を用いた生薬に含まれる重金属のスクリーニング分析（5）。
日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

今井卓也^{*1}、神本敏弘^{*1}、青木勝之^{*1}、松村郁江^{*1}、山路弘樹^{*1}、小栗一輝^{*1}、曾根美佳子^{*1}、平倉一弘^{*1}、成暁^{*2}、刀志灵^{*2}、山本豊^{*3}、白鳥誠^{*4}、小松かつ子^{*5}、河野徳昭^{*6}、丸山卓郎、袴塚高志^{*7}、伊藤美千穂：テンモンドウ基原植物及び近縁植物の含有成分差異（2）。

日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

*⁴ ウチダ和漢薬

*⁵ 富山大学・和漢研

*⁶ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*⁷ 日本薬科大学

鎌倉浩之、伊藤美千穂：生薬中のヒ素、水銀、鉛及びカドミウムについて。

日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

黄雪丹^{*}、佐々木建人^{*}、日向須美子^{*}、伊藤美千穂、合田幸広、小林義典^{*}：Oxaliplatin誘発末梢神経障害性疼痛に対する麻黄湯の予防効果。

日本生薬学会第70回年会（2024.9.15）

* 北里大学薬学部

田中理恵、河村麻衣子、花尻（木倉）瑠理、伊藤美千穂：2023年—2024年の新規流通危険ドラッグ成分の同定。
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

政田さやか、柘植厚志、伊藤美千穂：生薬試験法<5.01>灰分の灰化温度に関する検討。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

丸山卓郎、古村あかり^{*1}、石川寛^{*1}、古平栄一^{*1}、芝野真喜雄^{*2}、伊藤美千穂：日局生薬エイジツ市場品の基原と成分について。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

*¹ 北里大学薬学部

*² 大阪医科薬科大学薬学部

田中誠司、新井玲子、細江潤子、増本直子、伊藤美千穂：メリロート含有“いわゆる「健康食品」”の実態調査。
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

田中理恵、河村麻衣子、花尻（木倉）瑠理、伊藤美千穂：インターネット上で流通するシート製品中から検出されたLSD誘導体の同定。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

河村麻衣子、繩田裕美、田中理恵、花尻（木倉）瑠理、伊藤美千穂：直接試料導入装置を用いたTHC類似化合物含有製品の高速GC-MS分析法の検討。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

*¹ ツムラ

*² 昆明植物研究所

*³ 栃木天海堂

水谷佐久美, 田中誠司, 増本直子, 伊藤美千穂: 食品中のカンナビジオールの定量分析法の検討（1）.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

増本直子, 水谷佐久美, 田中誠司, 伊藤美千穂: 食品中のカンナビジオール定量分析法の検討（2）.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

徳本廣子, 増本直子, 田中誠司, 伊藤美千穂: 生薬の内部形態観察へのX線CTスキャンの応用（5）粉末生薬.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

後藤佑斗, 政田さやか, 伊藤美千穂: マルチブロック解析を用いた, 漢方処方エキスの官能評価と構成生薬の相関に関する調査.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

新井玲子, 鎌倉浩之, 増本直子, 政田さやか, 伊藤美千穂: エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)を用いた生薬に含まれる重金属のスクリーニング分析（6）.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

丸山卓郎, 鎌倉浩之, 山田修嗣*, 伊藤美千穂: 中国市場に流通するトウガラシの基原と成分について.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

* アルプス薬品工業

中西宏明*, 丸山卓郎, 伊藤美千穂, 斎藤一之*: 生薬ボレイの基原動物解析について.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

* 順天堂大学医学部

鎌倉浩之, 伊藤美千穂: 漢方処方エキスのヒ素及び重金属について: 温清飲, 白虎加人参湯, 柴胡桂枝乾姜湯及び抑肝散加陳皮半夏.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

椎木遙菜*, 黄雪丹*, 日向須美子*, 中森俊輔*, 遠藤真理*, 岩井孝志*, 伊藤美千穂, 合田幸広, 田辺光男*, 小林義典*: 麻黄湯によるパクリタキセル誘発末梢神経障害性疼痛の発症予防効果の分子機構の解析.
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

* 北里大学薬学部

Yasuda S: Challenges in the practical application of cell therapy products derived from iPS/ES cells.
2024 KSCPT Spring Meeting & The 17th KSCPT-JSCPT Joint Symposium (2024.4.26)

Kono K: Evaluation of Next-Generation Sequencing Performance for *in vitro* Detection of Viruses in Biological Products.
PDA Virus Conference 2024 (2024.6.27)

Kuroda T, Matsuyama S, Ohtake F*, Sato Y, Yasuda S: Functional analysis of SALL3 in the regulation of differentiation propensity of human iPS cells.
2024 ISSCR Annual Meeting, Hamburg (2024.7.12)

* Hoshi University

Kono K: Regulatory Science Research on Viral Safety of Cell Therapy Products.
Summer Retrovirus Conference 2024 (2024.7.19)

Miura T, Takano M, Hirai T, Kuroda T, Kusakawa S, Sawada R, Ishii-Watabe A, Sato Y, Yasuda S: Approach to understand the correlation between the functions of extracellular vesicles and the properties of their cell sources.
ISCT Europe 2024 Regional Meeting (2024.9.5)

黒田拓也, 松山さと子, 佐藤陽治, 安田智: 多能性幹細胞加工製品のゲノム不安定性評価法に関する研究.
第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2024.9.21)

澤田留美: 重症心不全の治療に用いられるヒト同種iPS細胞由来細胞加工製品に関する評価指標.
日本バイオマテリアル学会シンポジウム2024 (2024.10.29)

Yasuda S: Challenges for evaluating tumorigenicity of hPSC-derived cell therapy products.
PSConf 2024 (2024.10.30)

Kono K: Viral safety of cell therapy products.
PSConf 2024 (2024.10.30)

Yasuda S: Japan's regulatory perspective of quality and safety of hPSC-derived cell therapy products.
PSConf 2024 (2024.10.31)

清水直登, 諸角涼介^{*1}, 田村孝平^{*1}, 中村誠^{*1}, 鈴木厚^{*1}, 石庭寛子^{*2}, 井出博^{*1}, 津田雅貴: ネッタイツメガエルの中期胞胚転移時におけるDNA二本鎖切断の修復経路の変化.

第47回日本分子生物学会 (2024.11.28)

*¹ 広島大学

*² 福島大学

田中健二郎*, 椎名健*, 平井孝昌, 草川森士, 河野健, 安田智, 加藤竜司*: 深層学習を用いたウイルス誘発性細胞障害効果の検出.

化学工学会第90年会 (2025.3.13)

* 名古屋大学

三浦巧, 高野慈美, 河野掌*, 草川森士, 黒田拓也, 平井孝昌, 西村仁孝, 山元智史, 石黒齊*, 澤田留美, 石井明子, 佐藤陽治, 安田智: 細胞外小胞 (EV) 製剤製造用細胞基材の品質特性の探索に関する研究.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.20)

* 神奈川県立産業技術総合研究所

澤田留美, 草川森士, 楠原美香, 井上玲菜, 三浦巧, 安田智, 佐藤陽治: Quality by Designアプローチにおける重要品質特性としての間葉系幹細胞免疫調節能評価法の安定性の検討.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.21)

草川森士, 楊婷舒, 澤田留美, 佐藤陽治, 安田智: 形質転換細胞検出を目的とした*in vitro*評価系の最適化.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.21)

黒田拓也, 松山さと子, 佐藤陽治, 安田智: TP53変異ヒトiPS細胞を用いた細胞加工製品のゲノム不安定性評価に関する研究.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.21)

澤田留美: 間葉系幹細胞の*in vitro*ポテンシーアッセイとしての免疫調節能評価法の確立と再現性確保.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.22)

平井孝昌, 片岡清子, 佐藤陽治, 安田智, 河野健: ゲノム解析による感染性プラ内在性レトロウイルスの同定.

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.22)

平井孝昌, 河野健, 安田智: 次世代シークエンサーによるウイルス検出における核酸分解酵素の有用性評価.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

吉田徳幸, 森廣邦彦^{*1}, 内藤雄樹^{*2}, 三上敦士^{*1}, 笠原勇矢^{*3}, 小比賀聰^{*1}, 井上貴雄: RNA分解型アンチセンスの肝毒性低減に関する研究.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² ライフサイエンス統合データベースセンター

*³ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*1}, 南海浩一^{*1}, 石田和也^{*2}, 赤堀有美^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄: 核酸医薬の目的物質由来不純物 (スクレオチド欠損体/付加体) による遺伝子発現変化.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

*¹ 味の素バイオファーマサービス (株) ジーンデザイン

*² (一財) 化学物質評価研究機構

*³ エーピー・サイエックス (株)

*⁴ サーモフィッシューサイエンティフィック (株)

*⁵ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*⁶ 大阪大学大学院薬学研究科

Nishikaze T^{*1}, Uchiyama K^{*1}, Suzuki R^{*1}, Kawakami J^{*2}, Inoue T, Obika S^{*3}, Hayakawa Y^{*1}: Rapid monitoring of the purification process of oligonucleotide impurities using a benchtop MALDI-TOF MS system.

72nd American Society for Mass Spectrometry (2024.6.5)

*¹ Shimadzu Corporation

*² FIRST, Konan University

*³ Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田安則, 内田恵理子, 井上貴雄: オフターゲット変異部位のCell-free予測を正確に行うための解析手法の開発.

日本ゲノム編集学会第9回大会 (2024.6.19)

* 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

井上貴雄, 山下拓真, 山本武範, 内田恵理子: ゲノム編集治療に係るオフターゲット変異を予測・評価する手法に関する考察.

日本ゲノム編集学会第9回大会 (2024.6.19)

大岡伸通, 内藤幹彦*, 出水庸介: ギルテリチニブをリガンドに利用したPROTACによるALK融合タンパク質の分解.

第28回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2024.6.20)

* 東京大学大学院薬学系研究科

石田和也^{*1}, 内田安則, 吉田徳幸, 赤堀有美^{*1}, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄: 核酸医薬の目的物質由来不純物（スクレオチド欠損体／付加体）による遺伝子発現変化.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

^{*1} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*2} 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

^{*3} エービー・サイエックス（株）

^{*4} サーモフィッシュ・サイエンティフィック（株）

^{*5} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*6} 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 山本武範, 吉田徳幸, 井上貴雄: タンパク質レベルで毒性を評価する新規オフターゲット評価法の開発.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

毛利真裕子^{*1}, 加塩健悟^{*1}, 瀧本清貴^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*3}, 武藤英吾^{*1}: 連続クロマトグラフィー(MCSGP)技術を用いたオリジ核酸製造プロセスの開発と製造コストの削減.

日本プロセス化学会2024サマーシンポジウム (2024.7.5)

^{*1} (株) ウイエムシイ

^{*2} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

井上貴雄: 核酸医薬の規制整備に向けた取り組み.

第40回日本DDS学会学術集会 (2024.7.11)

内田安則, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 山本武範, 井上貴雄: 核酸医薬およびmRNA医薬による自然免疫活性化の評価に関する研究.

日本核酸医薬学会第9回年会若手シンポジウム (2024.7.15)

山口卓男^{*1}, 阪上詩織^{*2}, 小峯飛々暉^{*1}, Wang Ziwei^{*1}, 吉田徳幸, 井上貴雄, 小比賀聰^{*1}: 5'位にシクロペタン環を有するDNA誘導体の合成とその機能評価.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

*1 大阪大学大学院薬学研究科

*2 大阪大学薬学部

内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*1}, 南海浩一^{*1}, 石田和也^{*2}, 赤堀有美^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄: 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方: 総括.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

^{*1} 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

^{*2} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*3} エービー・サイエックス（株）

^{*4} サーモフィッシュ・サイエンティフィック（株）

^{*5} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*6} 大阪大学大学院薬学研究科

斎藤恵美^{*1}, 南海浩一^{*1}, 内田安則, 吉田徳幸, 石田和也^{*2}, 赤堀有美^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄: 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方: アンチセンス医薬モデルの製造.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

^{*1} 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

^{*2} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*3} エービー・サイエックス（株）

^{*4} サーモフィッシュ・サイエンティフィック（株）

^{*5} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*6} 大阪大学大学院薬学研究科

稻垣知恵^{*1}, 岩崎了教^{*1}, 唐澤薰^{*1}, 内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 石田和也^{*3}, 赤堀有美^{*3}, 川上純司^{*4}, 小比賀聰^{*5}, 井上貴雄: 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方: 不純物分析1.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

^{*1} エービー・サイエックス（株）

*² 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

*³ (一財) 化学物質評価研究機構

*⁴ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*⁵ 大阪大学大学院薬学研究科

高原健太郎^{*1}, 肥後大輔^{*1}, 内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 石田和也^{*3}, 赤堀有美^{*3}, 川上純司^{*4}, 小比賀聰^{*5}, 井上貴雄: 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方: 不純物分析 2.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

*¹ サーモフィッシュ・サイエンティフィック（株）

*² 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

*³ (一財) 化学物質評価研究機構

*⁴ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*⁵ 大阪大学大学院薬学研究科

石田和也^{*1}, 赤堀有美^{*1}, 内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄: 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方: 遺伝子発現変動解析.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

*¹ (一財) 化学物質評価研究機構

*² 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

*³ エービー・サイエックス（株）

*⁴ サーモフィッシュ・サイエンティフィック（株）

*⁵ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*⁶ 大阪大学大学院薬学研究科

西風隆司^{*1}, 鈴木里沙^{*1}, 中園純葉^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*3}, 早川禎宏^{*1}: 合成オリゴ核酸精製過程のMALDI-TOF MS迅速モニタリング.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.16)

*¹ (株) 島津製作所

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

山下拓真, 内藤雄樹*, 山本武範, 吉田徳幸, 内田安則, 内田恵理子, 井上貴雄: ゲノム編集によるオフターゲット変異部位を予測する新規Cell-free解析ソフトウェアの開発.

第30回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2024.7.16)

* 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

山本武範, 山下拓真, 内田恵理子, 井上貴雄: デジタルPCRを用いたAAVベクターの安定的なゲノムタイマー測定に向けた検討.

第30回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2024.7.16)

井上貴雄: オフターゲット毒性の予測評価に関する考察. 日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

井上貴雄: 核酸医薬の規制整備における日本製薬工業協会の貢献.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

瀬崎浩史^{*1}, 内藤厚子^{*1}, 林明生^{*1}, 井上貴雄, 川上純司^{*2}, 小比賀聰^{*3}: 2D-LC/MSによるオリゴ核酸不純物の分離と定量解析.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ アジレント・テクノロジー（株）

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

韋宏^{*1}, 赤嶺隆太^{*1}, 長野裕夫^{*1}, 乙丸有香^{*1}, 井上貴雄, 川上純司^{*2}, 小比賀聰^{*3}: RPIP-LC-MSによる100mer化学合成オリゴスクレオチドの分離研究と構造確認.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ (株) 住化分析センター

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

赤嶺隆太^{*1}, 韋宏^{*1}, 長野裕夫^{*1}, 乙丸有香^{*1}, 井上貴雄, 川上純司^{*2}, 小比賀聰^{*3}: GalNAc修飾siRNAの逆相イオンペアクロマトグラフィーによる分析法検討.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ (株) 住化分析センター

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

内藤厚子^{*1}, 瀬崎浩史^{*1}, 野田莉帆^{*1}, 井上貴雄, 川上純司^{*2}, 小比賀聰^{*3}: シングル四重極LC/MSによる合成核酸不純物の定量.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ アジレント・テクノロジー（株）

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

岡本到^{*1}, 藤原健志^{*1}, 大場元^{*1}, 見目達哉^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*3}: 合成オリゴスクレオチドに見出されたジエチルアミン由来不純物の同定.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ 神戸天然物化学（株）

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

大山泰史^{*1}, 鈴木仁子^{*1}, 石垣卓^{*2}, 神前静香^{*3}, 秋田智香^{*3}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*2}, 川上純司^{*3}: 円二色性分光法と統計検定を組み合わせた核酸医薬品の高次構造変化の数値化法の開発.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ 日本分光

*² 大阪大学大学院薬学研究科

*³ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

笠井惇如^{*1}, 今橋建太^{*1}, 小方康弘^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*3}: オリゴ核酸不純物の生成における硫化剤の影響.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ UBE (株)

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

石垣卓^{*1}, 松尾亮太郎^{*2}, 廣瀬雅子^{*2}, 富田恵麗沙^{*3}, 山口卓男^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*1}, 川上純司^{*3}: 動的光散乱法を利用したアンチセンス核酸の自己相互作用検出.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² スペクトリス（株）

*³ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

高嶺竜太朗^{*1}, 山口卓男^{*1}, 関口光明^{*2,3}, 宮原佑弥^{*2,4}, 滝口直美^{*2,5}, 寺井悠馬^{*2,5}, 長谷川撰^{*3}, 韋宏^{*6}, 長野裕夫^{*6}, 高尾英伸^{*7}, 竹澤正明^{*7}, 加藤紀子^{*8}, 早川禎宏^{*8}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*1}, 川上純司^{*9}: イオンペア逆相クロマトグラフィーを用いた核酸医薬不純物の分離分析に関する検討.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² 日本製薬工業協会 核酸医薬品質評価タスクフォース

*³ 塩野義製薬（株）

*⁴ 田辺三菱製薬（株）

*⁵ 住友ファーマ（株）

*⁶ (株) 住化分析センター

*⁷ (株) 東レリサーチセンター

*⁸ (株) 島津製作所

*⁹ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

向田沙織*, 川島優大*, 徳炭由美子*, 吉田徳幸, 山本武範, 内田安則, 高木大輔*, 井上貴雄: 低圧液体クロマトグラフィー (LPLC) 法を用いたmRNAの精製に関する検討.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

* エリクサジョン サイエンティフィック ジャパン（株）

吉田徳幸, 安原秀典*, 内田安則, 佐々木澄美, 小比賀聰*, 井上貴雄: アンチセンス核酸の塩基長の伸長が肝毒性発現に与える影響.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

* 大阪大学大学院薬学研究科

寺崎真樹^{*1}, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 廣瀬賢治^{*1}, 川上純司^{*3}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*4}: オリゴスクレオチドのリン酸付加不純物の付加位置判別の試み - 合成標品を用いたLC/MS解析 -.

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ 日本ウォーターズ（株）

*² 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

*³ 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*⁴ 大阪大学大学院薬学研究科

加塩健悟^{*1}, 毛利真裕子^{*1}, 瀧本清貴^{*1}, 川上純司^{*2}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*3}, 武藤英吾^{*1}: 連続クロマトグラフィー (MCSGP) を用いたオリゴ核酸の精製 (第二報).

日本核酸医薬学会第9回年会 (2024.7.17)

*¹ (株) ワイエムシィ

*² 甲南大学フロンティアサイエンス学部

*³ 大阪大学大学院薬学研究科

井上貴雄：感染症の予防と診断－来るべき新興感染症パンデミックに備えて－.
第9回日本薬学会大会（2024.8.17）

Cheng-Linn Lee^{*1}, Mouri M^{*1}, Kashio K^{*1}, Takimoto K^{*1}, Kawakami J^{*2}, Inoue T, Obika S^{*3}, Muto E^{*1}: The development of continuous purification process for oligonucleotides purification and its potential benefits.
IRT 2024 TOKYO (2024.9.6)

^{*1} YMC CO., LTD.

^{*2} FIRST, Konan University

^{*3} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University

築茂由則, 井上貴雄：新興感染症発生初期に開発される核酸増幅検査薬の評価検体に関する調査。

第31回日本遺伝子診療学会大会（2024.9.7）

井上貴雄：感染症診断用核酸増幅検査薬の信頼性確保に関する検討。

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2024.9.14）

築茂由則：新興感染症発生時に緊急開発される核酸増幅検査薬の性能評価に関する研究。

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2024.9.14）

吉田徳幸, 内田安則, 石田和也^{*1}, 赤堀有美^{*1}, 斎藤恵美^{*2}, 南海浩一^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄：核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方－1。

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2024.9.13）

^{*1} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*2} 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

^{*3} エービー・サイエックス（株）

^{*4} サーモフィッシューサイエンティフィック（株）

^{*5} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*6} 大阪大学大学院薬学研究科

内田安則, 吉田徳幸, 斎藤恵美^{*1}, 南海浩一^{*1}, 石田和也^{*2}, 赤堀有美^{*2}, 唐澤薰^{*3}, 稲垣知恵^{*3}, 岩崎了教^{*3}, 肥後大輔^{*4}, 高原健太郎^{*4}, 川上純司^{*5}, 小比賀聰^{*6}, 井上貴雄：核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方－2。

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2024.9.13）

^{*1} 味の素バイオファーマサービス（株）ジーンデザイン

^{*2} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*3} エービー・サイエックス（株）

^{*4} サーモフィッシューサイエンティフィック（株）

^{*5} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*6} 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸, 内田安則, 萩原衆子^{*1}, 堀内祥行^{*1}, 佐々木澄美, 山本武範, 山下拓真, 合田幸広, 斎藤嘉朗, 山口卓男^{*2}, 小比賀聰^{*2}, 山本誠司^{*1}, 井上貴雄：アンチセンスへの糖部修飾核酸の導入が自然免疫活性化に与える影響。

第31回日本免疫毒性学会学術年会（2024.9.18）

^{*1} 扶桑薬品工業（株）

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 内藤幹彦^{*}：ギルテリチニブをリガンドに利用したPROTACによるALK融合タンパク質の分解。

第83回日本癌学会学術集会（2024.9.21）

* 東京大学大学院薬学系研究科

山下拓真, 内藤雄樹^{*}, 山本武範, 吉田徳幸, 内田安則, 内田恵理子, 井上貴雄：ゲノム編集によるオフターゲット変異を正確に予測するための次世代シークエンシングデータ解析手法の開発。

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2024.9.21）

* 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

Yamaguchi T^{*}, Sakurai Y^{*}, Yamamoto C^{*}, Sugita K^{*}, Yoshida T, Inoue T, Obika S^{*}: Design, Synthesis, and Evaluation of 1'-C,3'-O-Bridged D-Altritol Nucleic Acids.

20th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society (2024.10.6)

* Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University

井上貴雄：躍動する核酸医薬－試行錯誤の歴史を交えながら－。

日本薬史学会2024年会（2024.11.2）

橋本創太^{*1}, 築茂由則, 大岡伸通, 遠藤彬則^{*2}, 大竹史明^{*3}, 佐伯泰^{*2}, 村田茂穂^{*1}, 内藤幹彦^{*1}: プロテアソーム分解とリソーム分解の両分解系を誘導するSNIPER(ABL)の分子機構解明.

第97回日本生化学会大会 (2024.11.7)

^{*1} 東京大学大学院薬学系研究科

^{*2} 東京都医学総合研究所

^{*3} 星葉科大学先端生命科学研究所

山本武範, 山下拓真, 内田恵理子, 井上貴雄: デジタルPCRを用いたアデノ随伴ウイルスベクターの含量測定法に関する研究.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

大岡伸通, 山本武範, 吉田徳幸, 井上貴雄: タンパク質分解医薬(PROTAC)の安全性確保に向けた新規オフターゲット評価法の開発.

第47回日本分子生物学会年会 (2024.11.27)

築茂由則, 井上貴雄: ウィルス変異が核酸増幅反応に与える影響の解析.

第71回日本臨床検査医学会学術集会 (2024.11.29)

井上貴雄: 核酸医薬およびmRNA医薬の開発動向と品質・安全性確保に関する取り組み.

日本化学会第105春季年会 (2025.3.26)

井上貴雄: ゲノム編集治療の動向と安全性確保に向けた取り組み.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

山下拓真, 山本武範, 内田恵理子, 井上貴雄: ゲノム編集に伴うオフターゲット変異に関する安全性評価手法の調査.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

内田安則, 吉田徳幸, 安原秀典^{*}, 佐々木澄美, 小比賀聰^{*}, 井上貴雄: アンチセンス核酸の塩基長の伸長が肝毒性発現に与える影響.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 大阪大学大学院薬学系研究科

山本武範, 山下拓真, 内田恵理子, 井上貴雄: デジタルPCRを用いたアデノ随伴ウイルスベクターの安定的な含量測定に影響を及ぼす因子の抽出.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

駒井優花^{*}, 内田安則, 吉田徳幸, 野口耕司^{*}, 井上貴雄: RNA分解型アンチセンスの肝毒性発現機序に関する研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 東京理科大学薬学部

大岡伸通: がんに対する標的タンパク質分解薬の開発.
日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

高嶺竜太朗^{*1}, 山口卓男^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*1}, 川上純司^{*2}: イオンペア逆相液体クロマトグラフィーを用いたS化オリゴヌクレオチドのPS/PO置換不純物の分離分析.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

^{*1} 大阪大学大学院薬学系研究科

^{*2} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

石垣卓^{*1}, 廣瀬雅子^{*2}, 富田恵麗沙^{*3}, 山口卓男^{*1}, 井上貴雄, 小比賀聰^{*1}, 川上純司^{*3}: 示差走査熱量計を用いた核酸医薬品の構造不純物の検出.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

^{*1} 大阪大学大学院薬学系研究科

^{*2} スペクトリス(株)

^{*3} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

寄本捺愛^{*1}, 千葉幸介^{*2}, 川野邊峻哲^{*2}, 林淳祐^{*2}, Shrestha Ajaya^{*2}, 梅本忠^{*2}, 小比賀聰^{*3}, 井上貴雄, 川上純司^{*1}: GuNA導入したASOの熱力学的な特性評価.
日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

^{*1} 甲南大学フロンティアサイエンス学部

^{*2} ルクサンバイオテク(株)

^{*3} 大阪大学大学院薬学系研究科

迫田秀行, 河上強志, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 山本栄一, 今釜崇^{*1}, 坂井孝司^{*1}, 濱田英敏^{*2}, 菅野伸彦^{*2}: 関節液成分の分析結果に基づく人工関節超高分子量ポリエチレンの脂質劣化評価.

日本機械学会 第36回バイオエンジニアリング講演会 (2024.5.12)

^{*1} 山口大学

*² 大阪大学

迫田秀行, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 野村祐介, 山本栄一: 皮膚に適用する医療機器分野からの事例紹介.

日本機械学会 第36回バイオエンジニアリング講演会 (2024.5.12)

Nikko M*, Miyatsuji M, Yamamoto E: Physicochemical profiling of nanomedicines using centrifugal field flow fractionation.

TIDES USA 2024 (2024.5.14)

* Shimadzu Corporation

山本栄一, 日光政隆*, 宮辻恵, 安藤大介, 宮崎玉樹, 小出達夫, 佐藤陽治: 遠心フィールドフローフラクションネーションを用いるナノ医薬品の物性プロファイリング.

第31回クロマトグラフィーシンポジウム (2024.6.5)

* (株) 島津製作所

中岡竜介, 清水昭伸*: 人工知能等の先端技術を利用した医療機器プログラムの薬事規制のあり方に関する研究: 性能評価も含めた市販後学習プロセスについて.

第6回日本メディカルAI学会学術大会 (2024.6.21)

* 東京農工大学大学院 工学研究院

中岡竜介: レギュラトリーサイエンスに基づくAI実質運用における規制上の留意点について.

第99回日本医療機器学会大会 (2024.6.22)

中岡竜介, 馬渕清資*, 山本栄一: コンタクトレンズの品質・安全性評価手法の高度化に向けた試みについて. 第66回日本コンタクトレンズ学会総会 (2024.7.15)

* 北里大学

山中陽大*, 東山滋明*, 河邊譲治*, 中岡竜介, 清水昭伸*: 骨シンチグラム診断支援システムの市販後学習時のテストデータ再利用による性能バイアスとその補正.

第43回日本医用画像工学会大会 (2024.8.6)

*¹ 東京農工大学大学院 工学研究院

*² 大阪市立大学医学部附属病院 核医学科

殿村理久*, 藤澤康弘*, 藤本学*, 坂井浩志*, 志藤光介*, 山崎研志*, 中岡竜介, 清水昭伸*: 皮膚疾患画像分類におけるUnderspecificationの評価.

第43回日本医用画像工学会大会 (2024.8.6)

*¹ 東京農工大学大学院 工学研究院

*² 愛媛大学大学院医学系研究科 皮膚科学

*³ 大阪大学大学院医学系研究科 皮膚科学

*⁴ 東北大学大学院医学系研究科 皮膚科学分野

迫田秀行, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 山本栄一, 滝伊織*, 山崎大義*, 當重明子*, 龍家圭*, 三邊武彦*, 肥田典子*: Measurement of the compressive load generated during application of a microneedle array using an applicator.

生体医工学シンポジウム2024 (2024.9.12)

*¹ 昭和大学大学院薬学研究科臨床研究開発学分野

*² 昭和大学臨床薬理研究所

*³ 昭和大学統括研究推進センター

*⁴ 昭和大学大学院医学研究科臨床薬理学分野

迫田秀行, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 山本栄一:マイクロスラリーエロージョン法による超高分子量ポリエチレンの劣化の検出感度.

第51回日本臨床バイオメカニクス学会 (2024.11.2)

田原禎生*, 迫田大輔*, 森田伸友*, 大内克洋*, 木賀田哲人*, 坪子侑佑, 藤田知之*, 長岡英気*: VV-ECMOのRecirculationをSweep gas controlにより短時間で予測する.

第77回日本胸部外科学会定期学術集会 (2024.11.2)

*¹ 東京科学大学

*² (国研) 産業技術総合研究所

*³ 順天堂大学

*⁴ 東京農工大学

山本栄一: ナノメディシンの物性評価の高度化検討.

第11回DDS製剤臨床応用フォーカスグループ合宿討論会 (2024.11.7)

湯町柊太*, 坪子侑佑, 迫田秀行, 岡本吉弘, 森脇健司*: 角質層を模したフィルムーゲル皮膚モデルによるマイクロニードルの穿刺性能評価.

第62回日本人工臓器学会大会 (2024.11.14)

* 弘前大学

中島玄喜*, 石川翔悟*, 中野大雅*, 矢野哲也*, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 森田隆弘*, 斎藤敦志*, 森脇健司*: 内壁への作用力を計測できるセンサ内蔵血管モデルの開発バルーン径と狭窄の有無による違い.

第62回日本人工臓器学会大会 (2024.11.14)

* 弘前大学

植松美幸, 坪子侑佑, 追田秀行, 岡本吉弘, 山本栄一: マイクロフォーカスX線CTを用いたマイクロニードルアレイの穿刺形態の解析.

第62回日本人工臓器学会大会 (2025.11.15)

中島玄喜*, 石川翔悟*, 中野大雅*, 矢野哲也*, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 森田隆弘*, 斎藤敦志*, 森脇健司*: 力がモニタリングできるセンサ内蔵血管モデルの開発.

第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 (2024.11.21)

* 弘前大学

石川翔悟^{*1}, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 森田隆弘^{*1}, 斎藤敦志^{*1}, 山家弘雄^{*2}, 森脇健司^{*1}: 柔軟なフィルムセンサによるバルーン拡張時の狭窄血管モデル内壁への接触圧力の計測血管硬さおよび狭窄度の影響.

第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 (2024.11.21)

^{*1} 弘前大学

^{*2} 昭和大学

Ishikawa S^{*1}, Tsuboko Y, Okamoto Y, Morita T^{*1}, Saito A^{*1}, Yamaga H^{*2}, Moriwaki T^{*1}: Measurement of contact pressure applied to vessel models during balloon dilation: effects of stenosis rates and elastic modulus.

18th International Conference on Biomedical Engineering (2024.12.9)

^{*1} Hirosaki University

^{*2} Showa University

湯町柊太*, 坪子侑佑, 追田秀行, 岡本吉弘, 森脇健司*: 模擬角質層の厚みがマイクロニードルの穿刺へ及ぼす影響の調査.

日本機械学会 第35回バイオフロンティア講演会 (2024.12.14)

* 弘前大学

岡本吉弘: 小児期および先天性心疾患の経カテーテル的治療に用いる医療機器の非臨床評価における留意点と今後の展開.

第35回日本先天性心疾患インターベンション学会学術集会 (2025.1.23)

坪子侑佑: 小児用医療機器実用化促進に向けた非臨床評価系の構築.

第35回日本先天性心疾患インターベンション学会学術集会 (2025.1.23)

追田秀行, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 山本栄一: 臨床試験で得られた圧縮荷重推移に基づくマイクロニードルアレイの*in vitro*穿刺性評価法の開発に向けた取り組み.

第45回バイオトライボロジシンポジウム (2025.3.8)

Utako Yokoyama^{*1}, Takashi Nakamura^{*1}, Masaru Kaku^{*2}, Yusuke Nomura: Challenges in the development of human-derived decellularized vascular grafts.

第130回日本解剖学会・第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会 合同大会 (2025.3.17)

^{*1} Department of Physiology, Tokyo Medical University

^{*2} Division of Bio-Prosthodontics, Niigata University Graduate School Medical and Dental Science

追田秀行, 坪子侑佑, 岡本吉弘, 山本栄一: マイクロニードルアレイの穿刺性に対する皮下組織の影響の*in vitro*モデルによる検証.

日本薬学会 第145年会 (2025.3.27)

岡本悠佑, 森下裕貴, 福井千恵, 大中浩貴^{*1}, 飯高健^{*1}, 菊池正憲^{*2}, 石井剛^{*2}, 根岸保則^{*2}, 清水茂一^{*3}, 小島幸一^{*4}, 渡辺卓穂^{*4}, 須井哉^{*4}, 川上久美子^{*4}, 添田美里^{*4}, 田村沙記^{*4}, 三輪芳久^{*5}, 中村美栄^{*5}, 山田恭史^{*5}, 配島由二, 山本栄一, 野村祐介: 医療機器における遺伝毒性試験用陽性対照材料の開発に関する研究.

日本薬学会 第145年会 (2025.3.27)

^{*1} 日精バイリス (株)

^{*2} (株) 薬物安全性試験センター

^{*3} シミックファーマサイエンス (株)

*⁴ (一財) 食品薬品安全センター

*⁵ (株) 日本バイオリサーチセンター

Yamamoto H^{*1}, Ninomiya Y^{*1}, Watanabe H^{*1}, Yamagishi T^{*1}, Kobayashi N, Ikarashi Y, Yamada T, Hirose A^{*2}: Ecological risk assessment of human pharmaceuticals detected in Japan and establishment of ecotoxicity database.

SETAC Europe 34th Annual Meeting (2024.5.5)

*¹ National Institute for Environmental Studies

*² Chemicals Evaluation and Research Institute

内山奈穂子, 細江潤子, 石附京子, 杉本直樹, 小出達夫, 田中誠司, 伊藤美千穂, 村林美香^{*1}, 篠崎妙子^{*2}, 藤峰慶徳^{*3}, 大藤克也^{*4}, 清水仁^{*4}, 藤田和弘^{*4}, 長谷部隆^{*5}, 浅井由美^{*5}, 江奈英里^{*5}, 清田浩平^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 三浦亨^{*8}, 武藤康弘^{*8}, 高岡真也^{*8}, 中山貴寛^{*8}, 朝倉克夫^{*9}, 末松孝子^{*9}, 阿部仁美^{*9}, 小浜亜以^{*10}, 五島隆志^{*11}, 安田万寿^{*11}, 植田知彦^{*12}, 合田幸広: ¹⁹F-qNMRを利用した有機フッ素化合物の絶対純度の検討。

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² 第一三共 (株)

*³ 大塚製薬 (株)

*⁴ 中外製薬 (株)

*⁵ エーザイ (株)

*⁶ 塩野義製薬 (株)

*⁷ 十全化学 (株)

*⁸ 富士フィルム和光純薬 (株)

*⁹ 日本電子 (株)

*¹⁰ (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

*¹¹ 日本新薬 (株)

*¹² 住友ファーマ (株)

久保田領志, 増井由紀子*, 河上強志, 秋山卓美, 五十嵐良明, 伊藤明子*, 内山奈穂子: LC-MS/MSによる市販化粧品中精油由来フロクマリン類の実態調査。

第49回日本香粧品学会 (2024.6.28)

* ながたクリニック

大嶋直浩, 酒井信夫, 内山奈穂子: 家庭用カーテン製品から放散される揮発性有機化合物のGC-MS分析及び多変量解析。

第32回環境化学討論会 (第3回環境化学物質3学会合同

大会) (2024.7.2)

吉富太一*, 西以和貴*, 田原麻衣子, 上村仁*, 酒井信夫: 室内濃度指針値が策定された準揮発性有機化合物の一斉分析法の構築と住宅における実態調査。

第32回環境化学討論会 (第3回環境化学物質3学会合同大会) (2024.7.2)

* 神奈川県衛生研究所

久保田領志, 河上強志, 五十嵐良明, 内山奈穂子: マイクロ波分解-ICP-MSを用いた家庭用品に含まれる微量元素の含有実態調査。

第32回環境化学討論会 (第3回環境化学物質3学会合同大会) (2024.7.2)

小林憲弘, 土屋裕子, 高橋未来, 古川浩司^{*1}, 安田恭子^{*2}, 金井正和^{*3}, 山崎貴子^{*4}, 松沼孝行^{*5}, 仲野富美^{*6}, 緒方幸恵^{*7}, 峯岸俊貴^{*8}, 耳塚一正^{*9}, 鶴田朋子^{*10}, 杉浦愛野^{*11}, 竹内謙太郎^{*12}, 松澤悠^{*13}, 北原健一^{*14}, 中嶋京介^{*15}, 高原玲華^{*16}, 高木総吉^{*17}, 川上和宏^{*18}, 内山奈穂子: PFOSおよびPFOA分岐異性体の定量誤差に関するバリデーション試験。

第32回環境化学討論会 (第3回環境化学物質3学会合同大会) (2024.7.2)

*¹ 三重県環境保全事業団

*² アジレント・テクノロジー

*³ 川崎市上下水道局

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ サーモフィッシューサイエンティフィック

*⁶ 神奈川県衛生研究所

*⁷ エービー・サイエックス

*⁸ 埼玉県衛生研究所

*⁹ 日本ウォーターズ

*¹⁰ 大阪市水道局

*¹¹ 岐阜県公衆衛生検査センター

*¹² 埼玉県水質管理センター

*¹³ 千葉県薬剤師会検査センター

*¹⁴ 佐賀県衛生薬業センター

*¹⁵ 横須賀市上下水道局

*¹⁶ ジーエルサイエンス

*¹⁷ 大阪健康安全基盤研究所

*¹⁸ 島津製作所

高木総吉*, 味村真弓*, 吉田俊明*, 吉田仁*, 小林憲弘, 高取聰*: 防水加工スプレー剤中に含まれる中性PFAS

の存在実態と環境負荷量について.

第32回環境化学討論会（第3回環境化学物質3学会合同大会）(2024.7.2)

* 大阪健康安全基盤研究所

河上強志, 田原麻衣子, 五十嵐良明:家庭用品中のアレルギー性分散染料の分析.

第32回環境化学討論会（第3回環境化学物質3学会合同大会）(2024.7.2)

田原麻衣子, 河野幸江, 河上強志, 五十嵐良明:家庭用品中アクリル酸エステル類44種の一斉分析法の構築および実態調査.

第32回環境化学討論会（第3回環境化学物質3学会合同大会）(2024.7.2)

小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明:「日本の水環境中の111医薬品の存在実態の調査」.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

山本裕史^{*1}, 二之宮良一^{*1}, 小田悠介^{*1}, 渡部春奈^{*1}, 山岸隆博^{*1}, 小林憲弘, 山田隆志, 広瀬明彦^{*2}:「医薬品を含む化学物質の生態毒性試験と生態リスク評価」.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

*¹ 国立環境研究所

*² 化学物質評価研究機構

香川（田中）聰子^{*1}, 高橋美優^{*1}, 沖野優衣^{*1}, 森葉子, 大河原晋^{*1}, 北川康行^{*1}, 波多江典之^{*1}, 磯部隆史^{*1}, 塙岡伸光^{*1}, 神野透人^{*2}: 欧州連合化粧品規制における義務表示香料成分によるTRPA1活性化の*in silico*評価.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学薬学部

岩井健太*, 森葉子, 高木麻衣*, 小林弥生*, 磯部友彦*, 中山祥嗣*, 岩井美幸*: 有害金属曝露と腎障害部位選択性バイオマーカーとの関連.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 国立環境研究所

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Takagi S*, Uchiyama N: Occurrence of 80 Per- and Polyfluoroalkyl Substances

(PFASs) in Japanese Aquatic Environment.

Water and Environment Technology Conference 2024 (WET2024) (2024.7.20)

* Osaka Institute of Public Health

久保田領志, 伊達泰宗^{*1}, 渡部治子^{*1}, 兼清礼^{*1}, 中田晴彦^{*2}: 仙台藩三代藩主伊達綱宗公の着衣と墓室内副葬品の重金属分析.

日本文化財科学会第41回大会 (2024.7.27)

*¹ (公財) 瑞鳳殿

*² 熊本大学大学院先端科学研究院 (理)

酒井信夫, 田辺新一^{*1}, 伊藤一秀^{*2}, 田原麻衣子, 香川（田中）聰子^{*3}, 神野透人^{*4}: 衛生試験法・注解の国際標準化と行政的利活用について.

フォーラム2024 衛生薬学・環境トキシコロジー (2024.9.5)

*¹ 早稲田大学創造理工学部

*² 九州大学総合理工学研究院

*³ 横浜薬科大学

*⁴ 名城大学薬学部

西以和貴*, 吉富太一*, 河上強志: 繊維製品中有害物質スクリーニングのためのNF-κB活性／阻害物質検出法の検討.

フォーラム2024・衛生薬学トキシコロジー (2024.9.5)

* 神奈川県衛生研究所

河上強志, 田原麻衣子, 河野幸江, 内山奈穂子: 健康被害の報告されたほくろ取りクリーム類の分析.

フォーラム2024・衛生薬学トキシコロジー (2024.9.5)

湯浅竜斗^{*1}, 森葉子, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 磯部隆史^{*2}, 大河原晋^{*2}, 塙岡伸光^{*2}, 香川（田中）聰子^{*2}, 神野透人^{*1}: フタル酸エステル類の代替可塑剤によるTRPA1活性化の種差.

フォーラム2024・衛生薬学トキシコロジー (2024.9.5)

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

沖野優衣^{*1}, 高橋美優^{*1}, 森葉子, 大河原晋^{*1}, 北川康行^{*1}, 波多江典之^{*1}, 磯部隆史^{*1}, 塙岡伸光^{*1}, 神野透

人^{*2}, 香川(田中)聰子^{*1}: 改正歐州連合化粧品規制における義務表示香料成分によるヒトTRPA1の活性化予測.

フォーラム2024・衛生薬学トキシコロジー (2024.9.5)

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学薬学部

Iijima S^{*1}, Shono M^{*2}, Murayama K^{*1}, Takayama N^{*1}, Tahara M, Kawakami T, Sugiyama M^{*3}, Matsunaga K^{*3,4}: Cross reactions among rosin-related compounds in three cases of allergic contact dermatitis caused by glycerol ester of rosin hydrogenated.

The 16th Congress of the European Society of Contact Dermatitis. (2024.9.6)

*¹ Hanamizuki Clinic

*² Shono Dermatology Clinic

*³ SSCI-Net

*⁴ Fujita Health University

吉富太一*, 安東貴明*, 内田悠*, 岩橋孝祐*, 羽田千香子*, 内山奈穂子: 医薬部外品原料規格ローズマリー油のTLC確認試験の検討について.

第68回日本薬学会関東支部大会 (2024.9.14-15)

* 神奈川県衛生研究所

篠田愛華*, 亀谷春香*, 青木明*, 岡本誉士典*, 酒井信夫, 神野透人*: 室内空气中フッ素テロマーアルコール類の実態調査.

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2024.9.21)

* 名城大学薬学部

東珠希^{*1}, 湯浅竜斗^{*1}, 森葉子, 青木明^{*1}, 岡本誉士典^{*1}, 磯部隆史^{*2}, 大河原晋^{*2}, 城岡伸光^{*2}, 香川(田中)聰子^{*2}, 神野透人^{*1}: メントール異性体による侵害刺激の種差に関する研究.

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2024.9.21)

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

小林憲弘, 土屋裕子: 水道用資機材等の浸出液のLC/

MS/MS一斉分析法の検討.

令和6年度日本水道協会全国会議(水道研究発表会) (2024.10.9)

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Kosugi Y*, Suzuki T*: Occurrence of 111 Human Pharmaceuticals in River Water in Japan.

SETAC North America 45th Annual Meeting (2024.10.20)

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Takagi S*, Yoshida J*, Miura M*, Yoshida T*, Kobayashi N, Takatori S*: Elucidating the environmental impact of neutral PFAS in waterproofing sprays in the Japanese market.

SETAC North America 45th Annual Meeting (2024.10.20)

* Osaka Institute of Public Health

大嶋直浩, 高木規峰野, 酒井信夫, 内山奈穂子, 千葉真弘^{*1}, 西堀祐司^{*2}, 宮手公輔^{*3}, 大槻良子^{*4}, 橋本ルイコ^{*5}, 大竹正芳^{*6}, 角田徳子^{*7}, 上村仁^{*8}, 田中礼子^{*9}, 高居久義^{*10}, 三宅崇弘^{*11}, 堀井裕子^{*12}, 望月映希^{*13}, 羽田好孝^{*14}, 山本優子^{*15}, 若山貴成^{*16}, 吉田俊明^{*17}, 古市裕子^{*18}, 吉野共広^{*19}, 伊達英代^{*20}, 谷脇妙^{*21}, 島田友梨^{*22}, 出口雄也^{*23}, 田崎盛也^{*24}: 令和5年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 青森県衛生研究所

*³ 岩手県環境保健研究センター

*⁴ 宮城県保健環境センター

*⁵ 千葉県衛生研究所

*⁶ 千葉市環境保健研究所

*⁷ 東京都健康安全研究センター

*⁸ 神奈川県衛生研究所

*⁹ 横浜市衛生研究所

*¹⁰ 川崎市健康安全研究所

*¹¹ 新潟県保健環境科学研究所

*¹² 富山県衛生研究所

*¹³ 山梨県衛生環境研究所

*¹⁴ 静岡県環境衛生科学研究所

*¹⁵ 愛知県衛生研究所

*¹⁶ 名古屋市衛生研究所

*¹⁷ 大阪健康安全基盤研究所

*¹⁸ 大阪市立環境科学研究所センター

*¹⁹ 神戸市健康科学研究所

*²⁰ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*²¹ 高知県衛生環境研究所

*²² 福岡市保健環境研究所

*²³ 長崎県環境保健研究センター

*²⁴ 沖縄県衛生環境研究所

久保田領志, 河上強志, 五十嵐良明, 内山奈穂子: マイクロ波分解-ICP-MSを用いた市販家庭用品中金属類の含有実態調査（第二報）.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

内野正, 小林憲弘, 内山奈穂子: 水系暴露濃度予測モデルによるヒト用医薬品の河川水中濃度の予測精度への季節変動等の影響.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

吉田仁*, 高木総吉*, 安達史恵*, 小池真生子*, 赤木航*, 河相優子*, 土屋裕子, 小林憲弘: LC-QTOFMSを用いた水試料中農薬類スクリーニング分析法の定量精度の評価.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 大阪健康安全基盤研究所

高木総吉*, 吉田仁*, 安達史恵*, 小池真生子*, 赤木航*, 河相優子*, 小林憲弘: LC-MS/MSおよびLC-QTOFMSを用いたPFASスクリーニング分析法の構築.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 大阪健康安全基盤研究所

高木総吉*, 吉田仁*, 味村真弓*, 吉田俊明*, 小林憲弘, 高取聰*: 防水加工スプレー剤中PFASの組成分析と環境負荷量の推定.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 大阪健康安全基盤研究所

河上強志, 田原麻衣子, 内山奈穂子: 防水スプレー製品等による中毒事故に関する調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

河上強志, 田原麻衣子, 菅谷なえ子*, 内山奈穂子: エアゾール製品中のシクロヘキサン及びトルエンの曝露評

価の検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 横浜市衛生研究所

田原麻衣子, 河上強志, 西以和貴*, 内山奈穂子: 家庭用品規制法におけるヘリウム不足に対応した多環芳香族炭化水素類の試験法に関する検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 神奈川県衛生研究所

千葉真弘*, 柿本洋一郎*, 河上強志: 家庭用品中の未規制有機リン系防炎加工剤に関する実態調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 北海道立衛生研究所

大嶋智子*, 中村実沙子*, 角谷直哉*, 河上強志: 繊維製品中の家庭用品規制対象3防炎加工剤のLC-MS/MS分析に関する検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 大阪健康安全基盤研究所

西以和貴*, 吉富太一*, 河上強志: 繊維製品中NF-κB活性化／阻害物質検出法に関する検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

* 神奈川県衛生研究所

西以和貴^{*1}, 吉富太一^{*1}, 千葉真弘^{*2}, 塩田寛子^{*3}, 味村真弓^{*4}, 吉田俊明^{*4}, 高木総吉^{*4}, 高居久義^{*5}, 櫻木大志^{*6}, 大野浩之^{*6}, 河上強志: クレオソート油製品中の多環芳香族炭化水素類試験法改定に係る検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

^{*1} 神奈川県衛生研究所

^{*2} 北海道立衛生研究所

^{*3} 東京都健康安全研究センター

^{*4} 大阪健康安全基盤研究所

^{*5} 川崎市健康安全研究所

^{*6} 名古屋市衛生研究所

菅谷なえ子*, 河上強志, 田原麻衣子: 家庭用品規制法における塩化ビニル試験法の検討－塩化ビニルモノマーを既知量添加したエアゾール試作品を用いた検討－.

第61回全国衛生化学会技術協議会年会（2024.11.21）

* 横浜市衛生研究所

大嶋直浩, 高木規峰野, 酒井信夫, 内山奈穂子：「室内空気中化学物質測定マニュアル」における試料採取時間の検証。

2024年室内環境学会学術大会（2024.11.30）

吉富太一*, 西以和貴*, 田原麻衣子, 仲野富美*, 上村仁*, 酒井信夫：室内環境中のハウスダストにおけるベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の実態調査。

2024年室内環境学会学術大会（2024.11.30）

* 神奈川県衛生研究所

村木沙織*, 田原麻衣子, 田中礼子*, 酒井信夫：LC/MSを用いた室内空气中SVOCの標準試験法の開発（第1報）。

2024年室内環境学会学術大会（2024.11.30）

* 横浜市衛生研究所

酒井信夫, 田原麻衣子, 神野透人^{*1}, 香川(田中)聰子^{*2}, 田辺新一^{*3}, 東賢一^{*4}：シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会が示す「室内空气中化学物質の測定マニュアル（統合版）」について。

2024年室内環境学会学術大会（2024.12.1）

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

*³ 早稲田大学創造理工学部

*⁴ 近畿大学医学部

田原麻衣子, 細江潤子, 石附京子, 河上強志, 杉本直樹, 内山奈穂子：有機フッ素化合物PFASの純度測定における¹Hおよび¹⁹F-qNMRの比較。

第6回日本定量NMR研究会年会（2024.12.13）

河上強志, 田原麻衣子, 河野幸江, 内山奈穂子：家庭用品等に含まれる感作性物質の実態調査－アクリル酸エステル類－。

第54回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会（2024.12.21）

飯島茂子^{*1,2}, 木村昌代^{*3}, 佐々木信子^{*3}, 宮澤婦美子^{*3}, 森葉子, 田原麻衣子, 河上強志：院内で発生したDS2

防塵マスクのゴムによるアレルギー性接触皮膚炎の原因成分の検討。

第54回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会（2024.12.21）

*¹ はなみずきクリニック

*² 龍ヶ崎済生会病院皮膚科

*³ 龍ヶ崎済生会病院看護部

増澤真実子^{*1}, 浜田祐子^{*1}, 杉山真理子^{*2}, 田原麻衣子, 河上強志：洗濯衣類の消臭目的に使用したオスバン[®]による接触皮膚炎について－各種繊維中の塩化ベンザルコニウム残留濃度測定結果報－。

第54回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会（2024.12.21）

*¹ 北里大学医学部

*² 一般社団法人SSCI-Net

田中博子*, 伊藤崇*, 鷺崎久美子*, 吉田憲司*, 田原麻衣子, 河上強志, 石河晃*: 市販防水性絆創膏によるアレルギー性接触皮膚炎の1例。

第54回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会（2024.12.21）

* 東邦大学医学部

吉富太一*, 西以和貴*, 羽田千香子*, 内山奈穂子：医薬部外品原料規格「セージ油」におけるGC確認試験法の迅速化の検討。

令和6年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会総会・研究会（2025.2.7）

* 神奈川県衛生研究所

飯島茂子*, 村山佳代*, 高山典子*, 森葉子, 田原麻衣子, 河上強志：防塵マスクのゴム紐による職業性アレルギー性接触皮膚炎の1例。

第117回日本皮膚科学会茨城地方会（2025.3.2）

* はなみずきクリニック

小林憲弘, 土屋裕子, 中村李^{*1}, 野原健太^{*1}, 山崎貴子^{*2}, 小田智子^{*2}, 栗田翔^{*2}, 木下輝昭^{*2}：標準検査法とGC/MSターゲットスクリーニング分析法による河川水中農薬の分析結果の比較。

第59回日本水環境学会年会（2025.3.17）

*¹ アジレント・テクノロジー

*² 東京都健康安全研究センター

山本梓*, 北原健一*, 金子丈志*, 大窪かおり*, 小林憲弘: GC/MS用全自動同定・定量データベースの水道水質中農薬における性能評価.

第59回日本水環境学会年会 (2025.3.17)

* 佐賀県衛生薬業センター

久保田領志, 東阪嘉子, 内山奈穂子: GC/MSによる化粧品中香料アレルゲンの含有実態調査.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

田原麻衣子, 村木沙織*, 田中礼子*, 酒井信夫: LC/MSを用いた室内空气中SVOCの標準試験法の開発 (第2報).

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 横浜市衛生研究所

河上強志, 波多野弥生*, 三瀬雅史*, 今田優子*, 田原麻衣子, 河野幸江, 内山奈穂子: 家庭用防水スプレー製品等安全確保マニュアル作成の手引き改訂後の中毒事故症例の解析.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 日本中毒情報センター

森葉子, 河上強志, 田原麻衣子, 湯浅竜斗*, 香川(田中)聰子*, 内山奈穂子, 神野透人*: 合成TRPA1ペプチドと化学物質との結合性を指標とする気道刺激性予測法の構築に向けた検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

吉富太一*, 安東貴明*, 内田悠*, 岩橋孝祐*, 羽田千香子*, 内山奈穂子: 医薬部外品原料規格「ローズマリー水」の確認試験の改良法について.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 神奈川県衛生研究所

岩橋孝祐*, 羽田千香子*, 桑原千雅子*, 内山奈穂子:

医薬部外品原料規格に収載されているカンゾウ抽出液の定量法の改善検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 神奈川県衛生研究所

長宗寧*, 鈴木浩*, 大貫文*, 酒井信夫, 鳥羽陽*, 中島大介*, 藤森英治*, 神野透人*, 香川(田中)聰子*: 空気試験法: 試料採取法・粒子状物質・ローボリュームエアサンプラー法 (改訂).

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

*¹ グリーンブルー株式会社

*² 柴田科学株式会社

*³ 東京都健康安全研究センター

*⁴ 長崎大学薬学部

*⁵ 国立環境研究所

*⁶ 環境調査研修所

*⁷ 名城大学薬学部

*⁸ 横浜薬科大学

香川(田中)聰子*, 鈴木浩*, 長宗寧*, 大貫文*, 酒井信夫, 鳥羽陽*, 中島大介*, 藤森英治*, 神野透人*: 空気試験法: 試料採取法・粒子状物質・ハイボリュームエアサンプラー法 (改訂).

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

*¹ 横浜薬科大学

*² 柴田科学株式会社

*³ グリーンブルー株式会社

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 長崎大学薬学部

*⁶ 国立環境研究所

*⁷ 環境調査研修所

*⁸ 名城大学薬学部

大嶋智子*, 河上強志: 繊維製品中の防炎加工剤トリス(1-アジリジニル)ホスフィンオキシドの液体クロマトグラフ・タンデム質量分析計による分析法の検討.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* 大阪健康安全基盤研究所

湯浅竜斗*, 森葉子, 青木明*, 岡本誉士典*, 磯部隆史*, 大河原晋*, 塩岡伸光*, 香川(田中)聰子*, 神野透人*: フタル酸エステル代替可塑剤の加水分解代謝物によるQGP-1細胞からのセロトニン放出.

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

*¹ 名城大学薬学部

*² 横浜薬科大学

大嶋直浩, 酒井信夫, 内山奈穂子：室内空气中化学物質の瞬時型放散源の特定に関する研究.

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

篠田愛華*, 川合結稀*, 亀谷春香*, 青木明*, 岡本誉士典*, 酒井信夫, 神野透人*: 室内空气中PFAS曝露に関する研究.

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

* 名城大学薬学部

鈴木優花^{*1}, 森葉子, 湯浅竜斗^{*2}, 大河原晋^{*1}, 北川康行^{*1}, 波多江典之^{*1}, 磯部隆史^{*1}, 塙岡伸光^{*1}, 神野透人^{*2}, 香川(田中)聰子^{*1}: 柔軟仕上剤に含まれる香料成分によるヒトTRPA1活性化の*in silico*評価.

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学薬学部

小川詩乃^{*1}, 森葉子, 湯浅竜斗^{*2}, 大河原晋^{*1}, 北川康行^{*1}, 波多江典之^{*1}, 磯部隆史^{*1}, 塙岡伸光^{*1}, 神野透人^{*2}, 香川(田中)聰子^{*1}: メディカルアロマセラピーで用いられる精油成分とヒトTRPA1の分子間相互作用の*in silico*評価.

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学薬学部

廣田佳乃^{*1}, 森葉子, 湯浅竜斗^{*2}, 大河原晋^{*1}, 北川康行^{*1}, 波多江典之^{*1}, 磯部隆史^{*1}, 塙岡伸光^{*1}, 神野透人^{*2}, 香川(田中)聰子^{*1}: 有機リン系難燃剤によるヒトTRPA1活性化の*in silico*評価.

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学薬学部

内山奈穂子, 細江潤子, 清田浩平^{*1}, 石附京子, 杉本直樹, 小出達夫, 田中誠司, 増本直子, 伊藤美千穂, 村林美香^{*2}, 篠崎妙子^{*3}, 藤峰慶徳^{*4}, 大藤克也^{*5}, 清水仁^{*5},

藤田和弘^{*5}, 長谷部隆^{*6}, 浅井由美^{*6}, 江奈英里^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 武藤康弘^{*8}, 高岡真也^{*8}, 中山貴寛^{*8}, 朝倉克夫^{*9}, 末松孝子^{*9}, 阿部仁美^{*9}, 小浜亜以^{*10}, 五島隆志^{*11}, 安田万寿^{*11}, 諫訪博昭^{*12}, 渡邊玲^{*12}, 岡田ひとみ^{*13}, 合田幸広: ¹⁹F-qNMRを用いた医薬品中の残留溶媒としてのトリフルオロ酢酸(TFA)の定量に関する研究.

日本薬学会第145年会（2025.3.29）

*¹ 塩野義製薬(株)

*² 武田薬品工業(株)

*³ 第一三共(株)

*⁴ 大塚製薬(株)

*⁵ 中外製薬(株)

*⁶ エーザイ(株)

*⁷ 十全化学(株)

*⁸ 富士フイルム和光純薬(株)

*⁹ 日本電子(株)

*¹⁰ (一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

*¹¹ 日本新薬(株)

*¹² 沢井製薬(株)

*¹³ アステラス製薬(株)

山崎由貴, 中村公亮, 柏原奈央, 千葉慎司, 穂山浩*, 堤智昭: 農薬の加工係数予測モデルの開発及びその予測性能評価.

日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.23）

* 星薬科大学

鳥井昭良^{*1}, 関友輔^{*1}, 佐々野僚一^{*2}, 石田悦基^{*1}, 中村公亮, 伊藤里恵^{*2}, 岩崎雄介^{*2}, 飯島賢^{*1}, 穂山浩^{*2}: S-Trap法およびオンライン自動固相抽出装置を活用したLC-MS/MSによる特定原材料一斉分析法の検討.

日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.23）

*¹ 日清製粉グループ

*² 星薬科大学

菊地博之, 坂井隆敏, 大倉知子, 根本了, 田口貴章, 堤智昭: LC-MS/MSを用いた畜水産物中のセトキシジム分析法の開発.

日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.24）

佐々野僚一^{*1,2}, 穂山浩^{*1}, 関澤純平^{*1}, 原野幹久^{*1}, 勝本叶香^{*1}, 斎藤勲^{*2}, 田口貴章, 堤智昭, 伊藤里恵^{*1}, 岩崎雄介^{*1}: オンライン固相誘導体化-LC-MS/MSによ

る大豆中グリホサート、グルホシネートおよびそれら代謝物の分析法の開発。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.24)

*¹ 星薬科大学

*² (株) アイティサイエンス

張天齊, 高附巧, 足立利華, 前田朋美, 飛石和大*, 佐藤環*, 堀就英*, 鍋師裕美, 堤智昭: 魚油サプリメントからのポリ塩化ビフェニルの摂取量調査。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.24)

* 福岡県保健環境研究所

志田(齊藤) 静夏, 斎藤真希, 根本了, 堤智昭: 農産物中のキザロホップエチル及びキザロホップPテフリル分析法の開発。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.24)

鈴木美成, 高橋未来, 堤智昭: 厚生労働省が公表している検査結果を利用した流通食品における農薬等の残留濃度に関する解析。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.24)

Nabeshi H, Tsutsumi T, Hachisuka T, Kataoka, Y: Monitoring results of radioactive cesium concentration in Japanese food in fiscal year 2023.

Canadian Radiation Protection Association Conference 2024 (2024.6.4)

鈴木美成, 張本雅恵, 穂山浩¹, 広瀬明彦², 堤智昭: 食品中二酸化チタン粒子のリスクをナノマテリアルとして再評価すべきか? -人工消化液を用いた検討-。

第32回環境化学討論会(第3回環境化学物質合同大会)(2024.7.5)

*¹ 星薬科大学

*² 化学物質評価研究機構

堤智昭, 足立利華, 張天齊, 高附巧, 鍋師裕美: GC-MS/MSによる畜水産物中のダイオキシン類分析の検討。

第32回環境化学討論会(第3回環境化学物質合同大会)(2024.7.5)

Hirose A¹, Harimoto M, Takahashi M, Tsutsumi T, Akiyama H², Suzuki Y: Comaparison of TiO₂ particle

size distribution in artificial digestion solutions using single-particle ICP-MS.

The 58th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2024) (2024.9.10)

*¹ Chemicals Evaluation and Research Institute

*² Hoshi University

Saito-Shida, S., Saito, M., Tsutsumi, T: Multi-residue methods for pesticides in edible insects by LC-MS/MS and GC-MS/MS.

15th European Pesticide Residue Workshop (2024.9.18)

Yamasaki Y, Aloisi I*, Mol H*: Miniaturization of the QuEChERS method in fruits and vegetables: how mini can we go without cryogenic milling?

15th European Pesticide Residue Workshop (2024.9.18)

* Wageningen Food Safety Research

Yamasaki Y, Nakamura K, Kashiwabara N, Chiba S, Akiyama H*, Tsutsumi T: Development of a prediction model for processing factor of pesticides in processed tomato commodities using elastic net regularization.

15th European Pesticide Residue Workshop (2024.9.18)

* Hoshi University

Zhang T, Takatsuki S, Sato T*, Tobiishi K*, Hori T*, Nabeshi H, Tsutsumi T: Polychlorinated biphenyl concentrations and estimated intakes in fish oil supplements on the Japanese market.

44th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs) (2024.10.2)

* Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

Tsutsumi T, Zhang T, Takatsuki S, Nabeshi H: Estimation of dietary intakes of dioxins and polychlorinated biphenyls in Japan in 2023.

44th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs) (2024.10.2)

Sato T*, Tobiishi K*, Hori T*, Tsutsumi T: Simultaneous Measurement Method for Organophosphate Flame Retardants: Comparison of

LC-MS/MS and GC-MS/MS.

44th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs) (2024.10.2)

* Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

志田（齊藤）静夏，齋藤真希，小林奈穂，張本雅恵，鈴木美成，堤智昭：食用昆虫に含まれる水銀，カドミウム，鉛及びヒ素分析の検討。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.6）

高木千陽^{*1}，中村歩^{*1}，河野洋一^{*1}，伊藤里恵^{*2}，堤智昭，穂山浩^{*2}，志田（齊藤）静夏：イムノアフィニティーカラムを用いた牛尿中におけるレゾルシル酸ラクトン類の同時分析法開発。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.6）

*¹ 一般財団法人日本食品分析センター

*² 星薬科大学

北村真理子^{*}，朝倉敬行^{*}，宮田昌弘^{*}，安田和男^{*}，田口貴章，根本了：畜水産物中MCPA分析法。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

* 東京顕微鏡院

高橋良平^{*}，今井浩一^{*}，田口貴章，堤智昭：LC-MS/MSによる畜産物中ジチアノン分析法の検討。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

* 埼玉県衛生研究所

勝本叶香^{*1}，佐々野僚一^{*1,2}，島三記絵^{*2}，原野幹久^{*1}，野村昂聖^{*1}，藤田優麻^{*1}，岩崎雄介^{*1}，伊藤里恵^{*1}，田口貴章，堤智昭，穂山浩^{*1}：LC-MS/MSを用いたほうれんそう中ネオニコチノイド系農薬とその代謝物の一斉分析法の開発。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

*¹ 星薬科大学

*² (株) アイスティサイエンス

堤智昭，足立利華，鍋師裕美：ヘッドスペース固相マイクロ抽出/GC-MSによる加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の検討。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

張天齊，高附巧，鍋師裕美，志田（齊藤）静夏，堤智昭：食用昆虫に含まれるダイオキシン類の分析法の検討。日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

畠寛子^{*1}，池側智香子^{*1}，飯塚誠一郎^{*1}，河野洋一^{*1}，伊藤里恵^{*2}，堤智昭，穂山浩^{*2}，志田（齊藤）静夏：牛尿中の2-チオウラシル，4-チオウラシルおよび6-メチル-2-チオウラシル分析法の確立。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

*¹ 一般財団法人日本食品分析センター

*² 星薬科大学

高橋未来，鈴木美成，北山育子，堤智昭：ミネラルウォーター類におけるPFOS及びPFOAの含有量調査。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

下村亘^{*1}，松島崇大^{*1}，三木奈津子^{*1}，伊藤里恵^{*1}，岩崎雄介^{*1}，鈴木美成，広瀬明彦^{*2}，穂山浩^{*1}：動的光散乱法とレーザー回折法を用いた食品添加物の二酸化チタンの粒径解析および検討について。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

*¹ 星薬科大学

*² 化学物質評価研究機構

山崎由貴，柏原奈央，中村公亮，堤智昭：食品中のエチレンオキシド及び2-クロロエタノール分析法の開発。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

中代智菜美^{*}，今井浩一^{*}，堤智昭：LC-MS/MSによる魚試料中のベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の一斉分析法の検討。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

* 埼玉県衛生研究所

佐藤環^{*}，飛石和大^{*}，堀就英^{*}，堤智昭：食品中のリン酸エステル系難燃剤の一斉分析法の検討（2）。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.7）

* 福岡県保健環境研究所

鍋師裕美，張天齊，川又香予，片岡洋平，蜂須賀暁子，堤智昭：マーケットバスケット方式による放射性セシウム及びストロンチウム90の預託実効線量の推定（2022年調査）。

日本食品衛生学会第120回学術講演会（2024.11.8）

志田（齊藤）静夏、齋藤真希、小林奈穂、堤智昭：食用昆虫に含まれる農薬の一斉分析法の開発及び実態調査。
第41回農薬環境科学・第47回農薬残留分析合同研究会（2024.11.11）

曳埜忍^{*}、島田京佳^{*}、矢島智成^{*}、飯島和昭^{*}、田口貴章、志田（齊藤）静夏：残留農薬分析における試料均質性の指標の検討～圃場で農薬散布して栽培したホウレンソウを用いた調査～。

第41回農薬環境科学・第47回農薬残留分析合同研究会（2024.11.11）

*（一財）残留農薬研究所

山崎由貴、Aloisi I^{*}、Mol H^{*}：QuEChERS法のスケルダウンに関する検討：EUの公的検査機関における試料調製法を踏まえて。

第41回農薬環境科学、第47回農薬残留分析合同研究会（2024.11.11）

* Wageningen Food Safety Research

Tsutsumi T, Suzuki Y: Total diet studies on food contaminants in Japan: current findings with time trends.

International Conference on Food Safety and 39th KoSFoS Annual Meeting (2024.11.21)

佐藤環^{*}、堀就英^{*}、坂井隆敏、根本了、田口貴章、穂山浩^{*}、堤智昭：LC-MS/MSによる畜産物中のガミスロマイシン分析法の開発。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

^{*}1 福岡県保健環境研究所

^{*}2 星薬科大学

張天斎、高附巧、武村奈穂、鍋師裕美、堤智昭：トータルダイエット試料によるダイオキシン類の摂取量推定（令和5年度）。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

鍋師裕美、五十嵐敦子、川又香予、張天斎、堤智昭：流通食品中の放射性セシウム濃度調査（2023年度）。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

志田（齊藤）静夏、齋藤真希、根本了、堤智昭：農産物中のアセトクロール試験法の開発。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

鈴木美成、張本雅恵、北山育子、高橋未来、堤智昭：トータルダイエット試料を用いた有害元素のばく露量推定。
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

高橋未来、鈴木美成、北山育子、堤智昭：季節間における乳試料中のプロゲステロン含有量の比較。

第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21）

畠寛子^{*}1、池側智香子^{*}1、飯塚誠一郎^{*}1、河野洋一^{*}1、伊藤里恵^{*}2、堤智昭、穂山浩^{*}2、志田（齊藤）静夏：牛尿中の2-チオウラシル、4-チオウラシルおよび6-メチル-2-チオウラシル分析法の確立。

第7回日本食品衛生学会近畿ブロック勉強会（2025.2.14）

^{*}1 一般財団法人日本食品分析センター

^{*}2 星薬科大学

三宅司郎^{*}1、宮下隆^{*}2、赤星千絵^{*}3、朝倉敬行^{*}4、坂井隆敏、高取聰^{*}5、平原嘉親^{*}6、藤本啓^{*}7、水越一史^{*}8：汚染物試験法：食品に混入していた異物の分析（改訂）。
日本薬学会第145年会（2025.3.27）

^{*}1 麻布大学

^{*}2 江崎グリコ（株）

^{*}3 川崎市健康安全研究所

^{*}4 （一財）東京顯微鏡院

^{*}5 大阪健康安全基盤研究所

^{*}6 摂南大学農学部

^{*}7 北海道立衛生研究所

^{*}8 （一財）日本食品分析センター

後藤浩文^{*}1、中村公亮、岡本正志^{*}2、佐伯憲一^{*}3、佐久間智宏^{*}1、千葉剛^{*}4、中川公恵^{*}2、穂山浩^{*}5：食品成分試験法：食物繊維における酵素-HPLC法（新規）。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

^{*}1 日本食品分析センター

^{*}2 神戸学院大学

^{*}3 金城学院大学

^{*}4 千葉科学大学

^{*}5 星薬科大学

千葉剛^{*}1、中村公亮、岡本正志^{*}2、後藤浩文^{*}3、佐伯憲

一^{*4}, 佐久間智宏^{*3}, 中川公恵^{*2}, 稔山浩^{*5}: 食品成分試験法: 食物繊維における酵素-HPLC法(新規).
日本薬学会第145年会(2025.3.27)

*¹ 千葉科学大学

*² 神戸学院大学

*³ 日本食品分析センター

*⁴ 金城学院大学

*⁵ 星薬科大学

佐原弘晃, 大塚まりな^{*1}, 平田晴之^{*1}, 福光徹^{*2}, 萩尾真人^{*2}, 熊坂謙一^{*2}, 中村公亮: 改良型GC/MSメタボロミックス手法で解明するガス滅菌が食品成分に及ぼす影響.

日本薬学会第145年会(2025.3.27)

*¹ 酪農学園大学

*² 神奈川県衛生研究所

野村昂聖^{*1}, 勝本叶香^{*1}, 原野幹久^{*1}, 藤田優麻^{*1}, 佐々野僚一^{*1,2}, 岩崎雄介^{*1}, 伊藤里恵^{*1}, 田口貴章, 堤智昭, 稔山浩^{*1}: LC-MS/MSによるとうもろこし中のグリホサート, グルホシネート及びそれら代謝物の分析法の開発.

日本薬学会第145年会(2025.3.28)

*¹ 星薬科大学

*² (株) アイティサイエンス

藤田優麻^{*1}, 勝本叶香^{*1}, 佐々野僚一^{*1,2}, 島三記絵^{*2}, 原野幹久^{*1}, 野村昂聖^{*1}, 岩崎雄介^{*1}, 伊藤里恵^{*1}, 田口貴章, 堤智昭, 稔山浩^{*1}: LC-MS/MSを用いたいちご中ネオニコチノイド系農薬とその代謝物の一斉分析法の開発.

日本薬学会第145年会(2025.3.28)

*¹ 星薬科大学

*² (株) アイティサイエンス

多田敦子, 日置冬子, 太田亜紀子, 建部千絵, 窪崎敦隆, 久保田浩樹, 杉本直樹: ぶどう酒用新規指定添加物フィチン酸カルシウムの規格試験法の検討.

日本食品化学学会第30回総会学術大会(2024.5.23-24)

多田敦子, 堀江正一^{*1}, 内山陽介^{*2}, 栗田史子^{*3}, 羽石奈穂子^{*4}, 林真輝^{*4}, 勝原美紀^{*5}, 大槻崇^{*6}, 中島安基江^{*7}, 井原紗弥香^{*7}, 金田祥子^{*8}, 久保田浩樹, 建部千

絵, 日置冬子, 佐藤恭子, 杉本直樹: 食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討(令和5年度).

第61回全国衛生化学技術協議会年会(2024.11.21-22)

*¹ 大妻女子大学

*² 神奈川県衛生研究所

*³ 川崎市健康安全研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 名古屋市衛生研究所

*⁶ 日本大学

*⁷ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁸ 横浜市衛生研究所

久保田浩樹, 寺見祥子, 太田亜紀子, 建部千絵, 多田敦子, 杉本直樹: マーケットバスケット方式による加工食品中のラクトン系香料の一日摂取量調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会(2024.11.21-22)

建部千絵, 柳本登紀子, 日置冬子, 小田島知未*, 吉田美佳*, 久保田浩樹, 佐藤恭子, 多田敦子, 杉本直樹: 食品添加物ポリビニルアルコール中の残留溶媒試験法の検討.

日本食品化学学会第30回総会学術大会(2024.5.23-24)

* (一財) 日本食品分析センター

建部千絵, 藤原由美子, 高田翔平, 久保田浩樹, 多田敦子, 杉本直樹: SR-HPLC法を用いた食用青色1号中の2-, 3-及び4-ホルミルベンゼンスルホン酸の定量法に関する検討.

日本食品衛生学会第120回学術講演会(2024.11.7-8)

高田翔平, 日置冬子, 丸田知枝, 藤原由美子, 黒原崇, 建部千絵, 多田敦子, 杉本直樹: 相対モル感度を用いたHPLCによるソルビン酸立体異性体の定量法開発.

日本食品衛生学会第120回学術講演会(2024.11.7-8)

丸田知枝, 日置冬子, 建部千絵, 久保田浩樹, 寺見祥子, 多田敦子, 杉本直樹: 食品中の安息香酸分析法による他成分との分離状況の確認.

日本食品化学学会第30回総会学術大会(2024.5.23-24)

藤原由美子, 建部千絵, 黒原崇, 柳本登紀子, 日置冬子, 久保田浩樹, 多田敦子, 杉本直樹: 食品添加物公定書のニンヒドリン反応による確認試験の基礎的検討.

日本食品化学学会第30回総会学術大会(2024.5.23-24)

寺見祥子, 小野澤美玲^{*1}, 村越早織^{*1}, 工藤礼佳^{*2}, 氏家澄香^{*2}, 杉木幹雄^{*3}, 鈴木公美^{*3}, 藤田直希^{*4}, 安永恵^{*4}, 中島安基江^{*5}, 井原紗弥香^{*5}, 馬場勇志^{*6}, 小川尚孝^{*6}, 大城聰子^{*7}, 古謝あゆ子^{*7}, 久保田浩樹, 太田亜紀子, 建部千絵, 黒原崇, 多田敦子, 杉本直樹: 令和5年度マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

*¹ 札幌市衛生研究所

*² 仙台市衛生研究所

*³ 東京都健康安全研究センター

*⁴ 香川県環境保健研究センター

*⁵ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁶ 長崎市保健環境試験所

*⁷ 沖縄県衛生環境研究所

太田亜紀子, 久保田浩樹, 寺見祥子, 藤原由美子, 建部千絵, 多田敦子, 杉本直樹: カロテノイド表示加工食品におけるノルビキシン及びビキシンの検出傾向.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

日置冬子, 建部千絵, 柳本登紀子, 久保田浩樹, 高田翔平, 窪崎敦隆, 多田敦子, 杉本直樹: ぶどう酒中のフェロシアン化カリウム分析法の検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

川末慎葉, 國吉杏子, 上間匡, 大城直雅: 脂溶性貝毒アザスピロ酸分析性能の向上を目指した新規誘導体化試薬の設計とサロゲートを活用した分析法検討.

日本食品化学学会第30回総会学術大会 (2024.5.23-24)

川末慎葉, 國吉杏子, 上間匡, 大城直雅: カルボン酸の分析性能を向上させる誘導体化試薬の創出と脂溶性貝毒アザスピロ酸類への適用.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

中島馨, 増本直子, 阿部裕, 杉本直樹: 相対モル感度(RMS)を用いたクロロゲン酸類の一斉分析法の検討～クロロゲン酸類縁体の構造とRMSの関係～.

日本食品衛生学会第120回学術講演会 (2024.11.7-8)

石附京子, 阿部裕, 杉本直樹: エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)を用いた食品添加物中の鉛及びヒ素の定量法の検討.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

西崎雄三^{*}, 石附京子, 杉本直樹: ¹Hスピン情報に基づいたクロロゲン酸類のデジタルリファレンススタンダード(dRS)の作成.

日本食品化学学会第30回総会学術大会 (2024.5.23-24)

* 東洋大学

永津明人^{*1}, 森本深麗^{*1}, 西崎雄三^{*2}, 阿部裕, 増本直子, 杉本直樹: ¹H-qNMR法を用いたクローブ由来既存添加物およびチョウジ末, オールスパイス末中のeugenolの定量.

日本生薬学会第70回年会 (2024.9.15-16)

*¹ 金城学院大学

*² 東洋大学

渡辺実薰*, 御所窪誠*, 伊藤朱美*, 藤松芽生*, 座間俊輔*, 阿部裕, 建部千絵, 多田敦子, 杉本直樹: 食品添加物公定書における窒素定量法の検証.

日本食品衛生学会第120回学術講演会 (2024.11.7-8)

* (一財) 日本食品分析センター

鬼嶋七海*, 内倉崇*, 好村守生*, 阿部裕, 杉本直樹, 天倉吉章^{*1}: 食品添加物カラブ色素の成分研究.

第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 (2024.11.16-17)

* 松山大学

瀬川ひかり^{*1}, 伊藤遙菜^{*1}, 西崎雄三^{*2}, 阿部裕, 杉本直樹, 永津明人^{*1}: 定量NMR (¹H-qNMR) を用いたバジル (*Ocimum basilicum* L.) 中のrosmarinic acidの定量.

日本薬学会第145年会 (2025.3.26-29)

*¹ 金城学院大学

*² 東洋大学

藤原恒司, 山口未来, 六鹿元雄, 杉本直樹: 蒸発残留物試験法とOverall migration testの性能比較.

日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.23-24)

藤原恒司, 近藤翠, 片岡洋平, 六鹿元雄, 杉本直樹: 天然有機材質を主な原材料とする器具・容器包装からの金属類の溶出量に関する調査.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22)

山口未来, 六鹿元雄, 藤原恒司, 杉本直樹：総溶出物試験とその乾燥操作の平準化に関する検討.
日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.23-24）

山口未来, 藤原恒司, 近藤翠, 六鹿元雄, 杉本直樹：紙及び竹製ストローからの溶出物に関する考察.
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

片岡洋平, 近藤翠, 阿部裕, 六鹿元雄, 杉本直樹：器具・容器包装におけるアミン類の改良分析法の検討.
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.21-22）

中村優花*, 志津木智*, 藤原恒司, 黒原崇, 窪崎敦隆, 六鹿元雄, 杉本直樹：食品用プラスチック製品の劣化により生じる物質の同定.
日本薬学会第145年会（2025.3.26-29）

* 明治薬科大学

Hayashi SM, Bach U^{*1}, Bradley AE^{*2}, Cesta M^{*3}, Fossey S^{*4}, Harada T^{*5}, Jacobsen M^{*6}, Kellner R^{*7}, Laast V^{*8}, Meseck EK^{*9}, Nolte T^{*10}, Rittinghausen S^{*11}, Sato J^{*12}, Vahle JL^{*13} Yoshizawa K^{*14}: INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria for Lesions.

第41回日本毒性病理学会学術集会（2025.1.30）

^{*1} Bayer

^{*2} Charles River

^{*3} National Institute of Environmental Health Sciences

^{*4} AbbVie

^{*5} The Institute of Environmental Toxicology

^{*6} Astra Zeneca

^{*7} Fraunhofer ITEM

^{*8} Labcorp Drug Development

^{*9} Novartis

^{*10} Boehringer Ingelheim

^{*11} Fraunhofer ITEM

^{*12} LSI Medience

^{*13} Eli Lilly

^{*14} Mukogawa Womens's University

Meseck EK^{*1}, Cesta M^{*2}, Fossey S^{*3}, Laast V^{*4}, Vahle JL^{*5}, Bradley AE^{*6}, Jacobsen M^{*7}, Bach U^{*8}, Kellner R^{*9}, Nolte T^{*10}, Rittinghausen S^{*11}, Hayashi SM, Harada T^{*12}, Sato J^{*13}, Yoshizawa K^{*14}: INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria for Lesions.

Diagnostic Criteria for Lesions - An Update - 2024.
21th European Congress of Toxicologic Pathology
(2024.8.29-30)

^{*1} Novartis Pharmaceutical Corporation

^{*2} National Institute of Environmental Health Sciences

^{*3} Abbvie

^{*4} LabCorp Early Development

^{*5} Lilly Research Laboratories

^{*6} Charles River Laboratories

^{*7} Astra Zeneca

^{*8} Bayer AG

^{*9} Fraunhofer ITEM

^{*10} Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co. KG

^{*11} The Institute of Environmental Toxicology

^{*12} Mediford Corporation

^{*13} Mukogawa Women's University

Meseck EK^{*1}, Cesta M^{*2}, Fossey S^{*3}, Laast V^{*4}, Vahle JL^{*5}, Bradley AE^{*6}, Jacobsen M^{*7}, Bach U^{*8}, Kellner R^{*9}, Nolte T^{*10}, Rittinghausen S^{*11}, Hayashi SM, Harada T^{*12}, Sato J^{*13}, Yoshizawa K^{*14}: INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria for Lesions - An Update - 2024.
43rd Society of Toxicologic Pathology (2024.6.17-19)

^{*1} Novartis Pharmaceutical Corporation

^{*2} National Institute of Environmental Health Sciences

^{*3} Abbvie

^{*4} LabCorp Early Development

^{*5} Lilly Research Laboratories

^{*6} Charles River Laboratories

^{*7} Astra Zeneca

^{*8} Bayer AG

^{*9} Fraunhofer ITEM

^{*10} Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co. KG

^{*11} The Institute of Environmental Toxicology

^{*12} Mediford Corporation

^{*13} Mukogawa Women's University

Hayashi SM, Bach U^{*1}, Bradley AE^{*2}, Cesta M^{*3}, Fossey S^{*4}, Harada T^{*5}, Jacobsen M^{*6}, Kellner R^{*7}, Laast V^{*8}, Meseck EK^{*9}, Nolte T^{*10}, Rittinghausen S^{*11}, Sato J^{*12}, Vahle JL^{*13}, Yoshizawa K^{*14}: INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria for Lesions.

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.5）

- *¹ Bayer
 *² Charles River
 *³ National Institute of Environmental Health Sciences
 *⁴ AbbVie
 *⁵ The Institute of Environmental Toxicology
 *⁶ Astra Zeneca
 *⁷ Fraunhofer ITEM
 *⁸ Labcorp Drug Development
 *⁹ Novartis
 *¹⁰ Boehringer Ingelheim
 *¹¹ LSI Medience
 *¹² Eli Lily
 *¹³ Mukogawa Womens's University

Iijima M*, Onodera H: Maximum Daily Exposures as Precedent Cases for U.S. Pharmaceutical Excipients in Comparison with Those for Japanese.
 第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 名古屋市立大学大学院

黒原崇, 建部千絵, 藤原由美子, 窪崎敦隆, 多田敦子, 杉本直樹: 着色料不純物 *m,p*-ESBSA の新規合成と定量への応用.
 日本薬学会第145年会 (2025.3.26-29)

Mari Tohya, Masashi Uema: Is Hepatitis E virus emerging in Japan?
 8th international Society for Food and Environmental Virology conference (2024.6.9-14)

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛, 上間匡: 食品中のウイルスを検出すパンソルビン・トラップ法の開発と実事例への適用.
 第76回日本細菌学会東北支部総会・学術集会 (2024.8.19-20)

* 秋田県健康環境センター

上間匡, 南村幸世, 遠矢真理, 斎藤博之*: 多様な食品からのウイルス検出のための食品処理方法の検討.
 第45回日本食品微生物学会学術集会 (2024.9.5-6)

* 秋田県健康環境センター

遠矢真理, 南村幸世, 上間匡: 下水試料からのウイルス

検出法の比較.

第45回日本食品微生物学会 (2024.9.5-6)

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛, 上間匡: パンソルビン・トラップ法プロトコールのアップデートに関する検討.

第45回日本食品微生物学会学術集会 (2024.9.5-6)

* 秋田県健康環境センター

遠矢真理, 佐々木貴正¹, 田中亜美², 坂田秀勝³, 松林圭二², 上間匡: ブタ肝臓・胆汁由来E型肝炎ウイルスの遺伝子解析手法の検討と疫学解析.

第167回日本獣医学会学術集会 (2024.9.10-13)

*¹ 帯広畜産大学

*² 日本赤十字社 血液事業本部

*³ 日本赤十字社 北海道ブロック血液センター

Masashi Uema, Mari Tohya: Detection of Norovirus from food related to food poisoning incidents in Japan.
 13th International Symposium on Toxic Microorganisms, UJNR (2024.9.17-18)

Mari Tohya, Masashi Uema: Update on epidemiology and research of HEV in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms, UJNR (2024.9.17-18)

武井理美¹, Yu Jie Lu², 遠矢真理, 渡邊心³, 三澤成毅⁴, 田部陽子¹, 三井田孝⁴, San Mya⁵, Htay Htay Tin⁵, 多田達哉², 切替照雄³: ミャンマーの医療施設で分離されたカルバペネム産生の *Klebsiella pneumoniae* の分子疫学解析.

第53回薬剤耐性菌研究会 (2024.11.1-2)

*¹ 順天堂大学医学部

*² 順天堂大学大学院医学研究科

*³ 順天堂大学医学部 健康総合科学先端研究機構

*⁴ 順天堂大学医療科学部

*⁵ National Health Laboratory, Yangon, Myanmar

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛, 上間匡: 病院給食の調理品からパンソルビン・トラップ法によりノロウイルスを検出した食中毒の一例.

第71回日本ウイルス学会学術集会 (2024.11.4-6)

* 秋田県健康環境センター

上間匡, 遠矢真理, 大屋賢司, 渡邊敬浩: CODEX食品衛生部会第54回会合 (CCFH54) の主な議題内容と今後の展開.

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.7-8)

山崎栄樹, 福岡頌大*, 松井翔哉*, 窪田邦宏: 國際的整合性を満たしたカンピロバクターに関する規格基準構築に向けた情報整理および定量的リスク解析.

第45回日本食品微生物学会学術集会 (2024.9.6)

* 帯広畜産大学動物食品検査診断センター

山崎栄樹, 窪田邦宏: 國際的整合性を満たした微生物学の基準設定に向けた妥当性検証モデルケースに関する検討.

第167回日本獣医学会学術集会 (2024.9.11)

山崎栄樹: 食中毒菌検査の考え方と国際調和に関する取り組み.

2024年日本細菌学会関東支部インターラボセミナー (2024.12.14)

Eiki Yamasaki: Development of technical specification for *Clostridium botulinum* detection that can be used as a reference method in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms, UJNR (2024.9.17-18)

岡田由美子, 都丸亜希子, 西田智子, 山本詩織*, 下島優香子*: 国内流通食品における*Listeria monocytogenes*汚染状況.

第97回日本細菌学会学術総会 (2024.8.8)

*1 鎌倉女子大学家政学部

*2 東洋大学食環境科学部

山本詩織*, 中山達哉*, 石井良和*, 五十君靜信*, 岡田由美子: 国内の市販鶏肉におけるESBL産生大腸菌の汚染実態とその遺伝学的解析.

第97回日本細菌学会学術総会 (2024.8.9)

*1 鎌倉女子大学家政学部

*2 広島大学大学院統合生命科学研究科

*3 広島大学大学院国際協力研究科

*4 東京農業大学総合研究所

岡田由美子, 下島優香子*, 井田美樹*, 西野由香里*, 三橋華子*, 都丸亜希子, 西野智子: 食品及び製造環境から分離されたリストリア属菌の性状.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

*1 東洋大学食環境科学部

*2 東京都健康安全研究センター微生物部

百瀬愛佳, 岡田由美子, 窪田邦宏: 果実類を原因とする細菌およびウイルス性食中毒の国内外発生状況 (2000~2023年).

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

山本詩織*, 長谷川めぐみ*, 岩渕絵里子*, 岡田由美子: 低温下における*Listeria monocytogenes* 1/2a株のバイオフィルム形成動態と細胞表面特性.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

*1 鎌倉女子大学家政学部

*2 天使大学家政学部

下島優香子*, 荒川小夜子*, 西田かすみ*, 田村有美*, 仲川龍雅*, 秋田悠花*, 宮島樹*, 五明開*, 小原結衣*, 岡田由美子, 森田幸雄*: そうざい製造環境における微生物モニタリングとふき取り容器含浸液比較.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

*1 東洋大学食環境科学部

*2 相模原市健康福祉局保健衛生部生活衛生課

*3 相模原市健康福祉局保健衛生部衛生研究所

*4 麻布大学獣医学部

山本詩織*, 長谷川めぐみ*, 岩渕絵里子*, 岡田由美子: バイオフィルムを形成したリストリア・モノサイトゲネスの物理的刺激による亜集団別分類とその細胞の表面特性について.

第51回防菌防黴学会 (2024.9.5)

*1 鎌倉女子大学家政学部

*2 天使大学家政学部

下島優香子*, 荒木伶奈*, 野口恵理香*, 石川球子*, 秋田悠花*, 五明開*, 宮島樹*, 小原結衣*, 仲川龍雅*, 岡田由美子, 森田幸雄*: 日本で市販される食用昆虫の細菌学的実態調査.

第120回日本食品衛生学会 (2024.11.7)

*¹ 東洋大学食環境科学部

*² 相模女子大学栄養科学部

*³ 麻布大学獣医学部

Okada Y, Nishida T, Tomaru A, Yamamoto S^{*1}, Lee K^{*2}, Izumiya H^{*2}, Shimojima Y^{*2}: Prevalence of *Listeria monocytogenes* in frozen vegetables and vegetable pickles retailed in Japan.

21st International Symposium on Problems of Listeriosis. (2024.9.11)

*¹ Faculty of Family and Consumer Sciences, Kamakura Women's University

*² Department of Bacteriology I, National Institute of Infectious Diseases

*³ Department of Food and Nutritional Sciences, Toyo University

Shimojima Y^{*1}, Masumoto Y^{*2}, Noguchi H^{*2}, Akaji D^{*2}, Okada Y: Study of *Listeria monocytogenes* reduction by 222 nm ultraviolet C light.

21st International Symposium on Problems of Listeriosis. (2024.9.11)

*¹ Department of Food and Nutritional Sciences, Toyo University

*² Prime Delica Co. Ltd.

Okada Y: *Listeria monocytogenes* and its testing method in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms, UJNR (2024.9.17-18)

Oshiro N, Kuniyoshi K, Kobayashi M^{*1}, Yamamoto N^{*2}, Nakatani T^{*3}, Yamada K^{*4}, Uema M, Yasumoto T^{*5}:

Preparation of ciguatoxin mix reference solution and establishment of LC-MS/MS conditions setting for local public health institutes in Japan.

International Conference on Clinical & Analytical Toxicology in Japan (2024.5)

*¹ Shimadzu Corporation

*² Sakai City Institute of Public Health

*³ Osaka Institute of Public Health

*⁴ Saitama City Institute of Health Science and Research

*⁵ Tohoku University

Campàs M^{*1}, Reverté J^{*1}, Shukla S^{*1}, Gaiani G^{*1}, Leonardo S^{*1}, Tsumuraya T^{*2}, Hirama M^{*2}, Oshiro M, Kuniyoshi K, Turquet J^{*3}, Diogène J^{*1}: Rapid and sensitive detection of ciguatoxins in fish, microalgae cultures and seawater.

International Conference on Bio-Sensing Technology Seville, Spain (2024.5)

*¹ IRTA

*² Osaka Metropolitan University

*³ CITEB/c/o CYROI

大城直雅, 國吉杏子, 小林まなみ^{*1}, 山本直美^{*2}, 仲谷正^{*3}, 山田恭平^{*3}, 上間匡, 安元健^{*3}: シガテラ中毒発生時のLC-MS/MSによるシガトキシン類分析体制の構築.

第46回日本中毒学会学術集会 (2024.7)

*¹ (株) 島津製作所

*² 堺市衛生研究所

*³ (地独) 大阪健康安全基盤研究所

*⁴ さいたま市健康科学研究センター

*⁵ 東北大学

鵜飼亮伍, 内田秀明^{*1}, 菅谷紘一^{*2}, 小野瀬淳一^{*2}, 大城直雅, 安元健^{*3}, 阿部尚樹^{*2}: LC-APCI-QTOFMSを用いた CTX3C 類縁体 51-hydroxyCTX3C のプロダクトイオンの帰属による 51-OH 同族体の識別.

第66回天然有機化合物討論会 (2024.9)

*¹ 東京農業大学

*² アジレント・テクノロジー

*³ 日本食品分析センター

中田千恵子^{*1}, 大久保祥嗣, 山本直美^{*2}, 仲谷正^{*3}, 大城直雅: LC-MS/MSによるシガトキシン類分析における妨害物質の除去および感度向上の検討.

日本食品衛生学会第120回学術講演会 (2024.11)

*¹ 神戸市健康科学研究所

*² 堺市衛生研究所

*³ (地独) 大阪健康安全基盤研究所

Oshiro N, Sakugawa S*, Toma K*, Uema M: The groupers, *Variola louti* and *Variola albimarginata*

implicated in ciguatera poisoning in Okinawa and risk assessment based on ciguatoxins levels in fish flesh.
Joint Congress on Global Health 2024 (2024.11)

* Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment

江原庸*, 遠藤康寿*, 栗田史子*, 佐藤英子*, 浅井威一郎*, 清水英明*, 大城直雅: 川崎市におけるOrbitrap LC-MSによるシガトキシン類分析の試み.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11)

* 川崎市衛生研究所

山本直美^{*1}, 仲谷正^{*2}, 中田千恵子, 吉岡直樹, 西山隆之, 村野晃一^{*2}, 大久保祥嗣, 神藤正則^{*1}, 大城直雅中田千恵子, 大久保祥嗣, 山本直美^{*2}, 仲谷正^{*3}, 大城直雅: LC-MS/MSを用いたシガトキシン分析法の開発ならびに地方衛生研究所における分析体制の構築について.

令和6年度 地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会 (2024.11)

*1 堺市衛生研究所

*2 (地独) 大阪健康安全基盤研究所

*3 神戸市健康科学研究所

*4 兵庫県立健康科学研究所

*5 奈良県保健研究センター

大城直雅, 國吉杏子, 円谷健^{*1}, 池原強^{*2}, 上間匡: インド洋航行中の船舶で発生したシガテラ中毒関連魚のシガトキシン分析.

第45回日本中毒学会西日本地方会 (2025.2)

*1 大阪府立大学

*2 水産大学校

櫻井千優*, 石田恵崇*, 大城直雅, 長岡由香*: テトラミン分析法を再考する.

第45回日本中毒学会西日本地方会 (2025.2)

* 山形県衛生研究所

菊地造^{*1}, 鵜飼亮伍, 内田秀明^{*2}, 菅谷紘一^{*1}, 小野瀬淳一^{*1}, 大城直雅, 阿部尚樹^{*1}, 安元健^{*3}: LC/QTOF MSを用いた海洋毒シガトキシン1Bの高感度検出法の検討

日本農芸化学会2025年度大会 (2025.3)

*1 東京農業大学

*2 アジレント・テクノロジー

*3 日本食品分析センター

足利太可雄, 大屋賢司, 加藤節史^{*1}, 北川剛史^{*2}, 小島肇, 寒水孝司^{*3}, 林克彦, 立花滋博^{*4}, 益森勝志^{*5}, 三嶋隆^{*6}, 楠木俊江^{*7}, 清水淳^{*7}, 伏原和久^{*7}, 宮崎和雄^{*7}: ヒト末梢血から樹立した不死化単球細胞株を用いた発熱性物質検出系のバリデーション研究.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3-5)

*1 島津ダイアグノスティクス株式会社

*2 富士フィルム和光純薬株式会社

*3 東京理科大学

*4 一般財団法人食品薬品安全センター

*5 株式会社安評センター

*6 一般財団法人日本食品分析センター

*7マイキャン・テクノロジーズ株式会社

Arai S, Hirose S, Yanagimoto K^{*1}, Kojima Y^{*2}, Yamaya S^{*3}, Yamanaka T^{*4}, Matsunaga N^{*5}, Kobayashi A^{*6}, Takahashi N^{*7}, Konno T^{*8}, Tokoi Y^{*9}, Sakakida N^{*10}, Konishi N^{*11}, Hara-Kudo Y: An interlaboratory study on the detection method for an emerging enteropathogen of *Escherichia albertii* in food.

International Association for Food Protection Annual Meeting 2024 (2024.7.15)

*1 Yamanashi Institute of Public Health and Environment

*2 Kawasaki City Institute for Public Health

*3 Miyagi Prefectural Institute of Public Health and Environment

*4 Research Institute for Environmental Sciences and Public Health of Iwate Prefecture

*5 Fukuoka City Institute of Health and Environment

*6 Mie Prefecture Health and Environment Research Institute

*7 Shizuoka City Institute of Environmental Sciences and Public Health

*8 Akita Prefectural Research Center for Public Health and Environment

*9 Utsunomiya City Institute of Public Health and Environment

*¹⁰ Saitama Institute of Public Health

*¹¹ Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Hirose S, Izumiya H^{*1}, Sasaki Y^{*2}, Akeda Y^{*1}, Hara-Kudo Y: Multilocus variable-number tandem-repeat analysis genotype diversity, pathogen-related genes and antimicrobial susceptibility of enterohemorrhagic *Escherichia coli* isolates in the same food sample.

International Association for Food Protection Annual Meeting 2024 (2024.7.15)

*¹ National Institute of Infectious Diseases

*² Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

新井沙倉, 大岡唯祐^{*1}, 池田伸代^{*2}, 新免香織^{*3}, 横山孝治^{*4}, 有川衣美^{*5}, 門口真由美^{*6}, 溝脇朗人^{*7}, 今野貴之^{*8}, 小嶋由香^{*9}, 貫洞里美^{*10}, 小西典子^{*11}, 廣瀬昌平, 工藤由起子: 大腸菌が保有するastA特異的リアルタイムPCR法の開発.

第97回日本細菌学会総会 (2024.8.7-8)

*¹ 鹿児島大学

*² 広島市衛生研究所

*³ 姫路市環境衛生研究所

*⁴ 福井県衛生環境研究センター

*⁵ 北九州市保健環境研究所

*⁶ 熊本市環境総合センター

*⁷ 大分県衛生環境研究センター

*⁸ 秋田県健康環境センター

*⁹ 川崎市健康安全研究所

*¹⁰ 埼玉県衛生研究所

*¹¹ 東京都健康安全研究センター

Arai S, Hirose S, Hara-Kudo Y: Prevalence of *Escherichia albertii* in food and environment, and development of the detection method.

The 16th Japan-Korea International Symposium on Microbiology (2024.8.9)

吉成知也, 下山晃^{*1}, 原有紀^{*2}, 谷口賢^{*3}, 徳本脩^{*4}, 廣川有里加^{*5}, 佐藤英子^{*6}, 福光徹^{*7}, 朝倉敬行^{*8}, 立石晶浩^{*9}, 中村歩^{*10}, 大西貴弘: 小麦中のデオキシニバレノールとオクラトキシンAの同時分析法の開発 第2報 多機能カラムによる精製法の検討.

日本マイコトキシン学会50周年記念第91回学術講演会 (2024.8.27)

*¹ (一財) 日本食品検査

*² 三重県保健環境研究所

*³ 名古屋市衛生研究所

*⁴ (一財) 日本穀物検定協会

*⁵ (一財) 食品分析開発センターSUNATEC

*⁶ 川崎市健康安全研究所

*⁷ 神奈川県衛生研究所

*⁸ (一財) 東京顕微鏡院

*⁹ (一財) マイコトキシン検査協会

*¹⁰ (一財) 日本食品分析センター

新井沙倉, 大岡唯祐^{*1}, 池田伸代^{*2}, 新免香織^{*3}, 横山孝治^{*4}, 有川衣美^{*5}, 門口真由美^{*6}, 佐々木麻里^{*7}, 今野貴之^{*8}, 小嶋由香^{*9}, 貫洞里美^{*10}, 小西典子^{*11}, 廣瀬昌平, 工藤由起子: 食品におけるastA特異的リアルタイムPCR法の検討.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

*¹ 鹿児島大学

*² 広島市衛生研究所

*³ 姫路市環境衛生研究所

*⁴ 福井県衛生環境研究センター

*⁵ 北九州市保健環境研究所

*⁶ 熊本市環境総合センター

*⁷ 大分県衛生環境研究センター

*⁸ 秋田県健康環境センター

*⁹ 川崎市健康安全研究所

*¹⁰ 埼玉県衛生研究所

*¹¹ 東京都健康安全研究センター

*¹² 国立感染症研究所

荒木靖也^{*1}, 曽根美紀^{*2}, 貫洞里美^{*3}, 尾畠浩魅^{*4}, 山谷聰子^{*5}, 土屋彰彦^{*2}, 小西典子^{*4}, 土井りえ^{*3}, 小嶋由香^{*1}, 新井沙倉, 廣瀬昌平, 工藤由起子: astA保有大腸菌自然汚染食品からの分離株の解析.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

*¹ 川崎市健康安全研究所

*² さいたま市健康科学研究センター

*³ 埼玉県衛生研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

*⁵ 宮城県保健環境センター

大西貴弘, 渡辺麻衣子, 淀谷雄亮^{*1}, 西里恵美莉^{*1}, 荒木靖也^{*1}, 佐々木賢美^{*2}, 工藤由起子^{*3}, 小嶋由香^{*1},

三澤尚明^{*2}, 岡部信彦^{*1}: 国内の市販食品および動物の腸内容物におけるエンテロトキシン遺伝子保有ウエルシュ菌の汚染状況.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.6)

*¹ 川崎市健康安全研究所

*² 宮崎大学

*³ 星葉科大学

大屋賢司, Ajero Christine^{*1}, 菅原庸^{*2}, 矢原耕史^{*2}, 北村徳一^{*2}, 林克彦, 菅井基行^{*2}, 工藤由起子, 石原加奈子^{*1}: 市販国産鶏肉におけるサルモネラ属及びカンピロバクター検出状況と薬剤耐性.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

*¹ 東京農工大学

*² 国立感染症研究所

胡祚*, 朱志豪*, 岡田佳南子*, 大島美波*, 廣瀬昌平, 工藤由起子, 小野久弥*, 胡東良*: 異なる条件下における黄色ブドウ球菌の増殖とエンテロトキシン产生性の解析.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

* 北里大学

廣瀬昌平, 野村亮二^{*1}, 土井りえ^{*2}, 曽根美紀^{*3}, 久手堅剛^{*4}, 柳本恵太^{*5}, 山谷聰子^{*6}, 水野卓也^{*7}, 小嶋由香^{*8}, 工藤由起子: 全ゲノム解析を用いたブドウ球菌食中毒事例株の遺伝学的特徴の解明.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5)

*¹ 島根県保健環境科学研究所

*² 埼玉県衛生研究所

*³ さいたま市保健衛生局健康科学研究センター

*⁴ 沖縄県衛生環境研究所

*⁵ 山梨県衛生環境研究所

*⁶ 宮城県保健環境センター

*⁷ 岐阜県保健環境研究所

*⁸ 川崎市健康安全研究所

西角光平, 渡辺麻衣子, 岡部信彦^{*1}, 工藤由起子, 大西貴弘, 今村知明^{*2}: 食品容器・包装表面の溶出物における新型コロナウイルスのモデルウイルスを用いた生残性評価.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

*¹ 川崎市健康安全研究所

*² 奈良県立医科大学

伊藤紫野^{*1}, 渡辺麻衣子, 西原秀典^{*2}, 橋本一浩^{*3}, 川上裕司^{*4}, 小林直樹^{*5}, 後藤慶一^{*6}, 水谷治^{*7}, 清水公徳^{*1}, 伴さやか^{*8}, 矢口貴志^{*8}, 工藤由起子, 大西貴弘: 発酵食品由来の黒麹菌*Aspergillus luchuensis*の遺伝子指標を用いた分類学的検討.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.6)

*¹ 東京理科大学

*² 近畿大学

*³ FCG総合研究所

*⁴ 東京家政大学

*⁵ 麻布大学

*⁶ 東海大学

*⁷ 琉球大学

*⁸ 千葉大学真菌医学研究センター

渡辺麻衣子, 青木渉, 工藤由起子, 大西貴弘, 吉成知也: 国内流通穀物におけるモニリフォルミン汚染原因菌の検索.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.6)

山谷聰子^{*1}, 廣瀬昌平, 小西典子^{*2}, 土井りえ^{*3}, 土屋彰彦^{*4}, 小嶋由香^{*5}, 尾畠浩魅^{*2}, 貫洞里美^{*3}, 曽根美紀^{*4}, 荒木靖也^{*5}, 新井沙倉, 工藤由起子: 食品でのastA保有大腸菌の効率的な培養法の検討.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

*¹ 宮城県保健環境センター

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 埼玉県衛生研究所

*⁴ さいたま市健康科学研究センター

*⁵ 川崎市健康安全研究所

淀谷雄亮^{*1}, 西里恵美莉^{*1}, 荒木靖也^{*1}, 小嶋由香^{*1}, 大西貴弘, 渡辺麻衣子, 工藤由起子^{*2}, 三澤尚明^{*3}, 岡部信彦^{*1}: ヒト・食品・環境から分離されたcpe陽性ウエルシュ菌の分子疫学的解析.

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.6)

*¹ 川崎市健康安全研究所

*² 星葉科大学

*³ 宮崎大学

Nishikaku K, Anik BD^{*1}, MSA Zein^{*1}, Ohnishi T,

Kobayashi T^{*2}: Spillover, host range and phylogenetic evolution of bovine leukemia virus in Asia.

The 4th Joint Meeting of Veterinary Science in East Asia (2024.9.8)

^{*1} National Research and Innovation Agency (BRIN)

^{*2} Tokyo University of Agriculture

大屋賢司, 廣瀬昌平, 西角光平, 大西貴弘, 李謙一^{*1}, 伊豫田淳^{*1}, 窪村亜希子^{*1}, 明田幸宏^{*1}, 水上克己^{*2}, 鈴木富勝^{*2}, 瀧波賢治^{*2}, 高橋祐次, 桑形麻樹子, 北嶋聰, 工藤由起子: 富山市の大規模食中毒事例の原因食品から分離された非定型大腸菌OUT (OgGp9) : H18の病原性解析。

第167回日本獣学会学術集会 (2024.9.10-13)

^{*1} 国立感染症研究所

^{*2} 富山市保健所

西角光平, Anik Budhi Dharmayanthi^{*1}, Moch Syamsul Arifin Zein^{*1}, 大西貴弘, 小林朋子^{*2}: インドネシアのバリウシにおける牛伝染性リンパ腫ウイルスの疫学調査。

第167回日本獣学会学術集会 (2024.9.13)

^{*1} Indonesian Institute of Sciences

^{*2} 東京農業大学

大屋賢司, 林克彦, 米山絵里奈^{*}, 森田雄二^{*}, 工藤由起子: 市販の無菌試験用培地における局方規程試験用菌株の増殖性検討。

日本防菌防黴学会第51回年次大会 (2024.9.17)

* 明治薬科大学

林克彦, 米山絵里奈^{*}, 森田雄二^{*}, 大屋賢司, 工藤由起子: 日本薬局方改正に向けたデキストラン70のエンドトキシン試験条件の検討。

日本防菌防黴学会第51回年次大会 (2024.9.17)

* 明治薬科大学

壺井晃太朗^{*1,2}, 小沼ルミ^{*3}, 尾島輝彦^{*1}, 渡辺麻衣子, 奥山浩司^{*1}, 小林直樹^{*2}: 消石灰が関与する漆喰の防カビ効果に関する検討。

日本防菌防黴学会第51回年次大会 (2024.9.17)

^{*1} 日本スター(株)

^{*2} 麻布大学

^{*3} 東京都立産業技術研究センター

Watanabe M, Ohnishi T, Yoshinari T: Taxonomic study of moniliformin producing molds in the genus *Fusarium* derived from grains in Japanese retail stores. 13th International Symposium on Toxic Microorganisms "Approaches for risk analysis and food safety" in 56th UJNR (2024.9.17)

Arai S, Hirose S, Hara-Kudo Y, Ohnishi T: Foodborne outbreaks caused by enteroaggregative *Escherichia coli* heat-stable enterotoxin 1 gene (*astA*)-positive *E. coli* in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms "Approaches for risk analysis and food safety" in 56th UJNR (2024.9.18)

Ohnishi T, Watanabe M, Yodotani Y^{*1}, Nishizato E^{*1}, Araki S^{*1}, Kojima Y^{*1}, Sasaki S^{*2}, Hara-Kudo Y^{*3}, Misawa N^{*2}, Okabe N^{*1}: Prevalence of enterotoxigenic *Clostridium perfringens* in retailed foods and intestinal contents of animals in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms "Approaches for risk analysis and food safety" in 56th UJNR (2024.9.18)

^{*1} Kawasaki City Institute for Public Health

^{*2} University of Miyazaki

^{*3} Hoshi University

Yoshinari T, Watanabe M, Ohnishi T: Study on the emerging trichothecene mycotoxin in cereal products retailed in Japan.

13th International Symposium on Toxic Microorganisms "Approaches for risk analysis and food safety" in 56th UJNR (2024.9.17)

大西貴弘: クドアと食中毒。

第24回人と動物の共通感染症研究会学術集会 (2024.10.19)

Ohya K, Ajero C^{*1}, Sugawara Y^{*2}, Yahara K^{*2}, Hayashi K, Kitamura N^{*2}, Sugai M^{*2}, Hara-Kudo Y, Ishihara K^{*1}: Surveillance of *Salmonella*, *Campylobacter* and antimicrobial resistant

Enterobacteriaceae in retailed chicken meat in Japan.
The 18th Congress of the International Union of Microbiological Sciences (2024.10.23-25)

*¹ Tokyo University of Agriculture and Technology

*² National Institute of Infectious Diseases

Watanabe M, Aoki W, Hara-Kudo Y, Ohnishi T, Yoshinari T: Distribution of moniliformin producing fusaria on grains in Japanese markets.

The 18th Congress of the International Union of Microbiological Societies (2024.10.23)

Hirose S, Nomura R^{*1}, Doi R^{*2}, Sone M^{*3}, Kudeken T^{*4}, Yanagimoto K^{*5}, Yamaya S^{*6}, Mizuno T^{*7}, Kojima Y^{*8}, Hara-Kudo Y: Genotypic characterization of *Staphylococcus aureus* associated with food poisoning outbreaks in Japan.

The 18th Congress of the International Union of Microbiological Societies (2024.10.23)

*¹ Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

*² Saitama Institute of Public Health, Hiki-gun, Japan

*³ Saitama City Institute of Health Science and Research

*⁴ Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment

*⁵ Yamanashi Institute of Public Health and Environment

*⁶ Miyagi Prefectural Institute of Public Health and Environment

*⁷ Gifu Prefectural Research Institute for Health and Environmental Sciences

*⁸ Kawasaki City Institute for Public Health

Ohnishi T, Watanabe M, Yodotani Y^{*1}, Nisizato E^{*1}, Araki S^{*1}, Kojima Y^{*1}, Misawa N^{*2}, Okabe N^{*1}: Prevalence of enterotoxigenic *Clostridium perfringens* in retailed foods and intestinal contents of animals in Japan.

The 18th Congress of the International Union of Microbiological Societies (2024.10.25)

*¹ Kawasaki City Institute for Public Health

*² University of Miyazaki

大西貴弘：我が国の水産食品におけるアニサキス汚染状況。

第56回ビブリオシンポジウム (2024.10.31)

渡辺麻衣子：シンポジウム—建築環境における微生物研究の現状とこれから—、住環境における微生物の発生事例とその健康リスク。

日本微生物生態学会第37回大会 (2024.10.31)

青木渉、渡辺麻衣子、大西貴弘、吉成知也：国内流通穀物におけるモニリフォルミン汚染実態調査。

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.8)

新井沙倉、大岡唯祐^{*1}、池田伸代^{*2}、新免香織^{*3}、横山孝治^{*4}、有川衣美^{*5}、門口真由美^{*6}、佐々木麻里^{*7}、今野貴之^{*8}、小嶋由香^{*9}、貫洞里美^{*10}、小西典子^{*11}、窪村亜希子^{*12}、李謙一^{*12}、伊豫田淳^{*12}、廣瀬昌平、工藤由起子：食品におけるastA特異的リアルタイムPCR法の検討と既存のPCR法との比較。

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.8)

*¹ 鹿児島大学

*² 広島市衛生研究所

*³ 姫路市環境衛生研究所

*⁴ 福井県衛生環境研究センター

*⁵ 北九州市保健環境研究所

*⁶ 熊本市環境総合センター

*⁷ 大分県衛生環境研究センター

*⁸ 秋田県健康環境センター

*⁹ 川崎市健康安全研究所

*¹⁰ 埼玉県衛生研究所

*¹¹ 東京都健康安全研究センター

*¹² 国立感染症研究所

土井りえ^{*1}、新井沙倉、土屋彰彦^{*2}、小嶋由香^{*3}、小西典子^{*4}、山谷聰子^{*5}、曾根美紀^{*2}、荒木靖也^{*3}、尾畠浩魅^{*4}、貫洞里美^{*1}、廣瀬昌平、工藤由起子：市販流通食品のastA保有大腸菌汚染状況と分離株の遺伝子学的解析。

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.7)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² さいたま市健康科学研究センター

*³ 川崎市健康安全研究所

*⁴ 東京都健康安全研究センター

廣瀬昌平、大屋賢司、吉成知也、大西貴弘、水上克己^{*1},

鈴木富勝^{*1}, 瀧波賢治^{*1}, 鈴木孝昌, 李謙一^{*2}, 伊豫田淳^{*2}, 明田幸宏^{*2}, 八幡裕一郎^{*2}, 土橋西紀^{*2}, 砂川富正^{*2}, 工藤由起子: 富山市集団食中毒の原因食品からの病原物質調査および分離菌株の性状解析.

第120回日本食品衛生学会学術講演会(2024.11.8)

^{*1} 富山市保健所

^{*2} 国立感染症研究所

小西典子^{*1}, 荒木靖也^{*2}, 土井りえ^{*3}, 山谷聰子^{*4}, 曾根美紀^{*5}, 尾畠浩魅^{*1}, 貫洞里美^{*3}, 土屋彰彦^{*5}, 小嶋由香^{*2}, 廣瀬昌平, 新井沙倉, 工藤由起子: 多様な食品を用いたastA保有大腸菌の効率的な検査法の検討.

第120回日本食品衛生学会学術講演会(2024.11.8)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 川崎市健康安全研究所

^{*3} 埼玉県衛生研究所

^{*4} 宮城県保健環境センター

^{*5} さいたま市健康科学研究センター

吉成知也, 渡辺麻衣子, 大西貴弘: *Fusarium*属真菌のデオキシニバレノール产生に対するキチン生合成阻害剤ポリオキシンの影響.

第120回日本食品衛生学会学術講演会(2024.11.8)

西角光平, 河上強志, 渡辺麻衣子, 岡部信彦^{*1}, 工藤由起子, 大西貴弘, 今村知明^{*2}: 新型コロナウイルスの生残性に関与する食品容器・包装の表面特性の調査.

2024年室内環境学会学術大会(2024.11.30)

^{*1} 川崎市健康安全研究所

^{*2} 奈良県立医科大学

小嶋由香^{*1}, 淀谷雄亮^{*1}, 荒木靖也^{*1}, 池田史朗^{*1}, 本間幸子^{*1}, 岡部信彦^{*1}, 渡辺麻衣子, 三澤尚明^{*2}, 大西貴弘: 市販食品におけるウエルシュ菌の汚染状況について.

第36回地方衛生研究所協議会 細菌研究会(2025.1.16)

^{*1} 川崎市健康安全研究所

^{*2} 宮崎大学

吉田遙音*, 林克彦, 倉門早苗*, 大西貴弘, 大屋賢司: 市販の無菌試験法用液体培地の微生物検出能の検討.

日本薬学会第145年会(2025.3.28)

* 明治薬科大学

Fujii, S.* , Mudiyanselage, H.N.T.N.* , Misawa, T., Demizu, Y., Hanazono, Y.* , Ito, N., Kagechika, H.* : Structural development and crystallographic analysis of diphenylcarborane-based novel vitamin D receptor ligands.

The 9th International Symposium on Biomedical Engineering (ISBE2024), Hamamatsu, Japan (2024.12.3)

* Institute of Science Tokyo

Fujita, M., Kikuchi, A.* , Arita, K.* , Misawa, T., Demizu, Y.: Development of peptide-based inhibitors against β -catenin using *in silico* approach.

37th European Peptide Symposium & 14th International Peptide Symposium, Italy (2024.8.27)

* Yokohama City University

Hirano, M., Yokoo, H., Oba, M.* , Misawa, T., Demizu, Y.: Development of novel amphipathic stapled peptides as DDS carriers for intracellular delivery of nucleic acids.

37th European Peptide Symposium & 14th International Peptide Symposium, Italy (2024.8.26)

* Kyoto Prefectural University of Medicine

Yokoo, H., Dongrui, Z., Demizu, Y.: Development of nanoparticle-based protein degradation inducers based on nucleic acid delivery.

37th European Peptide Symposium & 14th International Peptide Symposium, Italy (2024.8.26)

Ito, T., Misawa T., Ohoka N., Aoyama M., Inoue T., Ishii A., Demizu, Y.: Strategies for designing hepatocyte-selective carriers using helical peptides as stable scaffolds.

37th European Peptide Symposium & 14th International Peptide Symposium, Italy (2024.8.26)

Takada, H., Tsuchiya, K., Demizu, Y.: Study on the role of helix-stabilized peptides in transporting antisense morpholino oligomers into cells: relationships among helicity, cellular uptake, and antisense activity.

37th European Peptide Symposium & 14th International Peptide Symposium, Italy (2024.8.25)

Thilakarathne, N. M. H. N.*, Misawa, T., Demizu, Y., Hanazono, Y.*, Ito, N., Kagechika, H.*, Fujii, S.*: Structure-activity relationship (SAR) study of hydrophobic moiety of nonsecosteroidal VDR ligands using diphenylsilane scaffold.

21st IUPAB Congress 2024 & 62nd BSJ Joint Congress 2024, Kyoto (2024.6.24)

* Institute of Science Tokyo

蜂須賀暁子：放射性医薬品における法規制。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.29)

佐藤渉, 関根優莉奈, 三澤隆史, 伊藤貴仁, 出水庸介: 非天然アミノ酸修飾を活用した細胞膜透過ペプチドの応用。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.28)

猪熊明日子, 横尾英知, 出水庸介, 両親媒性CPPフォルダマーの設計と合成。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.28)

寺内瞳, 戸板太陽*, 辻巣一郎, 石田祥一*, 浴本亨*, 池口満徳*, 寺山慧*, 出水庸介: 新規STINGアンタゴニストの創出。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.28)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

大澤陽, 柴田識人, 有竹浩介*, 出水庸介: リポカリン型プロスタグランジンD₂合成酵素を標的としたPROTACの開発。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 第一薬科大学

藤田陽, 出水庸介: 細胞内を標的としたPPI阻害ペプチドの*in silico*デザイン。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

齋藤司*, 齋藤広樹*, 宮島友*, 三澤隆史, 出水庸介, 影近弘之*, 藤井晋也*: ホスフィンハロボランの疎水性構造としての性質と新規VDRリガンドへの展開。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: 細胞膜透過性を加味したPROTACリガンド生成AIの開発。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

正田卓司, 藤川健, 出水庸介, 坂本知昭: 気液反応におけるHPLC用フローバイアルの評価。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.28)

山内莊摩*, 鶴留優也*, 熊野那奈*, 伊藤貴仁, 出水庸介, 堀口道子*, 牛島健太郎*: スタチン系薬のアルブミン結合性における動物種差。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 山口東京理科大学薬学部

岩本媛美*, 藤森功*, 濱村賢吾*, 小西純*, 出水庸介: 有竹浩介*, 血造血器型プロスタグランジン D 合成酵素を標的としたPROTACの迅速評価系構築。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 第一薬科大学

辻耕平*, 黄学元*, 宮本真歩, 横尾英知, 小早川拓也*, 出水庸介, 玉村啓和*, HIV由来ペプチドをE3リガンドとした新規BRD4分解誘導剤の創製研究。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.28)

* 東京科学大学生体材料工学研

伊藤貴仁, 大岡伸通, 青山道彦, 三澤隆史, 井上貴雄, 石井明子, 出水庸介: ヘリカルペプチドを足場として利用した肝細胞選択性DDSキャリアの開発。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

横尾英知, 伊東祐美*, 菱沼知美*, 岡本徹*, 出水庸介: 選択性SPP阻害剤の開発。

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 順天堂大学大学院医学研究科

白井一晃*, 松本祥汰*, 出水庸介, 唐澤悟*: 量子化学計算と機械学習を融合したニトロソアミン類の発がん性

予測手法の開発.

日本薬学会第145年会, 福岡 (2025.3.27)

* 昭和薬科大学

横尾英知, 武田紗和, 出水庸介: ペプトイドを主鎖とした新規人工核酸の開発とその応用研究.

日本化学会第105春季年会, 大阪 (2025.3.28)

寺内瞳, 戸板太陽*, 辻巣一郎, 石田祥一*, 浴本亭*, 池口満徳*, 寺山慧*, 出水庸介: *In silico*スクリーニングを活用した STING アンタゴニストの創製.

第52回構造活性相関シンポジウム, 川崎 (2024.12.12)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

藤田陽, 出水庸介: *In silico*技術を活用したPPI阻害ペプチドの合理的デザイン, 第52回構造活性相関シンポジウム, 川崎 (2024.12.12)

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: 細胞膜透過性を考慮したPROTACリンカー生成AIの開発.

第52回構造活性相関シンポジウム, 川崎 (2024.12.12)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

宮本真歩, 横尾英知, 出水庸介: 細胞膜透過性ペプチドを利用したPROTACの効率的細胞内導入.

第47回日本分子生物学会年会, 福岡 (2024.11.27)

森谷俊介^{*1}, 米田有希^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 杉山亨^{*1}: カチオン性グアニン誘導体ペプチド核酸のDNA結合特性の評価.

第41回メディシナルケミストリーシンポジウム, 京都 (2024.11.20)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 湘南医療大学薬学部

古内志拓, 横尾英知, 内藤幹彦*, 井上貴雄, 大岡伸通, 出水庸介, PROTACの開発に利用する新規E3リガーゼリガンドの構造活性相関研究.

第41回メディシナルケミストリーシンポジウム, 京都 (2024.11.21)

* 東京大学大学院薬学系研究科

出水庸介, 横尾英知, 黒原崇, 中島謙治*, 鈴木哲朗*: GLS4耐性HBV株に有効性を示すキメラ化合物の創製. 第41回メディシナルケミストリーシンポジウム, 京都 (2024.11.20)

* 浜松医科大学

横尾英知, 伊東祐美*, 菱沼知美*, 岡本徹*, 出水庸介, SPP阻害活性及び選択性向上を目指したYO-01027の構造活性相関の検討.

第41回メディシナルケミストリーシンポジウム, 京都 (2024.11.20)

* 順天堂大学大学院医学研究科

寺内瞳, 戸板太陽*, 辻巣一郎, 石田祥一*, 浴本亭*, 池口満徳*, 寺山慧*, 出水庸介: 新規STINGアンタゴニストの創製.

第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会, 岡山 (2024.11.16)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

鈴木茉菜芽*, 藤田陽, 西山敦哉*, 出水庸介, 中西真*: UHFR1を標的としたPROTACの開発.

第97回日本生化学会大会, 横浜 (2024.11.6)

* 東京大学医科学研究所

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: *De novo* PROTAC linker design to enhance cell membrane permeability based on a data-driven method. CBI学会2024年大会, 東京 (2024.10.28)

* 横浜市立大学 大学院生命医科学研究科

Shun-suke Moriya^{*1}, Saki Matsumoto^{*1}, Yosuke Demizu, Masaaki Kurihara^{*2}, Atsushi Kittaka^{*1}, Toru Sugiyama^{*1}: Design and synthesis of a new cytosine derivative for PNA monomer with improved stability and affinity.

第61回ペプチド討論会, 名古屋 (2024.10.29)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 湘南医療大学薬学部

足達晴香*, 上田篤志*, 井吉彬太*, 出水庸介, 田中正

一* : Development of α -helical peptides using five-membered α -carbocyclic α,α -disubstituted α -amino acids for side chain cross-linking.

第61回ペプチド討論会, 名古屋 (2024.10.29)

* 長崎大学薬学部

宮本真歩, 横尾英知, 出水庸介 : Efficient intracellular delivery of PROTAC using cell-penetrating peptides.

第61回ペプチド討論会, 名古屋 (2024.10.30)

武田紗和, 横尾英知, 出水庸介 : Development of peptoid nucleic acids and their structural properties.

第61回ペプチド討論会, 名古屋 (2024.10.30)

横尾英知, 周東睿, 出水庸介 : Development of peptide-based ubiquitin ligase ligands with cell permeability.

第61回ペプチド討論会, 名古屋 (2024.10.30)

許涵喬, 横尾英知, 大岡伸通, 井上貴雄, 出水庸介 : 光制御型PROTACの開発.

第50回反応と合成の進歩シンポジウム, 神戸 (2024.10.27)

辻巣一郎, 三澤隆史, 出水庸介 : 中分子医薬品の品質評価法における試葉および溶媒量の低減のための検討.

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム, 滋賀 (2024.9.21)

谷長優里*, 織本雅久*, 宮本真歩, 山田佳鳳*, 横尾英知, 出水庸介, 吉田優*, 3分岐プラットフォーム分子を利用したキメラ化合物合成法の開発.

第40回有機合成化学セミナー, 新潟 (2024.9.18)

* 東京理科大学 大学院先進工学部

横尾英知, 辻巣一郎, 大岡伸通, 井上貴雄, 内藤幹彦*, 出水庸介 : ALK融合タンパク質を標的とするPROTACの開発研究.

第68回日本薬学会関東支部大会, 新潟 (2024.9.15)

* 東京大学 大学院薬学系研究科

渡邊大嗣, 大岡伸通, 永沼美弥子, 辻巣一郎, 井上貴雄, 出水庸介 : ヌクレアーゼ耐性向上に着目したアプタマーパロディの開発.

第68回日本薬学会関東支部大会, 新潟 (2024.9.15)

蜂須賀暁子 : 水晶体の等価線量限度って何? 放射線被曝についてのトピックスなど.

第63回日本白内障学会・第50回水晶体研究会, 神奈川 (2024.8.23)

三澤隆史, 伊藤貴仁, 倉島恵愛, 山崎聖司*, 西野邦彦*, 出水庸介 : 多剤耐性菌を標的とした新規抗菌ペプチドフォルダマーの開発.

第97回日本細菌学会総会, 札幌 (2024.8.8)

* 大阪大学産業科学研究所

平野元春, 原矢佑樹, 阿部康弘, 三澤隆史, 柴田識人, 佐藤陽治, 出水庸介 : 両親媒性ステープルペプチドを用いた核酸の細胞内輸送とメカニズム解明.

日本核酸医薬学会第9回年会, 仙台 (2024.7.16)

網谷美里*, 平井伶衣良*, 樋口裕城*, 畑直子*, 野澤さお子*, 永沼美弥子, 辻巣一郎, 出水庸介, 中島多恵子* : イオンペア逆相HPLCを用いたペプチドオリゴ核酸コンジュゲート体の分離最適化: 適切なイオンペア試薬を用いた高感度不純物分析.

日本核酸医薬学会第9回年会, 仙台 (2024.7.15)

* YMC CO., LTD.

横尾英知, 堀越奏子, 土屋圭輔*, 出水庸介 : 膜透過ペプチドの末端修飾によるpDNAデリバリーキャリアの効率化.

第40年会日本DDS学会学術大会, 筑波 (2024.7.10)

* 山口東京理科大学薬学部

横尾英知, 小出達夫, 青山佳敬*, 魚返祐太朗*, 山本栄一, 出水庸介, 内山奈穂子 : インドメタシン・ニコチンアミドの共結晶原薬を用いた高度構造解析法の開発.

日本プロセス化学会2024サマーシンポジウム, 長崎 (2024.7.4)

* 日本電子

山本耕介*, 鳥越康平*, 栗山正巳*, 出水庸介, 尾野村治* : 芳香族アゾメチニリドとスルフエンの(3+2)付加環化反応.

日本プロセス化学会2024サマーシンポジウム, 長崎 (2024.7.4)

* 長崎大学薬学部

藤田陽, 出水庸介: *In silico*手法を利用したPPI阻害ペプチドの開発.

第28回日本がん分子標的治療学会学術集会, 東京 (2024.6.19)

村上優貴*, 石田祥一*, 出水庸介, 寺山慧*: ラボラトリーオートメーションの実現に向けた抗菌ペプチド設計におけるワークフロー開発.

第24回日本蛋白質科学会年会, 北海道 (2024.6.11)

* 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

正田卓司, 橋井則貴, 原園景, 石井明子, 出水庸介: エキシマー蛍光を利用した蛍光性糖鎖標識試薬の開発.

ケミカルバイオロジー第18回年会, 東京 (2024.5.27)

横尾英知, 辻巣一郎, 井上貴雄, 内藤幹彦*, 大岡伸通, 出水庸介: ALK融合タンパク質を標的とするPROTACの構造活性相関研究.

ケミカルバイオロジー第18回年会, 東京 (2024.5.28)

* 東京大学大学院薬学系研究科

高野玲奈, 横尾英知, 大岡伸通, 大金賢司*, 井上貴雄, 出水庸介: UBRタンパク質をE3リガーゼとして利用したPROTACの開発.

ケミカルバイオロジー第18回年会, 東京 (2024.5.28)

* お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系

原矢佑樹: AFMによるナノ構造体の特性解析.

日本薬剤学会第39年会 (2024.5.24)

杉野御祐, 成島純平, 吉場聰子, 曽我慶介, 柴田識人: OrthoFinderを用いた標的生物種特異的配列抽出ワークフローの確立.

第26回日本進化学会 (2024.8.21)

小川志穂^{1,2}, 原矢佑樹, 川上亘作^{1,2}: エクソソーム模倣ベシクルの設計に向けたintegrin 膜貫通領域ペプチドの搭載におよぼす脂質膜物性の影響評価.

第75回コロイドおよび界面化学討論会 (2024.9.17)

*¹ 物質・材料研究機構

*² 筑波大学

曾我慶介, 田口千恵, 杉野御祐, 成島純平, 江木智宏, 高畠令王奈, 近藤一成, 吉場聰子, 柴田識人: 遺伝子組換えとうもろこしの表示に係る現行試験法の適用性に関する検証.

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2024.9.21)

Tamehiro N: ML/AL Based Allergenicity Prediction of Novel Food.

14th Global Summit on Regulatory Science (2023.9.27)

Tsutsumi-Ogawa S^{1,2}, Takechi-Haraya Y, Kawakami K^{1,2}: Constitution of a Helical Peptide on Exosome-Mimetic Vesicles.

2024 PharmSci 360 (2024.10.22)

*¹ National Institute for Materials Science

*² University of Tsukuba

Soga K, Yoshioka S, Narushima J, Shibata N, Kondo K*: Genome analysis of toxic mushrooms, Pleurocybella porrigens, using both short- and long-read sequencing technologies.

IUMS2024 (2024.10.25)

* Showa Women's University

田口千恵, 爲廣紀正, 吉田真由美, 尾上愛, 志田 (齊藤) 静夏, 安達玲子, 柴田識人: 甲殻類アレルギー患者において昆虫食がI型アレルギー症状を誘発する可能性の検討.

第31回日本未病学会学術総会 (2024.11.2)

片岡洋平, 永山彩子, 波多江良実, 曽我慶介, 蜂須賀暁子, 柴田識人: 魚に含有される天然放射性核種ポロニウム210の実態調査.

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.7)

杉野御祐, 成島純平, 吉場聰子, 田口千恵, 曽我慶介, 柴田識人: 安全性未審査遺伝子組換えズッキーニ (ZW20, CZW3) の検知に係る定性PCR検査法の開発.

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.7)

柴田識人, 田口千恵, 曽我慶介, 菅野陽平¹, 細川葵¹, 中阪聰亮², 梶原三智香², 渡辺卓穂², 杉野御祐, 成島純平, 吉場聰子, 安達玲子, 近藤一成: 安全性未審査遺伝子組換えパパイヤ検知法におけるDNAポリメラー

ゼとPCR機種の組み合わせの影響.

第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² (一財) 食品薬品安全センター

吉場聰子, 杉野御祐, 成島純平, 曽我慶介, 柴田識人 :
安全性未審査遺伝子組換えズッキーニの検査補の開発.
第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

曾我慶介, 中山達哉, 柴田識人 : 全国検査機関を対象とした核酸等温增幅反応による迅速遺伝子検査需要調査.
第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

成島純平, 杉野御祐, 曽我慶介, 吉場聰子, 柴田識人 :
生物種特異的遺伝子配列探索ツールBLAST_TSNの開発.

第47回日本分子生物学会年会 (2024.11.27)

原矢佑樹, 川原井恵美, 白井明子, 阿部康弘, 佐藤陽治,
斎藤博幸, 柴田識人 : 膜活性ペプチドによる脂質膜摂動
と確率論的ポア形成 : 原子間力顕微鏡法および16チャネル同時電流測定法を用いた評価.

膜シンポジウム2024 (2024.11.28)

Tamehiro N, Adachi R, Taguchi C, Ogawa K, Shibata N: Effects of oral exposure to titanium dioxide nanomaterials in a mouse model of food allergy.

第53回日本免疫学会学術集会 (2024.12.3)

Kondo K*, Dobashi H*, Iijima K*, Watanabe T: A novel analytical/modeling framework for estimation of maximum residue levels to be able to use for setting of grouping MRL. 15th European Pesticide Residue Workshop (2024.9.17)

* The institute of Environmental Toxicology

渡邊敬浩, 永山敏廣^{*1}, 中村歩^{*2}, 渡邊文子^{*2}, 河野洋一^{*2}, 加藤拓^{*3}, 荒川史博^{*4}, 松田りえ子, 佐藤安志^{*5}:
茶インカード試料を用いたQuEChERS法と公定法との性能比較.

第47回農薬残留分析・第41回農薬環境科学合同研究会
(2024.11.11)

*¹ (前) 明治薬科大学

*² 日本食品分析センター

*³ 東京農業大学

*⁴ 日本ハム株式会社 中央研究所

*⁵ 農研機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域

藤原綾, 渡邊敬浩, 故山智香子 : 食品安全分野のリスク評価におけるROBINS-E活用への提言.

第35回日本疫学会学術総会 (2025.2.14)

近藤圭*, 土橋ひかり*, 飯島和昭*, 渡邊敬浩 : 農薬の付着特性を考慮した残留濃度予測モデル構築に関する研究 第3報 : 3Dスキャナーを用いた多種果実・果菜類の形態調査と残留値予測.

日本農薬学会第50回大会 (2025.3.12)

* (一財) 残留農薬研究所

苑暁藝, 松田りえ子, 藤原綾, 登田美桜, 渡邊敬浩 : 農薬等残留物ばく露量の確率論的推定法の検討.
日本農薬学会第50回大会 (2025.3.12)

竹内浩^{*1}, 南谷臣昭^{*2}, 谷口賢^{*2}, 有沢拓也^{*3}, 堀井裕子^{*3}, 中山恵理子^{*3}, 土屋小百合^{*4}, 林克弘^{*5}, 木村亞莉沙^{*6}, 竹田正美^{*7}, 三野真輝^{*8}, 海野明広^{*9}, 茅原田一^{*10}, 池谷実穂^{*11}, 宮城島利英^{*12}, 鈴木敏之^{*13}, 登田美桜, 遠藤利加^{*1} : 模擬調理試料を用いた試験室間共同試験 (アトロピン, スコポラミン).

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.24)

*¹ 岐阜県保健環境研究所

*² 名古屋市衛生研究所

*³ 富山県衛生研究所

*⁴ 福井県衛生環境研究センター

*⁵ 三重県保健環境研究所

*⁶ 静岡市環境保健研究所

*⁷ 石川県保健環境センター

*⁸ 金沢市環境衛生試験所

*⁹ 愛知県衛生研究所

*¹⁰ 岐阜市衛生試験所

*¹¹ 浜松市保健環境研究所

*¹² 静岡県環境衛生科学研究所

*¹³ 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所

Kunihiro Kubota, Masaru Tamura, Yuko Kumagai^{*1},
Masahiro Shimojima^{*2}, Takeshi Saika^{*3}, Miho Ogawa^{*4},
Hiroshi Amanuma: Estimating the burden of foodborne illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio*

parahaemolyticus in Japan, 2006-2021.

International Association for Food Protection 2024
Annual meeting (2024.7.16)

*¹ Wayo Women's University

*² Sugiyama-gen Co. Ltd.

*³ LSI Medience Corporation

*⁴ Bio Medical Laboratories (BML)

窪田邦宏, 田村克, 熊谷優子*, 天沼宏: カンピロバクター食中毒患者の被害実態推定.

第26回腸管出血性大腸菌感染症研究会/第17回日本カンピロバクター研究会 (2024.11.19)

* 和洋女子大学

田村克, 天沼宏, 酒井真由美, 萩原恵美子, 窪田邦宏: 「食品安全情報」と食品回収情報にみる欧米諸国でのリストリアアウトブレイクと食品汚染 (2021~23).

第45回日本食品微生物学会学術総会 (2024.9.5-6)

田村克, 佐藤邦裕^{*1}, 黒神英司^{*2}, 足立真由^{*2}, 寺嶋昭^{*2}, 田近五郎^{*3}, 村杉潤^{*3}, 藤村晶^{*3}, 熊谷優子^{*4}, 溝口嘉範^{*5}, 天沼宏, 五十君靜信^{*6}, 窪田邦宏: 民間データに基づく食品への硬質異物混入被害状況の把握 (2016~2018年度).

第120回日本食品衛生学会学術講演会 (2024.11.8)

*¹ 日本食品衛生協会

*² 日本生活協同組合連合会

*³ イカリ消毒

*⁴ 和洋女子大学

*⁵ 広島女学院大学

*⁶ 東京農業大学

登田美桜: 職域における食品の安全性にかかわる化学物質.

第39回日本健康科学学会学術大会教育講演 (2024.12.14)

登田美桜: 我が国における植物性自然毒による食中毒についても知っておこう!

日本水産学会 マリントキシン研究会 (2025.03.26)

Jorge Carlos Pineda Garcia^{*1}, 李任時^{*2}, 花尻瑠理, 田中嘉孝^{*1}, 石井祐次^{*1}: 合成カンナビノイド摂取の認知・行動ダイナミクスの解明: CB1受容体拮抗薬AM-251介入によるクミルペガクロンと5F-クミルペガクロンの効

果の比較.

日本法中毒学会第43年会 (2024.6.30)

*¹ 九州大学大学院薬学研究院

*² 中国薬科大学

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Mizutani S, Tanaka R, Tsuji G, Misawa T, Yokoo H, Demizu Y: Isomeric analysis of hexahydrocannabinol (HHC), hexahydrocannabihexol (HHCH), and hexahydrocannabiphorol (HHCP) in products using LC-MS and supercritical fluid chromatography (SFC)-QTOF-MS.

TIAFT 2024 (2024.9.3)

田中一絵^{*1}, 坂本美穂^{*1}, 市川瑠子^{*1}, 山崎貴子^{*1}, 浦出朋子^{*1}, 長嶋眞知子^{*1}, 鈴木俊也, 花尻(木倉)瑠理, 中村佳代^{*2}, 高橋秀依^{*2}, 猪又明子^{*1}: 危険ドラッグからの3-chlorophenmetrazine (3-CPM) の同定及びそのオルト及びパラ置換異性体識別に関する研究.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

*¹ 東京都健康安全研究センター

*² 東京理科大学

Arakawa N: Current Status and Challenges for the Use of AI in the Pharmacovigilance Field in Japan. The 14th Global Summit on Regulatory Science (GSRS24) in In-person Annual Conference (2024.9.17)

Sai K, Saito Y, Hanajiri R: Safety evaluation of rituximab biosimilar products using real-world data in Japan.

16th Asian Conference on Pharmacoepidemiology2024 (2024.10.14)

佐井君江: 欧米規制当局におけるPV領域へのAI活用に向けた取り組み.

The 21st DIA Japan Annual Meeting 2024 (2024.10.28)

佐井君江: 医薬品安全対策の進化に向けて: AI利活用の展望と課題欧米規制当局におけるPV分野へのAI活用に向けた取り組み.

第44回医療情報学連合大会 (2024.11.22)

佐井君江, 飯生泰功^{*1}, 橋本幸一^{*1}, 嶋田沙織^{*2}, 斎藤嘉朗, 花尻瑠理, 本間真人^{*1,2}: VigiBaseを用いたグリ

チルリチン製剤の副作用解析：日本と中国との比較。
第45回日本臨床薬理学会学術総会（2024.12.14）

*¹ 筑波大学医学医療系

*² 筑波大学附属病院薬剤部

佐井君江, 大里智子, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理: 新型コロナウイルス感染症の治療薬・ワクチンの有効性評価におけるリアルワールドデータの活用性: 治験データとの比較。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

青木良子, 勝田由紀子, 前田初代, 花尻瑠理: 国立医薬品食品衛生研究所における医薬品安全性情報の提供。
第61回全国衛生化学技術協議会年会（2024.11.22）

青木良子, 栗田祥子, 勝田由紀子, 花尻(木倉)瑠理: 医薬品の安全確保に関する患者・消費者の参画状況—日米欧の比較。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

吉田彩夏, 橋本由弥, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理, 荒川憲昭: 急性肺損傷ラットモデルにおけるストラテフィンの発現とプロテオームの変動の解析。

日本薬学会第145年会（2025.3.27）

吉田彩夏, 橋本由弥, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理, 荒川憲昭: 急性肺損傷ラットモデルによる新規びまん性肺胞傷害マーカー-SFNの発現機序解析。

第10回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム（2024.9.21）

吉田彩夏, 橋本由弥, 赤根弘敏, 豊田武士, 小川久美子, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理, 荒川憲昭: 急性肺損傷ラットモデルを用いた新規間質性肺炎バイオマーカーの発現機序。

日本プロテオーム学会2024年大会・第20回日本臨床プロテオゲノミクス学会合同大会（2024.6.27-28）

齊藤公亮: 副作用バイオマーカーの探索と定量。
第72回質量分析討論会（2024.6.11）

齊藤公亮: LC-MSを用いた生体試料中のペプチド等中分子分析。
第50回BMSコンファレンス（2024.9.20）

Saito K: Tips for bioanalytical method development of peptides, and their DDI risk evaluation.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.15)

石川リカ, 齊藤公亮, 三澤隆史, 出水庸介, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理: 血漿中のPeptide-drug conjugate BT1718のLC-MS/MSによる定量分析法の構築とバリデーション。

第36回バイオメディカル分析科学シンポジウム（2024.8.26）

石川リカ, 齊藤公亮, 白崎幹雄^{*1}, 志賀功一^{*1}, 堀田広一郎^{*2}, 菊池きよ美^{*2}, 山元良馬^{*3}, 高原健太郎^{*3}, 重山拓摩^{*4}, 浜田梨沙^{*4}, 藤田央^{*5}, 掛樋真彰^{*5}, 斎藤昌良^{*6}, 菅原有紀子^{*6}, 岸野有紀^{*7}, 下田瞳^{*7}, 合田竜弥^{*8}, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理: 環状ペプチドcyclorasin 9A5の血漿中濃度測定法の構築: 多施設における比較検討。

第16回JBFシンポジウム（2024.3.5）

*¹ Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

*² エーザイ株式会社

*³ サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

*⁴ 株式会社住化分析センター

*⁵ 武田薬品工業株式会社

*⁶ 田辺三菱製薬株式会社

*⁷ 第一三共株式会社

*⁸ Future Peak株式会社

石川リカ, 齊藤公亮, 白崎幹雄^{*1}, 志賀功一^{*1}, 嵐田直子^{*2}, 山元一輝^{*2}, 水落正慶^{*3}, 小山亜紀^{*3}, 岩崎佳代^{*4}, 福田卓^{*4}, 岸野有紀^{*5}, 下田瞳^{*5}, 内山仁^{*6}, 宇根理香子^{*6}, 大和遼^{*7}, 合田竜弥^{*8}, 三澤隆史, 出水庸介, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理: 環状ペプチド3003pepの血漿中濃度測定法の構築: 多施設における比較検討。

第16回JBFシンポジウム（2024.3.4）

*¹ Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

*² 味の素株式会社

*³ シミックファーマサイエンス株式会社

*⁴ 株式会社新日本科学

*⁵ 第一三共株式会社

*⁶ 東和薬品株式会社

*⁷ メディフォード株式会社

*⁸ Future Peak株式会社

Sun Y, Nitta S^{*1}, Aikawa H^{*1}, Saito T^{*1}, Yonemasu T^{*1}, Goda R^{*2}, Kakehi M^{*3}, Hayashi Y^{*4}, Ito S^{*5}, Kawahara T^{*5}, Masui N^{*5}, Inoue K^{*6}, Shimbo K^{*7}, Yamaguchi T^{*8}, Jinno F^{*9}, Murakoshi K^{*10}, Takahara K^{*11}, Murata C^{*12}, Uchiyama H^{*13}, Kawabata M^{*14}, Saito K, Kikura-Hanajiri R, Saito Y: Development of PAC-LC-MS/MS method for simultaneous quantification of antisense oligonucleotide therapeutics and their metabolites in tissue samples.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.16)

^{*1} Mediford Corporation

^{*2} Daiichi Sankyo Company, Ltd.

^{*3} Takeda Pharmaceutical Company, Ltd.

^{*4} CMIC Pharma Science Company, Ltd.

^{*5} Sekisui Medical Co, Ltd.

^{*6} Eisai Company, Ltd.

^{*7} Ajinomoto Company, Inc.

^{*8} Sumika Chemical Analysis Service, Ltd.

^{*9} Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

^{*10} Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

^{*11} Thermo Fisher Scientific K.K.

^{*12} Ono Pharmaceutical Company, Ltd.

^{*13} Towa Pharmaceutical Company, Ltd.

^{*14} Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

Aikawa H^{*1}, Hisasue H^{*1}, Watanabe H^{*1}, Nitta S^{*1}, Sakai N^{*1}, Kaji H^{*2}, Kanno T^{*1}, Higuchi T^{*1}, Osada T^{*1}, Goda R^{*3}, Sun Y, Saito K, Saito Y, Miura K^{*1}: A case study for visualizing oligonucleotide therapeutics distribution in rat organs using MALDI mass spectrometry imaging.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.16)

^{*1} Mediford Corporation

^{*2} Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

^{*3} Daiichi Sankyo Company, Ltd.

Saito Y, Arakawa N, Saito K, Sun Y, Kikura-Hanajiri R, Ishii-Watabe A: Survey on pharmacodynamic marker usages in biosimilar development and evaluation.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.18)

Susukida T^{*1}, Sun Y, Arakawa N, Aoki S^{*2}, Ito K^{*2},

Hayakawa Y^{*1}: Regulation of glycolysis in CD8+ cells determined the susceptibility to HLA-mediated abacavir-induced skin toxicity.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.18)

^{*1} Toyama University

^{*2} Chiba University

Sun Y, Nitta S^{*}, Aikawa H^{*}, Saito K, Saito Y, Kikura-Hanajiri R: Development of a PAC-LC-MS/MS method for simultaneous quantification of a GalNAc-conjugated siRNA and its major metabolite in liver sample.

日本核酸医薬品学会第9回年会 (2024.7.17)

^{*} Mediford Corporation

孫雨晨：医薬品の安全性評価に資する重篤副作用バイオマーカー及び新規モダリティ医薬品分析法の開発。

第68回日本薬学会関東支部大会 (2024.9.14)

野中麻衣^{*1}, 戸田有紀^{*1}, 梅澤啓太郎^{*1}, 中村亮介^{*2}, 荒川憲昭, 孫雨晨, 三浦ゆり^{*3}, 伊藤晃成^{*1}, 青木重樹^{*1}: HLAとβ2-microglobulinの結合有無によるHLA発現様式の違いと免疫毒性的意義の考察。

第31回日本免疫毒性学会学術年会 (2024.9.19)

^{*1} 千葉大学

^{*2} 帝京大学

^{*3} 東京都健康長寿医療センター

薄田健史^{*1}, 孫雨晨, 荒川憲昭, 平尾卓也^{*2}, 青木重樹^{*3}, 伊藤晃成^{*3}, 早川芳弘^{*1}: CD8+T細胞の解糖系代謝はHLA多型の関与する薬物過敏症の発症を制御する。

第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム (2024.10.3)

^{*1} 富山大学

^{*2} 国際医療福祉大学

^{*3} 千葉大学

孫雨晨, 齊藤公亮, 横山利子, 吉田彩夏, 荒川憲昭, 花尻瑠理: 肺血管内皮細胞及び单球におけるキヌレニンのフェロトーシス抑制機能の解明。

第47回日本分子生物学会年会 (2024.11.29)

Susukida T^{*1}, Sun Y, Arakawa N, Hirao T^{*2}, Aoki S^{*3}, Ito K^{*3}, Hayakawa Y^{*1}: Glycolysis in CD8+ T cells plays a major role in the onset of immune-mediated HLA-related idiosyncratic drug-induced toxicity.

第53回日本免疫学会学術集会 (2024.12.3)

*¹ 富山大学

*² 国際医療福祉大学

*³ 千葉大学

林善治*, 孫雨晨, 小山亜紀*: 核酸医薬品のバイオアナリシスにおけるNonIP-RP-LC/MSの開発.

第16回JBFシンポジウム (2025.3.5)

* シミックファーマサイエンス株式会社

孫雨晨, 花尻(木倉)瑠理, 林善治*: 核酸医薬品に対するイオンペア試薬フリーな新規高感度LC-MS分析法の開発.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

* シミックファーマサイエンス株式会社

中村亮介*, 孫雨晨, 檻山利子, 花尻(木倉)瑠理: 末梢血単核球と培養肝がん細胞の共培養系を用いたアモジアキン肝障害マーカーの探索.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

* 帝京大学

Tanaka Y: Bioanalysis of recombinant viral vector by qPCR and digital PCR for biodistribution.

The 17th KSCPT-JSCPT Joint Symposium (2024.4.26)

牛木淳人*, 山中美和*, 田中駿ノ介*, 赤羽順平*, 生山裕一*, 後藤憲彦*, 小松雅宙*, 曾根原圭*, 市山崇史*, 立石一成*, 北口良晃*, 田中庸一, 花尻(木倉)瑠理, 斎藤嘉朗, 花岡正幸*: 薬剤性間質性肺炎の診断スコアリングシステムの構築.

第64回日本呼吸器病学会総会 (2024.4.5)

* 信州大学

田中庸一, 中村亮介^{*1}, 神前愛子^{*2}, 本田護^{*3}, 慶野大^{*4}, 羽賀洋一^{*5}, 合井久美子^{*6}, 塩田光隆^{*7}, 平手友章^{*8}, 田中真己人^{*9}, 今井千速^{*10}, 花尻瑠理, 康勝好^{*3}, 末延聰一^{*11,12}, 下之段秀美^{*13}, 岡本康裕^{*14}: 小児急性リン

パ性白血病における抗L-アスパラギナーゼIgE及びIgG抗体の評価.

第86回日本血液学会学術集会 (2024.10.13)

*¹ 帝京大学

*² 兵庫県立こども病院

*³ 埼玉県立小児医療センター

*⁴ 神奈川県立こども医療センター

*⁵ 東邦大学

*⁶ 山梨大学

*⁷ 北野病院

*⁸ 岐阜市民病院

*⁹ 藤田医科大学

*¹⁰ 新潟大学

*¹¹ 大分大学

*¹² 西別府病院

*¹³ 都城市郡医師会病院

*¹⁴ 鹿児島大学

山本修司^{*1}, 角田洋一^{*2}, 田中庸一, 北本博規^{*1}, 岡部誠^{*1}, 妹尾 浩^{*1}: 炎症性腸疾患患者における白血球DNA-thioguanine nucleotide濃度の検討.

第15回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (2024.11.15)

*¹ 京都大学

*² 東北大学

田中庸一: ファーマコゲノミクス情報の医薬品添付文書への反映.

第45回日本臨床薬理学会学術総会 (2024.12.14)

田中庸一, 宮城良輝, 濱野彩香, 平塚真弘^{*1}, 山崎浩史^{*2}, 斎藤嘉朗, 花尻瑠理: UGT1A1基質薬物の代謝におけるUGT1A1^{*6}の影響の比較.

第45回日本臨床薬理学会学術総会 (2024.12.14)

*¹ 東北大学

*² 昭和薬科大学

田中庸一, 井手亮佑^{*1}, 渡辺恭子^{*2}, 嶋田耕育^{*3}, 勝本博^{*3}, 市田裕之^{*4}, 塚本和浩^{*5}, 森勇伍^{*5}, 上田俊彦^{*6}, 元井摩希子^{*7}, 森貴則^{*4}, 新田真一郎^{*6}, 山本正枝^{*7}, 岸野有紀^{*2}, 斎藤嘉朗, 花尻瑠理: デジタルPCR及び定量PCRによる生体試料中のアデノ随伴ウイルスベクター定量法の多施設バリデーション.

第16回JBFシンポジウム (2025.3.5)

*¹ 田辺三菱製薬株式会社

*² 第一三共株式会社

*³ サーモフィッシュ・サイエンティフィック ライフ
テクノロジーズジャパン株式会社

*⁴ 小野薬品工業株式会社

*⁵ シミックファーマサイエンス株式会社

*⁶ メディフォード株式会社

*⁷ エーザイ株式会社

田中庸一, 石井明子, 花尻瑠理: 遺伝子治療における抗アデノ随伴ウイルス抗体評価法の構築.

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

Tsukagoshi E, Nakamura R, Tanaka Y, Maekawa K^{*1}, Hiratsuka M^{*2}, Asada H^{*3}, Saito Y, Kikura-Hanajiri R: Analytical validation of a genotyping technique for a single-nucleotide polymorphism to predict of the onset SJS/TEN in Japanese.

26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting (2024.9.18)

*¹ Doshisha Women's College of Liberal Arts

*² Tohoku University

*³ Nara Medical University

塚越絵里, 中村亮介, 佐井君江, 花尻(木倉)瑠理, 斎藤嘉朗: 重症薬疹患者の臨床的特徴～全国症例ネットワークを用いた解析より～.

第31回日本免疫毒性学会学術年会 (2024.9.19)

福永航也^{*1}, 塚越絵里, 中村亮介^{*2}, 松永佳世子^{*3}, 大関健志^{*1}, 渡辺秀晃^{*4}, 長谷川瑛人^{*5}, 濱菜摘^{*5}, 倉田麻衣子^{*6}, 水川良子^{*6}, 渡邊裕子^{*7}, 山口由衣^{*7}, 新原寛之^{*8}, 森田栄伸^{*8}, 浅田秀夫^{*9}, 阿部理一郎^{*5}, 斎藤嘉朗, 蓬田泰誠^{*1}: サラゾスルファピリジン誘発薬疹に関連するHLA-A*11:01, HLA-B*39:01およびHLA-B*56:03の同定.

第32回日本組織適合性学会大会 (2024.9.26)

*¹ 理化学研究所

*² 帝京大学

*³ 藤田医科大学

*⁴ 昭和大学

*⁵ 新潟大学

*⁶ 杏林大学

*⁷ 横浜市立大学

*⁸ 島根大学

*⁹ 奈良県立医科大学

Fukunaga K^{*1}, Tsukagoshi E, Kurata M^{*2}, Mizukawa Y^{*2}, Niihara H^{*3}, Morita E^{*3}, Watanabe Y^{*4}, Yamaguchi Y^{*4}, Watanabe H^{*5}, Nakajima S^{*6}, Nomura T^{*6}, Kabashima K^{*6}, Tohyama M^{*7}, Azukizawa H^{*8}, Asada H^{*8}, Hasegawa A^{*9}, Hama N^{*9}, Ozeki T^{*1}, Mashimo Y^{*10}, Sekine A^{*10}, Matsunaga K^{*11}, Tanaka Y, Nakamura R, Abe R^{*9}, Mushiroda T^{*1}, Saito Y: Differential effects of HLA-B*15:11 and HLA-A*31:01 on carbamazepine-induced cutaneous adverse reactions.

第69回日本人類遺伝学会 (2024.10.10)

*¹ RIKEN Center for Integrative Medical Sciences

*² Kyorin University School of Medicine

*³ Shimane University

*⁴ Yokohama City University Graduate School of Medicine

*⁵ Showa University Northern Yokohama Hospital

*⁶ Kyoto University

*⁷ National Hospital Organization Shikoku Cancer Center

*⁸ Nara Medical University

*⁹ Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences

*¹⁰ Chiba University Graduate School of Medicine

*¹¹ Fujita Health University School of Medicine

福永航也^{*1}, 塚越絵里, 中村亮介^{*2}, 松永佳世子^{*3}, 大関健志^{*1}, 渡辺秀晃^{*4}, 長谷川瑛人^{*5}, 濱菜摘^{*5}, 倉田麻衣子^{*6}, 水川良子^{*6}, 渡邊裕子^{*7}, 山口由衣^{*7}, 新原寛之^{*8}, 森田栄伸^{*8}, 浅田秀夫^{*9}, 阿部理一郎^{*5}, 斎藤嘉朗, 蓬田泰誠^{*1}: PK-phenome解析を用いたサラゾスルファピリジン誘発薬疹に関連するN-アセチルトランスフェラーゼ2の同定.

第45回日本臨床薬理学会学術総会 (2024.12.14)

*¹ 理化学研究所

*² 帝京大学

*³ 藤田医科大学

*⁴ 昭和大学

*⁵ 新潟大学

*⁶ 杏林大学

*⁷ 横浜市立大学

*⁸ 島根大学

*⁹ 奈良県立医科大学

塚越絵里, 中村亮介^{*1}, 鹿庭なほ子, 佐井君江, 松永佳世子^{*2}, 阿部理一郎^{*3}, 浅田秀夫^{*4}, 斎藤嘉朗, 花尻(木倉)瑠理: 重症薬疹を発症する医薬品と患者の臨床的特徴.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ 帝京大学

*² 藤田医科大学

*³ 新潟大学

*⁴ 奈良県立医科大学

平林容子: 経済協力開発機構 (OECD) が進めるNew Approach Methodsを用いたリスクアセスメント.

第71回日本実験動物学会総会 (2024.5.31)

Hirabayashi Y: Recent Initiatives of JaCVAM for Regulatory Acceptance of Safety Evaluation of NAMs including MPS.

Singapore International Food Forum (2024.8.1)

平林容子: 代替法の行政的受け入れにかかるJaCVAMの役割.

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2024.9.13)

Hirabayashi Y: Initiatives for the regulatory use of alternative methods to animal testing.

Next generation nonclinical safety evaluation- Alternatives to animal testing in drug discovery and development-Nonclinical toxicology related event (2024.11.13)

平林容子: 医薬品の非臨床安全性評価手法をめぐる国際情勢の変遷とICHガイドラインの策定に資する研究.

第10回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

平林容子: 職域における化学物質の安全性評価をめぐる国内外の動向.

第39回日本健康科学学会学術大会 (2024.12.14)

Ono R, Naruse M^{*1}, Kuwagata M, Yoshioka Y^{*2}, Hirabayashi Y, Ochiya T^{*2}, Ikawa M^{*3}, Kitajima S: Detection of EVs in Hepatotoxicity Using CD9-mEmerald Reporter Mouse.

International Society For Extracellular Vesicles Annual Meeting 2024 (2024.5.12)

*¹ National Cancer Center Research Institute

*² Tokyo Medical University

*³ Osaka University

五十嵐智女, 安彦行人, 小野竜一, 高橋雄, 齋藤麻樹子, 北嶋聰: ゲノム編集によるノックインマウス作製時に生じた、オンターゲット部位の多様な変異とその次世代伝達.

第71回日本実験動物学会総会 (2024.5.29)

宮宗秀伸^{*1}, 高野海哉^{*2}, 横田理, 松野義晴^{*1}, 李忠連^{*3}, 倉升三幸^{*3}, 小川夕輝^{*3}, 伊藤正裕^{*3}: Early Life Stressが精子ゲノムのメチル化におよぼす影響.

第43回アンドロロジー学会 (2024.6.8)

*¹ 国際医療福祉大学医学部

*² 東京医療保健大学医療保健学部

*³ 東京医科大学医学部

横田理, 若山友彦^{*1}, 宮宗秀伸^{*2}, 藤ノ木政勝^{*3}, 北嶋聰: Reactive Blue 2の精子染色特異性の原理解明と精巣毒性評価への適用.

第43回アンドロロジー学会 (2024.6.8)

*¹ 熊本大学大学院生命科学研究部

*² 国際医療福祉大学医学部

*³ 獨協医科大学医学部

Okubo Y, Mizota K^{*1}, Ohara R^{*1}, Matsuura R, Hirabayashi Y, Nakajima Y^{*2}, Fukuda J^{*1}: Developmental toxicity testing in human iPS cells through disruption of signal interaction.

The 57th Annual Meeting of the Japanese Society of Developmental Biologists (2024.6.19)

*¹ 横浜国立大学

*² 産業技術総合研究所

大久保佑亮: シグナルかく乱作用を基にした*in vitro*発生毒性試験法の開発とその検出機構の解明に向けて.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

北嶋聰, 高橋祐次, 相崎健一, 菅野純: フグ毒テトロドキシンを単回経口投与した際のマウス肝及び海馬Perceolomeトキシコゲノミクス.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

鳥本晋太郎^{*1}, 富永サラ^{*1}, 前田徹^{*1}, 横田理, 松井敦聰^{*2}, 稲垣直樹^{*2}, 三浦伸彦^{*3}, 吉岡弘毅^{*2}: シスプラチンの腎毒性に対して時計遺伝子Cry2は毒性を軽減させる.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

^{*1} 金城学院大学薬学部

^{*2} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*3} 横浜薬科大学薬学部

齊藤洋克, 横田理, 北嶋聰: セルトリ細胞におけるビメンチンの免疫組織化学的变化と精子形成不全との関連.
第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

Ghosh S*, 長谷武志*, Karunanidhi V*, 谷内江綾子*, Palaniappan S K*, 相崎健一, 北嶋聰, 菅野純: ToxEye: トキシコゲノミクス・データのためのIn visio モデル.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

* システム・バイオロジー研究機構

堀正敏^{*1}, 三原大輝^{*1}, 後藤もも^{*1}, 徳永弥月^{*1}, 茶圓貴志^{*1}, 黒澤珠希^{*1}, 北嶋聰: 細胞培養食品バイオハザード研究2: 培養細胞の遺伝子発現における老齢個体の影響と継代による生体内有害物質合成/分解系の遺伝子変動.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

^{*1} 東京大学

五十嵐智女, 西村拓也, 北嶋聰: 細胞培養食品の開発や規制に関する最近の国際動向.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

Taquahashi Y, Aisaki K, Morita K, Suga K, Tsuji M, Kitajima S: Application of Matrix Profile Algorithm for Detecting Abnormalities in Waveform Data with Repetitive Patterns to Electrocardiograms.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

横田理, 前野愛^{*1}, 北條幹^{*1}, 辻昌貴, 森田紘一, 菅康佑, 相田麻子, 広瀬明彦^{*2}, 菅野純, 高橋祐次, 北嶋聰: 多層カーボンナノチューブのマウス単回吸入曝露による肺負荷量の経時的変化.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 化学物質評価研究機構

吉岡弘毅^{*1}, 富永サラ^{*1}, 横田理, 原宏和^{*2}, 前田徹^{*3}, 三浦伸彦^{*4}: 銅毒性の感受性時刻差に対する肝障害と腎障害の比較.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

^{*1} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*2} 岐阜薬科大学

^{*3} 金城学院大学薬学部

^{*4} 横浜薬科大学薬学部

Ono R, Kuwagata M, Naruse M^{*1}, Watanabe A^{*2}, Takano M^{*2}, Hasegawa T^{*2}, Takashima H^{*2}, Yoshioka Y^{*3}, Ochiya T^{*3}, Hirabayashi Y, Kitajima S: バルプロ酸 (VPA) の妊娠マウスへの反復投与により誘導される羊水由来の細胞外小胞 Small RNA.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

^{*1} National Cancer Center Research Institute

^{*2} BoZo Research Center Inc.

^{*3} Tokyo Medical University

Matsuura R, Ohara R^{*1}, Mizota K^{*1}, Hirabayashi Y, Nakajima Y^{*2}, Fukuda J^{*1}, Okubo Y: Developmental Toxicity Assessment Using Human iPSCs Based on the Wnt Signal Disruption.

The 51st Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology (2024.7.5)

^{*1} 横浜国立大学

^{*2} 産業技術総合研究所

三ヶ島史人^{*1}, 真木一茂^{*1}, 小島肇, 梨形麻樹子, 大久保佑亮, 星野裕紀子^{*1}, 片桐龍一^{*2,3}, 石黒司^{*2,4}, 渡部一人^{*2}, 角崎英志^{*5,6}, 下村和裕^{*7}: 医薬品の生殖発生毒性試験及び生殖発生毒性評価代替法に係る状況調査.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

^{*1} 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

^{*2} 日本製薬工業協会

^{*3} 中外製薬株式会社

^{*4} 株式会社三和化学研究所

^{*5} 日本安全性試験受託研究機関協議会

^{*6} 株式会社新日本科学

^{*7} 第一三共株式会社

溝田華柊^{*1}, 大原凜太郎^{*2}, 松浦利絵子, 平林容子, 中島芳浩^{*3}, 大久保佑亮, 福田淳二^{*4}: ヒトiPS細胞を用いたFGFシグナルかく乱の自動測定による発生毒性評価.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

*¹ 横浜国立大学大学院工学研究室

*² 横浜国立大学理工学部

*³ 産業技術総合研究所健康医工学研究部門

*⁴ 横浜国立大学先端科学高等研究院

西村拓也, 平林容子, 小川久美子, 角田聰^{*1}, 鈴木睦^{*2}, 佐藤玄^{*2}, 高橋祐次: 「毒性試験用語集」のアップデートとデータベース化の取り組みについて.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

*¹ 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

*² 日本製薬工業協会

横田理, 宮宗秀伸^{*1}, 菅康佑, 兼子智^{*2}, 若山友彦^{*3}, 北嶋聰: Reactive blue 2の雄性生殖毒性評価への適用.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

*¹ 国際医療福祉大学医学部

*² 東京歯科大学市川総合病院

*³ 熊本大学大学院生命科学研究部

北嶋聰: 毒性学revisited – 生命科学のパラダイムシフトと毒性学の進展 – .

第46回日本中毒学会総会・学術集会 (2024.7.24)

五十嵐智女, 相田麻子, 横田理, 西村拓也, 高橋祐次, 桑形麻樹子, 北嶋聰: 内分泌かく乱化学物質のスクリーニング評価における子宮肥大試験の取り組み.

第64回日本先天異常学会学術集会 (2024.7.26)

横田理: 医薬品開発の迅速化に資する*in vitro/in vivo*雄性生殖毒性評価法のUp to Date.

第64回日本先天異常学会学術集会 (2024.7.26)

横田理, 若山友彦^{*1}, 宮宗秀伸^{*2}, 北嶋聰: Reactive Blue 2を用いた精子固有に発現するプロタミン染色特異性の検討.

第64回日本先天異常学会学術集会 (2024.7.26)

*¹ 熊本大学大学院生命科学研究部

*² 国際医療福祉大学医学部

大久保佑亮, 溝田華柊^{*1}, 大原凜太郎^{*1}, 松浦利絵子, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 福田淳二^{*1}: リアルタイム発光法を用いたシグナルかく乱を基にした*in vitro*発生毒性評価法の開発.

第64回日本先天異常学会学術集会 (2024.7.27)

*¹ 横浜国立大学

*² 産業技術総合研究所

Ono R, Kuwagata M, Naruse M^{*1}, Watanabe A^{*2}, Takano M^{*2}, Hasegawa T^{*2}, Takashima H^{*2}, Yoshioka Y^{*3}, Ochiya T^{*3}, Hirabayashi Y, Kitajima S: Extracellular Vesicle Small RNAs Secreted from Mouse Amniotic Fluid Induced by Repeated Oral Administration of VPA to Pregnant Mice.

Annual Conference of the International Federation of Placenta Associations (IFPA 2024) (2024.9.4)

*¹ National Cancer Center Research Institute

*² BoZo Research Center Inc.

*³ Tokyo Medical University

Okubo Y, Mizota K^{*1}, Matsuura R, Hirabayashi Y, Nakajima Y^{*2}, Fukuda J^{*1}: *in vitro* developmental toxicity testing based on real-time monitoring for signal disruption.

EUROTOX 2024 (2024.9.9)

*¹ 横浜国立大学

*² 産業技術総合研究所

Mizota K^{*1}, Ohara R^{*2}, Matsuura R, Hirabayashi Y, Nakajima Y^{*3}, Okubo Y, Fukuda J^{*1,4}: Developmental Toxicity Assessment Using Human iPSCs by Automated Measurement of FGF Signaling Disruption. EUROTOX 2024 (2024.9.9)

*¹ Faculty of Engineering, Yokohama National University

*² College of Engineering Science, Yokohama National University

*³ Health Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)

*⁴ Institute of Advanced Sciences, Yokohama National University

Ono R, Naruse M^{*1}, Kuwagata M, Yoshioka Y^{*2}, Hirabayashi Y, Ochiya T^{*2}, Ikawa M^{*3}, Kitajima S: Detection of extracellular vesicles (EVs) in Hepatotoxicity Using CD9-EGFP Reporter Mouse. EUROTOX 2024 (2024.9.10)

^{*1} National Cancer Center Research Institute

^{*2} Tokyo Medical University

^{*3} Osaka University

高橋雄, 内山英穂^{*1}, 井川武^{*2}, 難波ちよ^{*2}, 萩野肇^{*2}, 北嶋聰: 無尾類の脊椎骨形成の多様性: アカガエルとアフリカツメガエルの発生過程から古生代の原始両生類の骨格要素との関連を考える。

日本動物学会第95回長崎大会 (2024.9.11)

^{*1} 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究所

^{*2} 広島大学両生類研究センター

五十嵐智女, 西村拓也, 北嶋聰: 細胞培養食品（いわゆる培養肉）の開発と安全性確保に関する最新動向－家畜・家禽以外の動物種を含めて－。

日本動物学会第95回長崎大会 (2024.9.14)

横田理: 内分泌かく乱作用を介した食品健康影響評価におけるレチノイドシグナルの重要性と現在の規制動向: 生殖毒性評価を例に.

第12回日本DOHaD学会 (2024.10.14)

宮宗秀伸^{*1}, 李忠連^{*2}, 横田理, 高野海哉^{*3}, 松野義晴^{*1}, 倉井三幸^{*2}, 小川夕輝^{*2}, 伊藤正裕^{*2}: 発達早期のストレスが精子ゲノムのメチル化におよぼす影響.

第12回日本DOHaD学会 (2024.10.14)

^{*1} 国際医療福祉大学医学部

^{*2} 東京医科大学医学部

^{*3} 東京医療保健大学医療保健学部

溝田華柊^{*1}, 村山航己^{*1}, 松浦利絵子, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 大久保佑亮, 福田淳二^{*1,3}: ヒトiPS細胞を用いたFGFシグナルかく乱を指標とした発生毒性評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム (2024.10.28)

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 産業技術総合研究所健康医工学研究部門

^{*3} 横浜国立大学先端科学高等研究院

北嶋聰: いわゆる培養肉の開発動向とその食品安全に関する諸外国の規制動向.

日本食品化学学会第40回食品化学シンポジウム (2024.11.15)

吉岡弘毅^{*1}, 須崎文菜^{*1}, 松下幸平, 横田理, 太田欣哉^{*2}, 山口智広^{*2}, 前田徹^{*2}, 松井敦聰^{*1}, 稲垣直樹^{*1}, 三浦伸彦^{*3}: カドミウムによる慢性腎毒性に時計遺伝子は関与するのか.

第31回日本時間生物学学会学術大会 (2024.11.16)

^{*1} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*2} 金城学院大学薬学部

^{*3} 横浜薬科大学薬学部

溝田華柊^{*1}, 村山航己^{*1}, 松浦利絵子, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 大久保佑亮, 福田淳二^{*1,3}: ヒトiPS細胞を用いたFGFシグナルかく乱作用の自動測定による発生毒性評価.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.29)

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 産業技術総合研究所健康医工学研究部門

^{*3} 横浜国立大学先端科学高等研究院

村山航己^{*1}, 溝田華柊^{*1}, 松浦利絵子, 平林容子, 中島芳浩^{*2}, 大久保佑亮, 福田淳二^{*1,3}: ヒトiPS細胞を用いたシグナルかく乱作用を基にした発生毒性評価法における補完的なシグナル経路の検討.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.29)

^{*1} 横浜国立大学大学院理工学府

^{*2} 産業技術総合研究所健康医工学研究部門

^{*3} 横浜国立大学先端科学高等研究院

五十嵐智女, 相田麻子, 横田理, 西村拓也, 高橋祐次, 桑形麻樹子*, 北嶋聰: 内分泌かく乱化学物質のスクリーニング評価における子宮肥大試験の継続的な取り組み.

日本内分泌搅乱物質学会第26回研究発表会 (2024.12.6)

* 帝京平成大学

横田理, 齊藤洋克, 若山友彦*, 北嶋聰: レチノイン酸シグナルが制御する精上皮周期に着目した精巣毒性評価.

日本内分泌搅乱物質学会第26回研究発表会 (2024.12.7)

* 熊本大学大学院生命科学研究所

齊藤洋克：周産期マウスへの化学物質曝露による遅発性情動・認知行動毒性の検出。
日本内分泌搅乱物質学会第26回研究発表会（2024.12.7）

堀田英音^{*1}, 月星陽介^{*1}, 横田理, 緒方謙一^{*2}, 小縣綾^{*1},
吉岡弘毅^{*1}: マイクロRNAを介したミコフェノール酸モフェチルによる口蓋裂発症機序解明と予防薬の探索。
第7回医薬品毒性機序研究会（2025.1.8）

^{*1} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*2} 九州大学歯学部

吉岡弘毅^{*1}, 小縣綾^{*1}, 横田理, 杉本昌弘^{*2}, 三浦伸彦^{*3},
前田徹^{*4}: シスプラチンによる腎障害へのバイオマークおよび毒性防御因子探索のためのメタボローム解析。

第7回医薬品毒性機序研究会（2025.1.8）

^{*1} 岐阜医療科学大学薬学部

^{*2} 慶應義塾大学 政策・メディア研究科

^{*3} 横浜薬科大学薬学部

^{*4} 金城学院大学薬学部

前野愛^{*1}, 北條幹^{*1}, 坂本義光^{*1}, 五十嵐海^{*1}, 横田理,
高橋祐次, 広瀬明彦^{*2}, 中江大^{*3}, 相原尚之^{*4}, 上家潤
一^{*4}, 猪又明子^{*1}: ラットにおける多層カーボンナノチューブ誘発性の胸膜中皮腫の発生部位の推定。
第41回日本毒性病理学会（2025.1.31）

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 化学物質評価研究機構

^{*3} 帝京平成大学

^{*4} 麻布大学大学院

Naota M^{*1}, Nishimura T, Suzuki Y^{*2}, Suzuki M^{*2},
Kinoshita K^{*2}, Watanabe K^{*2}, Nakazawa T^{*3}, Onodera
H, Kuwagata M, Hirabayashi Y: Survey on safety
profile of general toxicity Studies using non-human
primates for Antibody drugs approved in Japan after
revision of ICH-S6.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology
(2025.3.17)

^{*1} Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

^{*2} Japan Pharmaceutical Manufacturers Association

^{*3} Open Circle Partners, LLC

Ono R, Naruse M^{*1}, Kuwagata M, Hirabayashi Y,
Ochiya T^{*2}, Ikawa M^{*3}, Kitajima S: Evaluation of CD9-
EGFP Reporter Mice for Organ-Specific EV Detection.
The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology
(2025.3.17)

^{*1} National Cancer Center Research Institute

^{*2} Tokyo Medical University

^{*3} Osaka University

Taquahashi Y, Aisaki K, Morita K, Suga K, Tsuji M,
Kitajima S: Development of a telemetry unit for
measuring rat biopotential: easy to attach, less invasive
by using carbon nanotube yarn as a surface electrode.
The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology
(2025.3.18)

Kanno J, Aisaki K, Ono R, Kitajima S: PFOA
(perfluorooctanic acid) transcriptome analysis and
introduction to the PFAS Perceolome Project.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology
(2025.3.19)

Yokota S, Suga K, Miyaso H^{*1}, Hirai T^{*2}, Hirabayashi
Y, Kitajima S: A novel compact magnetic resonance
imaging system can detect a non-invasive testicular
toxicity from small animals.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology
(2025.3.19)

^{*1} Department of Anatomy, School of Medicine,
International University of Health and Welfare

^{*2} Department of Diagnostic Radiology, Graduate
School of Medical Sciences, Kumamoto University

北嶋聰：網羅的分子毒性学からみたヒトと化学物質との
共生。

APPW2025（第130回日本解剖学会・第102回日本生理
学会・第98回日本薬理学会合同大会）（2025.3.19）

宮宗秀伸^{*1}, 高野海哉^{*2}, 夏山裕太郎^{*1}, 河田晋一^{*1},
矢倉富子^{*1}, 李忠連^{*3}, 倉升三幸^{*3}, 小川夕輝^{*3}, 横田理,
松野義晴^{*1}, 伊藤正裕^{*3}: 思春期前マウスにおけるセル
トリ細胞数とグルココルチコイドシグナルの関係性。
第130回日本解剖学会総会・全国学術集会（2025.3.19）

*¹ 国際医療福祉大学医学部

*² 東京医療保健大学医療保健学部

*³ 東京医科大学医学部

横田理：生殖毒性評価における*in vivo*から*in vitro*代替手法への転換・挑戦。

日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

須崎文菜^{*1}, 松下幸平, 横田理, 太田欣哉^{*2}, 山口智広^{*2}, 長谷川達也^{*3}, 松井敦聰^{*1}, 稲垣直樹^{*1}, 前田徹^{*2}, 三浦伸彦^{*3}, 吉岡弘毅^{*1}: 時計遺伝子Period 3のカドミウムによる慢性腎障害に対する防御機構の解明。

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ 岐阜医療科学大学薬学部

*² 金城学院大学薬学部

*³ 山梨県富士山科学研究所

*⁴ 横浜薬科大学薬学部

吉岡弘毅^{*1}, 小縣綾^{*1}, 横田理, 杉本昌弘^{*2}, 三浦伸彦^{*3}, 前田徹^{*4}: シスプラチニによる腎障害に対する早期バイオマーカー探索。

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ 岐阜医療科学大学薬学部

*² 慶應義塾大学 政策・メディア研究科

*³ 横浜薬科大学薬学部

*⁴ 金城学院大学薬学部

Kanda Y, Yasuhiko Y, Yoshinari K^{*1}, Suzuki I^{*2}: Japanese perspectives.
DNT5 workshop (2024.4.7)

*¹ University of Shizuoka

*² Tohoku Institute of Technology

Kanda Y: Japan perspectives.

FDA cardiac NAM workshop (2024.5.7)

若林聖士*, 太田晶仁*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 謙田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 二卵性双生児男女由来iPS細胞による性差解析実験系の構築。

第9回日本心血管協会学術集会 (2024.5.25)

* 静岡県立大学

新津宗馬^{*1}, 佐藤隆至^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 謙田泰成, 西田基宏^{*2}, 渡邊泰秀^{*1}, 黒川洵子^{*1}: ペーシング刺激によるヒトiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的解析。

第9回日本心血管協会学術集会 (2024.5.25)

*¹ 静岡県立大学

*² 九州大学

Sato R^{*1}, Sakamoto K^{*1}, Shimizu S^{*1}, Kodama M^{*1}, Nishimura A^{*2}, Kanda Y, Nishida M^{*3}, Watanabe Y^{*1}, Kurokawa J^{*1}: Effects of electrical pacing on cellular characteristics of hiPSC derived cardiomyocytes.
Ion Channel Modulation Symposium (2024.5.30)

*¹ University of Shizuok

*² National Institute for Physiological Sciences

*³ Kyushu University

太田晶仁*, 若林聖士*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 謙田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 二卵性双生児男女由来多能性幹細胞による性差解析実験系の構築。

第18回トランスポーター研究会 (2024.6.1)

* 静岡県立大学

山崎大樹, 小原隆, 堀内新一郎: カルチャーアンサートが細胞バリア機能および輸送能に与える影響。

第18回トランスポーター研究会年会 (2024.6.1-2)

Sato K, Nakayama-Kitamura K, Shigemoto-Mogami Y, Piantino M^{*1}, Furihata T^{*2}, Yamazaki D, Ishida S, Matsusaki M^{*1}: Indispensable roles of the scaffold materials in humanized three dimensional (3D) blood brain barrier (BBB) network microphysiological system (MPS), "BBB-NET".
MPS world summit (2024.6.10-14)

*¹ 大阪大学

*² 東京薬科大学

Shigemoto-Mogami Y, Nakayama-Kitamura K, Hoshikawa K, Sato K: Study about the cell composition of blood brain barrier-microphysiological system (BBB-MPS) for reproducing pathological conditions.
MPS world summit 2024 (2024.6.10-14)

Ishida S*, Matsushita T*, Sato K, Ashikaga T, Hirabayashi Y, Yamazaki D: Japanese approach to the proposal of an OECD Test Guideline using Gut-Liver MPS for the first pass effect analysis as a Context of Use of toxicokinetic simulator in chemical risk assessment.

MPS world summit 2024 (2024.6.10-14)

* 崇城大学

Daiju Yamazaki, Shinichiro Horiuchi, Yuto Tanaka*, Nanae Koda, Yusuke Masuo*, Yukio Kato*: Examination of medium for co-culturing human hepatocytes and engineered heart tissue on MPS.

3nd MPS-WS (2024.6.11)

* 金沢大学

堀内新一郎, 山崎大樹, 池田祐衣*, 幸田奈々重, 増尾友佑*, 加藤将夫*: ヒト凍結肝細胞と3D心筋組織の共培養によるTerfenadineの肝代謝を介した心毒性評価.

第31回HAB研究機構学術年会 (2024.6.13-14)

* 金沢大学

川岸裕幸, 山田充彦*, 諸田泰成: 新生児・乳児期的心筋細胞表現型を利用した小児心不全治療薬の開発.

第21回生命科学研究会 (2024.6.14)

* 信州大学

中村祐也^{*1}, 近藤萌^{*1}, 加藤百合^{*1}, Xinya Mi^{*1}, 伊藤智哉^{*1}, 西村明幸^{*2}, 諸田泰成, 西田基宏^{*1}: オシメルチニブによる心筋ミトコンドリア毒性に対する硫黄分子の保護効果.

日本化学会九州支部例会 (2024.6.22)

*¹ 九州大学

*² 生理学研究所

若林聖士*, 太田晶仁*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 諸田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 二卵性双生児男女由来iPS細胞による性差解析に向けたin vivo実験系の解明.

第150回薬理学会関東部会 (2024.6.29)

* 静岡県立大学

平田尚也, 堀之内孝広*, 諸田泰成: ヒトiPS細胞の分化に対する加熱式タバコ由来抽出液の影響.

第150回薬理学会関東部会 (2024.6.29)

* 北海道大学

諸田泰成: 副作用メカニズムに基づく個人差予測.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

柳田翔太, 川岸裕幸, 加藤百合^{*1}, 西田基宏^{*1,2}, 諸田泰成: SARS-CoV-2由来組換えスパイクタンパク質の心臓安全性評価.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

*¹ 九州大学

*² 生理学研究所

諸田泰成: ビッグデータによる医薬品評価の高度化.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

川岸裕幸, 山田充彦*, 諸田泰成, 小児心不全治療薬の開発に向けた有効性と安全性の非臨床評価.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 信州大学

Daiju Yamazaki, Shinichiro Horiuchi, Yui Ikeda*, Nanae Koda, Yusuke Masuo*, Yukio Kato*: Examination of co-culture medium of human cryopreserved hepatocytes and engineered heart tissue for a cardiotoxicity evaluation via drug metabolism.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 金沢大学

安彦行人, 村上真菜, 山田茂, 諸田泰成: ヒトiPS細胞由来神経細胞によるピレスロイド系農薬の神経毒性評価.

第51回日本毒性学会年会 (2024.7.5)

佐藤隆至^{*1}, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 西村明幸^{*1}, 石原博美^{*1}, 西田基宏^{*2}, 諸田泰成, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS細胞由来分化心筋細胞の電気生理学的特性に対するペーシング刺激の影響.

第70回日本薬学会東海支部大会 (2024.7.6)

*¹ 静岡県立大学

*² 九州大学

諫田泰成：ヒト細胞を活用した代替法の国際動向。

第10回細胞凝集研究会（2024.7.12）

Yasuhiko Yukuto: Neurotoxicity assessment of pesticides using human iPSC-derived neurons with multi-electrode array system.

第21回韓国動物実験代替法学会(KSAAE)年会
(2024.7.15)

Kitamura-Nakayama K, Shigemoto-Mogami Y, Piantino M^{*1}, Furihara T^{*2}, Matsusaki M^{*1}, Sato K: The role of collagen microfiber for the microenvironments in the human 3D network blood-brain barrier microphysiological system (BBB-NET).

Neuro2024 (2024.7.24-27)

*¹ 大阪大学

*² 東京薬科大学

Shigemoto-Mogami Y, Kitamura-Nakayama K, Sato K: Three BBB developmental stages determined by the configurations of brain microvasculature, astrocytes, and microglia.

Neuro2024 (2024.7.24-27)

山田茂, 坡下真大^{*1}, 柳田翔太, 佐藤寛之^{*1}, 安彦行人, 岡部馨^{*2}, 野田隆政^{*2,3}, 西田基宏^{*4,5}, 松永民秀^{*1}, 諫田泰成：ヒトiPS細胞由来脳毛細血管内皮細胞におけるSARS-CoV-2感染メカニズムの解析。

第2回新型コロナウイルス研究集会（2024.8.4）

*¹ 名古屋市立大学

*² 国立精神・神経医療研究センター

*³ 東京慈恵会医科大学

*⁴ 九州大学

*⁵ 自然科学研究機構

Kanda Y: Regulatory science using New Approach and Methodologies.
TSSCR (2024.8.25)

Wakabayashi M*, Ota A*, Sato R*, Shimizu S*, Sakamoto K*, Kodama M*, Sunagawa Y*, Kanda Y, Morimoto T*, Kurokawa J*: Development of an *in*

vitro cell model to evaluate sex differences of cardiac function using iPS cells derived from dizygotic twins.

The 5th Bandon-Shizuoka Food and Pharma Conference (2024.8)

The 5th Bandon-Shizuoka Food and Pharma Conference (2024.8.27)

* University of Shizuok

Daiju Yamazaki, Shinichiro Horiuchi, Yui Ikeda^{*1}, Kenta Shinha^{*2}, Nanae Koda, Yusuke Masuo^{*1}, Hiroshi Kimura^{*2}, Yukio Kato^{*1}: Examination of medium for co-culturing human hepatocytes and engineered heart tissue on MPS.

EUROTOX (2024.9.8)

*¹ 金沢大学

*² 東海大学

S. Yoshida^{*1}, T. K. S. Tiong^{*1}, Y. Nomura, Y^{*2}. Kanda: Glyphosate exposure in utero induced social behavior alteration and neuronal cell death, which could be rescued with postnatal butyrate administration.

EuroTox2024 (2024.9.9)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² Queens College of The City University of New York

T. Nakanishi*, K. Ishida, K. Tatsumi, D. Matsumaru, H. Nagase, Y. Kanda, K. Takuma: Utilizing neuronal differentiation reporter mice for *in vivo* detection of developmental neurotoxicity.

EuroTox2024 (2024.9.9)

* Gifu Pharmaceutical University

佐藤隆至^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 芦原貴司, 渡邊泰秀, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 行方衣由紀^{*2}, 田中光^{*2}, 西村明幸^{*3}, 石原博美, 西田基宏^{*4}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS細胞由来心筋細胞の活動電位自律性についての統合的解析。

生理研研究会 - 細胞内カルシウム及び細胞内外シグナル分子の動態解析と計測技術の先端的研究 (2024.9.12)

*¹ 静岡県立大学

*² 東邦大学

*³ 生理学研究所

*⁴ 九州大学

諫田泰成：NAMsによる心臓安全性評価の現状と今後の展望。

第14回レギュラトリーサイエンス学会（2024.9.14）

中瀬古（泉）寛子^{*1}, 関野祐子^{*2}, 神林隆一^{*1}, 後藤愛^{*1}, 武井義則^{*1}, 姫野友紀子^{*3}, 松本紋子^{*1}, 永澤悦伸^{*1}, 内藤篤彦^{*1}, 諫田泰成, 杉山篤^{*1}: ヒトiPS心筋細胞評価系を用いた抗がん剤による心毒性の臨床予測。

第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会（2024.9.14）

*¹ 東邦大学

*² 東京大学

*³ 立命館大学

佐藤隆至^{*1}, 新津宗馬^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 西村明幸^{*2}, 諫田泰成, 西田基宏^{*3}, 渡邊泰秀, 黒川洵子^{*1}: ペーシング刺激によるiPS細胞由来心筋細胞の成熟化と電気生理学的变化。

第2回東海地区薬学系電気生理学研究会（2024.9.19）

*¹ 静岡県立大学

*² 生理学研究所

*³ 九州大学

小原隆, 堀内新一郎, 山崎大樹: Caco-2 細胞を用いた薬物透過試験におけるセルカルチャーラインサートの評価。

第10回若手RSフォーラム（2024.9.21）

Kanda Y: NAMs in Safety Pharmacology.

2024 Safety Pharmacology Society (SPS) ANNUAL MEETING (2024.9.23)

Hiroyuki Kawagishi, Shota Yanagida, Yasunari Kanda: Comparison of Live-Cell Imaging-Based Contractility Assessment Using Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes.

2024 Safety Pharmacology Society (SPS) ANNUAL MEETING (2024.9.23)

若林聖士*, 太田晶仁*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 諫田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 二卵性双生児男女由来iPS細胞を用いた心機能の性差解析に向けた*in vitro*実験系の構築。

生理研研究会 – 炎症・免疫系と心血管系の相互作用から切り拓く – (2024.10.10)

* 静岡県立大学

Hiroyuki Kawagishi, Yasunari Kanda, Mitsuhiro Yamada*: Drug Development for Pediatric Heart Failure: Neonatal-Specific Functions of Cardiac Angiotensin Receptor.

2024 Fall International Convention of The Pharmaceutical Society of Korea (2024.10.20)

* Shinshu university

Yasuhiko Yukuto, Kanda Yasunari: Neurotoxicity assessment of pesticides by acute administration to human iPSC-derived neurons using multi-electrode array systems.

第13回米国細胞・計算毒性学会年会（2024.10.29）

山崎大樹: 心臓収縮機能に特化した*in vitro* to *in vivo* extrapolation (IVIVE).

CBI学会2024年大会（2024.10.30）

Kanda Y: Evaluation of neurotoxicity for pesticide-related compounds in human iPS cell-derived neurons using MEA: Japanese experience.

OECD Workshop on critical innovations in pesticides safety testing and chemical risk assessment for DNT (2024.10.30)

Daiju Yamazaki, Shinichiro Horiuchi, Yui Ikeda^{*1}, Kenta Shinha^{*2}, Nanae Koda, Yusuke Masuo^{*1}, Hiroshi Kimura^{*2}, Yukio Kato^{*1}: Development of a liver-heart co-culture system using a microfluidic plate to evaluate drug-induced cardiotoxicity via hepatic metabolism.

SELECTBIO (2024.11.7-8)

*¹ 金沢大学

*² 東海大学

Sato R^{*1}, Sakamoto K^{*1}, Shimizu S^{*1}, Kodama M^{*1}, Nishimura A^{*2}, Kanda Y, Nishida M^{*3}, Watanabe Y^{*1}, Kurokawa J^{*1}: Effects of electrical pacing on cellular characteristics of hiPSC derived cardiomyocytes.

The 25th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology (2024.11.8)

*¹ University of Shizuok

*² National Institute for Physiological Sciences

*³ Kyushu University

中村祐也^{*1}, 近藤萌^{*1}, 加藤百合^{*1}, 伊藤智哉^{*1}, 西村明幸^{*2}, 諸田泰成, 西田基宏^{*1}: オシメルチニブによる超硫黄分子の代謝・排出を介した心筋ミトコンドリア品質低下.

日本薬理学会西南部会（2024.11.16）

*¹ 九州大学

*² 生理学研究所

安彦行人, 諸田泰成: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた多点電極アレイシステムによる農薬の神経毒性評価.
第61回全国衛生科学技術協議会年会（2024.11.22）

太田晶仁*, 若林聖士*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 諸田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 二卵性男女双生児由来iPS細胞を用いた性染色体由来の性差解析～心毒性の性差の理解に向けて～.

第71回中部日本生理学会（2024.11.29）

* 静岡県立大学

佐藤隆至^{*1}, 新津宗馬^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 西村明幸^{*2}, 諸田泰成, 西田基宏^{*3}, 渡邊泰秀^{*1}, 黒川洵子^{*1}: ペーシング刺激はヒトiPS細胞由来心筋細胞を成熟化し電気生理学的に変化させる.

第71回中部日本生理学会（2024.11.29）

*¹ 静岡県立大学

*² 生理学研究所

*³ 九州大学

Daiju Yamazaki: Development of drug-induced cardiotoxicity assessment via hepatic metabolism.
2024 KAAT Conference (2024.11.29)

最上（重本）由香里, 佐藤薰: 血液脳閥門生体模倣システム (BBB-MPS) の開発と標準利用に向けた研究.

日本動物実験代替法学会 第37回大会シンポジウム
(2024.11.30-12.1)

諸田泰成: NAMsによる食品安全性評価の現状と今後の

展望.

日本動物実験代替法学会第37回大会（2024.12.1）

山崎大樹: マイクロスターラー・オンチップ灌流MPSによる薬物代謝を介した催不整脈の評価.

日本動物実験代替法学会第37回大会（2024.12.1）

川岸裕幸, 劉星明, 坂本勇太, 樋口裕一郎*, 上原正太郎*, 末水洋志*, 諸田泰成: ヒト肝臓モデルマウス由来のヒト肝細胞を用いた*in vitro* DILI評価法.

日本動物実験代替法学会 第37回大会（2024.12.1）

* 実中研

柳田翔太, 川岸裕幸, 諸田泰成: ヒトiPS心筋とリアルワールドデータ解析を応用した慢性心毒性評価法の開発.

日本動物実験代替法学会 第37回大会（2024.12.1）

太田晶仁*, 若林聖士*, 佐藤隆至*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 諸田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 心機能の性差解析に向けた二卵性男女双生児由来iPS細胞の樹立.

第34回循環薬理学会学術集会（2024.12.20）

* 静岡県立大学

佐藤隆至^{*1}, 新津宗馬^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 西村明幸^{*2}, 諸田泰成, 西田基宏^{*3}, 渡邊泰秀^{*1}, 黒川洵子^{*1}: ペーシング刺激によるヒトiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的变化への寄与.

第34回循環薬理学会学術集会（2024.12.20）

*¹ 静岡県立大学

*² 生理学研究所

*³ 九州大学

川岸裕幸, 柳田翔太, 諸田泰成: New Approach Methodologiesを活用した医薬品による心毒性リスク評価法の開発.

第34回日本循環薬理学会（2024.12.20）

Shigemoto-Mogami Y, Nakayama-Kitamura K, Sato K: Developmental changes in glial compositions around brain microvessels and protein expressions in endothelial cells along with BBB formation-search for quality control items of BBB-MPS reflecting BBB

maturation stage.

第二回MPS協議会学術シンポジウム（2025.1.10）

Nakayama-Kitamura K, Shigemoto-Mogami Y, Piantino M^{*1}, Naka Y^{*2}, Yamada A^{*2}, Kitano S^{*2}, Furihata T^{*3}, Matsusaki M^{*1}, Sato K: The study of the scaffold materials in humanized 3D-BBB microphysiological systems (BBB-NET) development.

第二回MPS協議会学術シンポジウム（2025.1.10）

^{*1} 大阪大学

^{*2} TOPPAN Technical Research Institute

^{*3} 東京薬科大学

Takashi Obara, Shinichiro Horiuchi, Daiju Yamazaki: Evaluation of cell culture inserts in drug permeation studies using Caco-2 cells.

MPS実用化推進協議会 第2回学術シンポジウム（2025.1.10）

Shinichiro Horiuchi, Yui Ikeda^{*1}, Kenta Shinha^{*2}, Nanae Koda, Yusuke Masuo^{*1}, Hiroshi Kimura^{*2}, Yukio Kato^{*1}, Daiju Yamazaki: Evaluation of terfenadine-induced cardiotoxicity via hepatic metabolism in a liver-heart co-culture system using a modified BioStellarTM Plate.

MPS実用化推進協議会 第2回学術シンポジウム（2025.1.10）

^{*1} 金沢大学

^{*2} 東海大学

諫田泰成：ヒト細胞を用いた医薬品評価法の開発と標準化。第8回ニューロン研究会（2025.1.24）

劉星明, 坂本勇太, 橋口裕一郎*, 上原正太郎*, 末水洋志*, 諫田泰成, 川岸裕幸: ヒト肝臓モデルマウス由来のHepaSH細胞を用いた*in vitro* DILI評価法。

第16回日本安全性薬理研究会学術年会（2025.2.20）

* 実中研

柳田翔太, 川岸裕幸, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたEGFRチロシンキナーゼ阻害剤による機能的・器質的心毒性評価。

第16回日本安全性薬理研究会学術年会（2025.2.20）

鈴木裕二*, 川岸裕幸, 柳田翔太, 富澤里美*, 山口真央*, 浦利恵*, 坂本奈央*, 中野浩司*, 坪井優*, 諫田泰成. ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた収縮機能評価における拍動解析ソフトウェアの比較.

第16回日本安全性薬理研究会学術年会（2025.2.20）

* 薬物安全性試験センター

Daiju Yamazaki, Shinichiro Horiuchi, Yui Ikeda^{*1}, Kenta Shinha^{*2}, Nanae Koda, Yusuke Masuo^{*1}, Hiroshi Kimura^{*2}, Yukio Kato^{*1}: Construction of drug-induced cardiotoxicity evaluation system via hepatic metabolism in a liver-heart co-culture using microphysiological systems.

日本安全性薬理学会第16回学術年会（2025.2.21）

^{*1} 金沢大学

^{*2} 東海大学

諫田泰成：Global trends in drug development using alternatives to animal testings.

APPW2025 (2025.3.16)

諫田泰成：Assessment of heated tobacco products using NAMs and future perspectives.

APPW2025 (2025.3.17)

Izumi-Nakaseko H^{*1}, Sekino Y^{*2}, Kambayashi R^{*1}, Goto A^{*1}, Takei Y^{*1}, Himeno Y^{*3}, Matsumoto A^{*1}, Nagasawa Y^{*1}, Naito AT^{*1}, Kanda Y, Sugiyama A^{*1}: Relationship between the ion channel blocking properties of drugs and the formation of trigger and substrate required for ventricular arrhythmias.

APPW2025 (2025.3.17)

^{*1} Toho University

^{*2} Univercity of Tokyo

^{*3} Ritsumeikan Univercity

Shigemoto-Mogami Y, Nakayama-Kitamura K, Sato K: Study about the markers reflecting postnatal BBB development-Cell composition around brain microvasculatures and BMEC protein expressions.

APPW2025 (2025.3.17-19)

Sato K, Nakayama-Kitamura K, Shigemoto-Mogami Y, Piantino M^{*1}, Naka Y^{*1}, Yamada A^{*2}, Kitano S^{*2},

Furihata T^{*3}, Matsusaki M^{*1}: Collagen I microfiber promotes brain capillary network formation in humanized three-dimensional blood-brain barrier microphysiological systems (BBB-MPS) - The study aiming for stable production of BBB-MPS.

APPW2025 (2025.3.17-19)

^{*1} 大阪大学

^{*2} TOPPAN Technical Research Institute

^{*3} 東京薬科大学

Takahashi K, Quan Z^{*1}, Awakawa T^{*1}, Shigemoto-Mogami Y, Ohwada T^{*2}, Abe I^{*2}, Sato K: Search for meroterpenoids that inhibit microglia activation.

APPW2025 (2025.3.17-19)

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 東京大学

劉星明, 坂本勇太, 樋口裕一郎*, 上原正太郎*, 末水洋志*, 諸田泰成, 川岸裕幸: *In vitro* assessment for DILI using HepaSH cells derived from chimeric mice with humanized liver.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.17)

* 実中研

坂本勇太, 坂崎友香*, 近藤悠希*, 諸田泰成, 川岸裕幸: Real-world data analysis to investigate age-specific drugs implicated in drug-induced liver injury.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.17)

* 熊本大学

佐藤隆至^{*1}, 新津宗馬^{*1}, 坂本多穂^{*1}, 清水聰史^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 西村明幸^{*2}, 行方衣由紀^{*3}, 田中光^{*3}, 諸田泰成, 西田基宏^{*4}, 渡邊泰秀^{*1}, 黒川洵子^{*1}: Electro pacing stimulation plays a role of change in cellular characteristics of iPSC-derived cardiomyocytes.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.18)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 生理学研究所

^{*3} 東邦大学

^{*4} 九州大学

若林聖士*, 太田晶仁*, 佐藤隆至*, 安藤圭佑*, 清水聰史*, 坂本多穂*, 児玉昌美*, 砂川陽一*, 諸田泰成, 森本達也*, 黒川洵子*: 心疾患の性差形成機構解明に向けた二卵性男女双生児由来iPS細胞の樹立.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.18)

* 静岡県立大学

川岸裕幸, 山田充彦*, 諸田泰成: Non-clinical safety assessments using human cells for pediatric drug development.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.18)

* 信州大学

柳田翔太, 川岸裕幸, 加藤百合^{*1}, 西田基宏^{*1,2}, 諸田泰成: Assessment of the effect of recombinant spike protein from SARS-CoV-2 on cardiac function using human iPSC-derived cardiomyocytes.

APPW2025 (日本解剖・生理・薬理学会合同大会) (2025.3.19)

^{*1} 九州大学

^{*2} 生理学研究所

山田茂, 安彦行人, 中西剛*, 諸田泰成: 発達期の神経毒性における甲状腺ホルモン受容体の解析.

第98回日本薬理学会年会 (2025.3.19)

* 岐阜薬科大学

平田尚也, 堀之内孝広*, 諸田泰成: ヒトiPS細胞を用いた加熱式タバコの発生毒性評価.

第24回再生医療学会総会 (2025.3.20-22)

* 北海道大学

小原隆, 堀内新一郎, 山崎大樹: 薬剤透過性試験におけるカルチャーアインサートの影響評価.

第145回日本薬学会年会 (2025.3.26-29)

北村(中山)貴美子, 最上(重本)由香里, Marie Piantino^{*1}, 中康博^{*1}, 山田あすか^{*2}, 北野史朗^{*2}, 降

幡知巳^{*3}, 松崎典弥^{*1}, 佐藤薰：血液脳関門（BBB）のヒト型3次元（3D）生体模倣システム（MPS）（BBB-NET）開発における足場基材の重要性—コラーゲンIマイクロファイバー（CMF）は脳血管ネットワーク形成を促進する。

日本薬学会第145年会（2024.3.27-29）

*¹ 大阪大学

*² TOPPAN Technical Research Institute

*³ 東京薬科大学

高橋華奈子, 淡川孝義^{*1}, Zhiyang Quan^{*1}, 最上由香里, 大和田智彦^{*2}, 阿部郁朗^{*2}, 佐藤薰：ミクログリア活性化抑制作用を持つ超天然化合物メロテルペノイドの探索。日本薬学会第145年会（2024.3.27-29）

*¹ 理化学研究所

*² 東京大学

川岸裕幸, 劉星明, 坂本勇太, 樋口裕一郎*, 上原正太郎*, 末水洋志*, 謙田泰成：三次元ヒト肝キメラマウス細胞による薬物性肝毒性の*in vitro*評価。

日本薬学会第145年会（2025.3.28）

* 実中研

貫野頌悟*, 謙田泰成, 吉田祥子*. Effects of *in utero* exposure to organophosphate pesticide and dimethyl sulfoxide on cerebellar development.

日本薬学会第145年会（2025.3.30）

* 豊橋技術科学大学院

Masuda H*, Toyoda T, Nomura S*: Examination of the therapeutic effect of MEK inhibitor on columnar metaplasia in a rat surgical reflux model.

Digestive Disease Week 2024 (2024.5.18)

* The University of Tokyo

相馬明玲, 石井雄二, 山上洋平, 笠松建吾, 高須伸二, 小川久美子. アセトアミドのラット肝細胞質内封入体形成に関わる化学構造の特徴。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.24）

森川朋美, 豊田武士, 松下幸平, 赤根弘敏, 畠山瑞穂, 小川久美子. ラットを用いたL-ラムノースの90日間亜慢

性反復経口投与毒性試験。

日本食品化学学会第30回総会・学術大会（2024.5.24）

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 赤木純一, 森川朋美, 水田保子, 小川久美子：ラットAKI to CKDモデルにおけるCD44の発現及び上皮間葉転換との関連。

第67回日本腎臓学会学術総会（2024.6.28）

畠山瑞穂, 豊田武士, 赤木純一, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子： γ -H2AXと幹細胞マーカーの免疫染色を用いたラット肝発がん物質早期検出法の検討。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.3）

山上洋平, 石井雄二, 鈴木孝昌, 中村賢志, 原島洋文^{*1}, 笠松健吾, 高須伸二, 相馬明玲, 杉山圭一, 村上智亮^{*2}, 小川久美子：アセトアミドのラット肝発がん過程における染色体再構成の関与の検討。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.3）

*¹ アズワン株式会社

*² 東京農工大学

石井雄二：安全性研究への質量分析イメージングの応用。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.4）

赤木純一, 横井雅幸^{*1}, 三宅ゆみ^{*2}, 白井剛^{*3}, 馬場智弘^{*4}, 曹永晩, 花岡文雄^{*1,4}, 菅澤薰^{*1}, 岩井成憲^{*2}, 小川久美子：グリシドアミド付加体のホルムアミドピリミジン誘導体はDNA複製阻害と突然変異を誘発する。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.4）

*¹ 神戸大学

*² 大阪大学

*³ 長浜バイオ大学

*⁴ 国立遺伝学研究所

豊田武士, 赤根弘敏, 高須伸二, 石井雄二, 松下幸平, 畠山瑞穂, 森川朋美, 小坂忠司*, 田島均*, 青山博昭*, 小川久美子：ラット28日間反復投与毒性試験における病理組織学的/免疫組織化学的解析による抗甲状腺物質の早期検出および機序推定。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.4）

* (財) 残留農薬研究所

赤根弘敏, 高須伸二, 魏民^{*1}, 藤岡正喜^{*1}, 豊田武士, 石井雄二, 畠山瑞穂, 森川朋美, 津田洋幸^{*2}, 小川久美

子：ラットを用いた化学物質の吸入による毒劇物の判定における経気管肺内噴霧投与(TIPS)法と全身吸入暴露法の比較。

第51回日本毒性学会学術年会(2024.7.5)

*¹ 大阪公立大学

*² 名古屋市立大学

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 赤木純一, 森川朋美, 水田保子, 小川久美子: アロプリノール誘発ラットAKI to CKDモデルにおけるCD44の発現。

第51回日本毒性学会学術年会(2024.7.5)

赤木純一, 水田保子, 畠山瑞穂, 赤根弘敏, 松下幸平, 豊田武士, 小川久美子: さまざまな結晶子径の二酸化チタン粒子のラットへの90日間反復経口投与による生体影響と蓄積性の検討。

第37回発癌病理研究会(2024.8.22)

Akagi J, Yokoi M^{*1}, Miyake Y^{*2}, Shirai T^{*3}, Baba T^{*2}, Cho YM, Hanaoka F^{*1,4}, Sugawara K^{*1}, Iwai S^{*2}, Ogawa K: Contribution of translesion synthesis for mutagenesis via a novel food-induced formamidopyrimidine-derivative.

7th DNA Polymerases Meeting(2024.8.29)

*¹ Kobe University

*² Osaka University

*³ Nagahama Institute of Bio-Science

*⁴ National Institute of Genetics

Kadoguchi M^{*1}, Esashika K^{*2}, Matsushita K, Yang J^{*2}, Takahashi J^{*2}, Tamai I^{*1}, Arakawa H^{*1}: Primary culture of rat kidney tissue slice for evaluation of drug-induced kidney injury using gas-permeable plates.
26th North American ISSX and 39th JSSX Meeting(2024.9.17)

*¹ Kanazawa University

*² Mitsui Chemicals, Inc.

松下幸平, 豊田武士, 赤根弘敏, 赤木純一, 森川朋美, 水田保子, 小川久美子: シスプラチン誘発ラットAKI to CKDモデルにおけるCD44の発現動態及び上皮間葉転換との関連。

第167回日本獣医学会学術集会(2024.9.11)

赤木純一, 横井雅幸^{*1}, 三宅ゆみ^{*2}, 白井剛^{*3}, 馬場智弘^{*2}, Cho Young-Man, 花岡文雄^{*1,4}, 菅澤薰^{*1}, 岩井成憲^{*2}, 小川久美子: アクリルアミドの活性代謝物であるグリシドアミドのホルムアミドピリミジン誘導体による突然変異誘発機序。

第83回日本癌学会学術総会(2024.9.21)

*¹ 神戸大学

*² 大阪大学

*³ 長浜バイオ大学

*⁴ 国立遺伝学研究所

赤根弘敏, 高須伸二, 石井雄二, 小川久美子, 豊田武士: 病理組織学的及び免疫組織化学的解析を用いた抗甲状腺物質の早期検出。

第83回日本癌学会学術総会(2024.9.21)

豊田武士, 赤根弘敏, 小川久美子: γ-H2AX免疫染色を指標としたラット腎発がん物質の早期検出。

第83回日本癌学会学術総会(2024.9.21)

久下恒明^{*1}, 杜婉瑩^{*1}, 豊田武士, 大本安一^{*2}, 安川佳美^{*3}, 大津洋^{*4}, 吉田寛^{*5}, 竹島秀幸^{*6}, 牛島俊和^{*6}, 野村幸世^{*1}: 胃癌切除後も門脈血流を介したIL-6の刺激により肝でTFF3が高発現するメカニズム。

第83回日本癌学会学術総会(2024.9.21)

*¹ 東京大学

*² 徳島大学

*³ 国立がん研究センター

*⁴ 順天堂大学

*⁵ 日本医科大学

*⁶ 星葉科大学

Akagi J, Yokoi M^{*1}, Miyake Y^{*2}, Shirai T^{*3}, Baba T^{*2}, Matsushita K, Hanaoka F^{*1,4}, Sugawara K^{*1}, Iwai S^{*2}, Ogawa K: Contribution of translesion synthesis for mutagenesis via a novel food-induced formamidopyrimidine-derivative.

The 12th 3R+3C International Symposium(2024.11.19)

*¹ Kobe University

*² Osaka University

*³ Nagahama Institute of Bio-Science and Technology

*⁴ National Institute of Genetics

増田寛喜^{*1,2}, 豊田武士, 宮下知治^{*3}, 吉田寛^{*2}, 濑戸

泰之^{*1}, 野村幸世^{*1}: ラット外科的逆流モデルにおける食道円柱上皮化生に対するMEKインヒビターの治療効果の検討.

第35回日本消化器癌発生学会総会 (2024.11.29)

*¹ 東京大学

*² 日本医科大学

*³ 富山市民病院

赤木純一, 水田保子, 畠山瑞穂, 赤根弘敏, 松下幸平, 豊田武士, 小川久美子: ラットを用いた二酸化チタンナノ粒子の反復経口曝露による生体影響の検討.

第47回日本分子生物学会年会 (2024.11.29)

小川久美子, 松下幸平, 井上亮*, 西銘千代子*, 鈴木雅実*, 豊田武士: マカク属以外の非ヒト靈長類の実験動物としての応用可能性.

日本動物実験代替法学会第37回大会 (2024.11.29)

* (財) 実中研

石井雄二: 化学発がんにおけるクロモスリップシスの関与.
日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

山上洋平, 石井雄二, 高須伸二, 笠松健吾, 相馬明玲, 豊田武士, 村上智亮*, 小川久美子: ラット初代肝細胞を用いたacetamideが誘発する大型小核の形成機序に関する研究.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

* 東京農工大学

高須伸二, 石井雄二, 相馬明玲, 笠松健吾, 山上洋平, 豊田武士, 小川久美子: *gpt delta*ラットを用いた6-methoxyquinolineの*in vivo*変異原性の評価.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

山上洋平, 石井雄二, 高須伸二, 相馬明玲, 笠松健吾, 豊田武士, 村上智亮*, 小川久美子: アセトアミド誘発の大型小核によるchromothripsisの発生機構.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.30)

* 東京農工大学

赤木純一, 水田保子, 畠山瑞穂, 赤根弘敏, 松下幸平, 豊田武士, 小川久美子: F344ラットへの反復経口投与によりパイル板に沈着した二酸化チタン粒子による生

体影響の検討.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.30)

石井雄二, 相馬明玲, 山上洋平, 笠松健吾, 高須伸二, 豊田武士, 小川久美子: 低分子アミド化合物によるラット肝細胞質内封入体形成の検討.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.30)

佐藤順子^{*1}, 藤原利久^{*2}, 飯田麻里^{*3}, 小川久美子, 神鳥仁志^{*4}, 仲辻俊二^{*5}, 畠山洋文^{*6}, 岩田聖^{*7}: イヌ一般毒性試験常用所見集: JSTP国際委員会・国際用語担当によるCommon Finding Listの公表.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.30)

*¹ メディフォード(株)

*² (株) 新日本科学

*³ University of Wisconsin-Madison

*⁴ Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

*⁵ Altasciences, Inc.

*⁶ (株) 新日本科学イナリサーチセンター

*⁷ (株) ルナパス毒性病理研究所

赤根弘敏, 高須伸二, 魏民^{*1}, 藤岡正喜^{*1}, 豊田武士, 石井雄二, 畠山瑞穂, 森川朋美, 津田洋幸^{*2}, 小川久美子: 吸入による毒劇物の判定における経気管肺内噴霧投与(TIPS)法の有用性の検討.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.31)

*¹ 大阪公立大学

*² 名古屋市立大学

高須伸二, 赤根弘敏, 石井雄二, 豊田武士, 津田洋幸^{*1}, 小川久美子: 経気管肺内噴霧投与(TIPS)法による急性毒性試験における投与液量および投与濃度の影響.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.31)

* 名古屋市立大学

畠山瑞穂, 豊田武士, 赤木純一, 赤根弘敏, 森川朋美, 小川久美子: 発がん機序に基づく免疫染色を用いたラット肝発がん物質の早期検出法の検討.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.31)

松下幸平, 豊田武士, 赤木純一, 水田保子, 小川久美子: コリスチン誘発腎毒性のメカニズム解明.

第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2025.1.31)

Toyoda T, Matsushita K, Akane H, Uneyama M, Ogawa K: Short-term evaluation of mucosal toxicity and carcinogenicity of aromatic amines in the rat urinary bladder by histopathology and γ -H2AX immunostaining.

64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.17)

Akane H, Toyoda T, Uneyama M, Morikawa T, Kosaka T*, Aoyama H*, Ogawa K: Effective method for early detection and mechanism estimation of antithyroid chemicals by histopathological and immunohistochemical analyses in rats.

64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.18)

* The Institute of Environmental Toxicology

Ishii Y, Nakamura K, Yamagami Y, Takasu S, Nohmi T, Toyoda T, Shibutani M*, Ogawa K: Investigations of the mechanism underlying acetamide-induced hepatocarcinogenesis in rat.

64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.19)

* Tokyo University of Agriculture and Technology

Yamagami Y, Ishii Y, Nakamura K*, Takasu S, Toyoda T, Murakami T*, Shibutani M*, Ogawa K: Investigation of the involvement of chromothripsis in the acetamide-induced hepatocarcinogenesis in rats.

64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.19)

* Tokyo University of Agriculture and Technology

Ogawa K, Akane H, Takasu S, Gi M^{*1}, Fujioka M^{*1}, Ishii Y, Uneyama M, Morikawa T, Tsuda H^{*2}, Toyoda T: Comparison of the intra-tracheal intrapulmonary spraying (TIPS) and the systemic inhalation methods in rats for the classification of hazardous chemicals based on the GHS acute inhalation toxicity.

64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.19)

^{*1} Osaka Metropolitan University

^{*2} Nagoya City University

Akagi J, Mizuta Y, Uneyama M, Akane H, Matsushita K, Toyoda T, Ogawa K: Study of the biological effects of titanium dioxide with three different crystallite sizes following repeated oral administration in F344 rats. 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2025.3.19)

畠山瑞穂：ネコの消化管上皮性腫瘍の発生状況および病理発生機序に関する研究。

第12回日本獣医病理学専門家協会学術集会 (2025.3.28)

畠山瑞穂、チャンバーズジェームズ*、赤根弘敏、豊田武士、内田和幸*：IL-1 レセプターアンタゴニストKOマウスに生じた滑膜肉腫の1例。

第12回日本獣医病理学専門家協会学術集会 (2025.3.28)

* 東京大学

田中信乃介*、大高直子*、佃十玖*、石井孝昌*、岩崎雄介*、伊藤里恵*、松下幸平、石井雄二、穢山浩*：蛍光検出HPLCを用いた抗腫瘍薬シスプラチン誘発ラット腎線維化モデルにおけるグリコサミノグリカンの分析。日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

* 星薬科大学

赤木純一、水田保子、畠山瑞穂、赤根弘敏、松下幸平、豊田武士、小川久美子：ラットへの経口摂取によりパイエル板に取り込まれた二酸化チタンナノ粒子の毒性影響の検討。

日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

伊澤和輝：ecNGSってなんだ？。

日本環境変異原ゲノム学会第84回MMS研究会 (2024.6.13)

鈴木孝昌：様々なEC-NGS法の特徴。

日本環境変異原ゲノム学会第84回MMS研究会 (2024.6.13)

鈴木孝昌：Error-corrected next generation sequencing (ecNGS) の現状。

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3)

堀端克良、佐々木沙耶、杉山圭一：Detection of genotoxic reactions by analyzing DNA damage response using chromatin immunoprecipitation。

第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.3）

川田憲一^{*1}, 台蔵彩子^{*2}, グルーズピーター, 清水雅富^{*1}: Effects of age and fatty acid intake on AGEs production.

第71回日本栄養改善学会学術総会（2024.9.6）

*¹ 東京医療保健大学

*² 聖徳大学

台蔵彩子^{*1}, 川田憲一^{*2}, グルーズピーター, 清水雅富^{*2}: 脂肪酸組成の異なる食餌摂取が老年マウスの脂質代謝に与える影響.

第71回日本栄養改善学会学術総会（2024.9.6）

*¹ 聖徳大学

*² 東京医療保健大学

Mizuno T*, Kikuchi Y*, Yoshikai Y*, Furuham A, Nemoto S*, Yamada T, Kusuvara H*: The impact of notational inconsistencies in SMILES for QSAR prediction with chemical language models.

EUROTOX 2024 (2024.9.9)

*University of Tokyo

Furuham A, Sugiyama K, Honma M: Ames mutagenicity investigation of aromatic, cyclic and their related N-nitrosamines.

55th Annual Meeting of The Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2024.9.10)

寺越菜央^{*1}, 山北啓吾^{*1}, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 菅澤薰^{*2}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: DNA鎖切断に起因するインターフェロン応答における核酸センサーcGAS, IFI16の役割.

第31回日本免疫毒性学会学術年会（2024.9.19）

*¹ 千葉大学

*² 神戸大学

田中陽菜^{*1}, 山北啓吾^{*1}, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 藤木亮次^{*1}, 金田篤志^{*1}, 菅澤薰^{*2}, 浦聖恵^{*1}, 佐々彰^{*1}: DNA修復の機能不全によるDNA鎖切断を伴わない自然免疫応答メカニズムの解明.

第31回日本免疫毒性学会学術年会（2024.9.19）

*¹ 千葉大学

*² 神戸大学

堀端克良, 佐々木沙耶, 杉山圭一: クロマチン免疫沈降法を利用したアルキル化剤誘発遺伝毒性反応の検出.

第83回日本癌学会学術総会（2024.9.21）

津田雅貴: チロシル-DNAホスホジエステラーゼが関与する新規DNA二本鎖切断修復経路.

第84回日本癌学会学術総会（2024.9.21）

鈴木孝昌, 尤馨悦*, 伊澤和輝, 津田雅貴, 本間正充, 横洋*, 杉山圭一: PECC-Seq法の開発から学ぶエラー修正NGS (ecNGS) 法の残存エラーの要因.

第83回日本癌学会学術総会（2024.9.21）

* 上海交通大学

津田雅貴: DNA二本鎖切断修復機構の理解を目指した多角的アプローチ.

日本放射線影響学会第67回大会（2024.9.26）

津田雅貴: 三次元培養に関する最新論文紹介.

MMS研究会・3D組織モデルを用いた遺伝毒性研究 第3回勉強会（2024.10.4）

津田雅貴, 清水直登, 濱田優作, 伊澤和輝: TDP2によるDNA修復メカニズムを活用した疾患治療の可能性.

第47回日本分子生物学会（2024.11.27）

濱田優作, 津田雅貴: 相同組換え中間体解消における動的変化を可視化する技術の開発.

第47回 日本分子生物学会（2024.11.27）

伊澤和輝, 津田雅貴, 鈴木孝昌, 本間正充, 杉山圭一: ラット試料を用いたecNGSによる*in vivo*変異原性評価法の確立に向けた研究.

第47回 日本分子生物学会（2024.11.27）

山田治人*, 山北啓吾*, 小田切瑞基*, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 浦聖恵*, 佐々彰*: 化学物質に起因するエピジェネティック作用の双方向評価レポーター試験法の確立.

第47回日本分子生物学会年会（2024.11.29）

* 千葉大学

山北啓吾*, Yuanzhe C*, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 藤木亮次*, 金田篤志*, 浦聖恵*, 佐々彰*: ATAC-seqによるクロマチン構造変化を指標とした高次ゲノム不安定性評価.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

* 千葉大学

安井学, 鵜飼明子, 本間正充, 杉山圭一: TK6 細胞を用いたグルタチオン補充型 *in vitro* 遺伝子突然変異試験によるフォローアップの試み.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

古濱彩子, 亀山暁子, 三島雅之, 杉山圭一, 本間正充: 化学物質審査での活用を目指した芳香族アミンのAmes 変異原性評価手法の提案.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

鈴木孝昌, 西川可穂子*: 河川水のメタゲノム解析による細菌叢と薬剤耐性遺伝子の探索.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

* 中央大学

津田雅貴: DNAの3'末端に形成された損傷の修復機構.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

津田雅貴: DNA二本鎖切断修復の機序と変異誘発.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.7)

羽倉昌志*, 加藤雅之*, 川上久美子*, 皿田巳子*, 須井哉*, 杉山圭一, 堀端克良, 峯川和之*, 山本美佳*, 山田雅巳*: TA100株の全ゲノム解析: 遺伝子変異のロット間比較 (BMS pilot study).

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

*¹ エーザイ株式会社

*² 元 シミックファーマサイエンス株式会社

*³ 一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所

*⁴ 株式会社ビー・エム・エル

*⁵ シミックファーマサイエンス株式会社

*⁶ アステラス製薬株式会社

*⁷ 防衛大学校

堀端克良, 安東朋子, 吉田愛海, 杉山圭一: 遺伝情報発現に付随する突然変異誘発.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

伊澤和輝: データ解析におけるドメイン知識の重要性: ecNGS解析編.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

濱田優作, 津田雅貴: 相同組換え中間体解消における動的変化の可視化.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

鈴木孝昌, 杉山圭一: ナノポアシークエンサーを用いた簡便迅速なDNAメチル化解析手法の開発.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

降旗千恵, 鈴木孝昌: *In vivo*トキシコゲノミクス試験に有用な4つの遺伝毒性マーカー遺伝子 (*Bax*, *Btg2*, *Ccng1*, *Cdkn1a*).

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

東航平¹, 鈴木孝昌, 青木康展², 山田雅巳¹: 魚類腸内細菌叢解析を用いた水環境中の界面活性剤のモニタリングに関する研究.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

*¹ 防衛大学校

*² 国立環境研究所

古西乃々香*, 北村蒼史*, 鵜飼明子, 安井学, 本間正充, 杉山圭一, 浦聖恵*, 佐々彰*: O6-メチルグアニンDNAメチルトランスフェラーゼが炎症応答制御に果たす役割の解明.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会 (2024.12.8)

* 千葉大学

水野忠快*, 根本駿平*, 吉開泰裕*, 菊池陽介*, 古濱彩子, 山田隆志, 楠原洋之*: 化学言語モデルによる化合物構造の数値化.

第52回構造活性相関シンポジウム (2024.12.12)

* 東京大学

菊池陽佑*, 吉開泰裕*, 古濱彩子, 根本駿平*, 楠原洋之*, 山田隆志, 水野忠快*: SMILESの表記揺れ統一化による化学言語モデルへの影響.

第52回構造活性相関シンポジウム (2024.12.13)

* 東京大学

伊澤和輝, 津田雅貴, 鈴木孝昌, 本間正充, 杉山圭一: NGSを用いたラット試験試料からの*in vivo*変異原性データ取得への取り組み.

第52回構造活性相関シンポジウム (2024.12.13)

Suzuki T: "Error-corrected next-generation sequencing (NGS)" as an ultimate tool for genetic toxicology.

47th Annual meeting of the Environmental Mutagen Society of India. (2025.1.31)

杉山圭一, グルーズピーター, 佐藤薫, 本間正充: エビジェネティック制御に及ぼすカルミン酸の影響.
日本農芸化学会2025年度大会 (2025.3.7)

Furuham A, Kameyama A, Honma M, Sugiyama K: *In silico* mutagenicity assessments of furan compounds related to flavor.

SOT 64th Annual Meeting (2025.3.17)

古濱彩子, 亀山暁子, 杉山圭一, 山田隆志, 小野敦*: 食品健康影響評価における(Q) SARアセスメントフレームワーク (QAF)に基づく変異原性評価法の検討.
日本薬学会第145年会 (2025.3.29)

*岡山大学

Ishida S*, Matsushita T, Sato K, Ashikaga T, Hirabayashi Y, Yamazaki D: Japanese approach to the proposal of an OECD Test Guideline using Gut-Liver MPS for the first pass effect analysis as a Context of Use of toxicokinetic simulator in chemical risk assessment.

MPS World Summit 2024 (2024.6.13)

* Sojo University

Ashikaga T, Tanabe I^{*1}, Ishikawa S^{*1}, Mizoguchi I^{*2}, Yoshimoto T^{*2}: Development of an *in vitro* respiratory sensitization test based on a concept of a co-culture system between humanbronchial epithelial cells and antigen presenting cells.

LIVe 2024 (2024.6.20)

^{*1} Japan Tobacco Inc.

^{*2} Tokyo Medical University

足利太可雄, 大屋賢司, 加藤節史^{*1}, 北川剛史^{*2}, 小島

肇, 寒水孝司^{*3}, 林克彦, 立花滋博^{*4}, 益森勝志^{*5}, 三嶋隆^{*6}, 楠木俊江^{*7}, 清水淳^{*7}, 伏原和久^{*7}, 宮崎和雄^{*7}: ヒト末梢血から樹立した不死化単球細胞株を用いた発熱性物質検出系のバリデーション研究.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

^{*1} 島津ダイアグノスティクス株式会社

^{*2} 富士フィルム和光純薬株式会社

^{*3} 東京理科大学

^{*4} (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

^{*5} 株式会社安評センター

^{*6} (一財) 日本食品分析センター

^{*7}マイキヤン・テクノロジーズ株式会社

飯島一智*, 山城真輝*, 坂本玲奈*, 大野彰子, 足利太可雄: 種々の酸化亜鉛ナノ粒子を対象とした抗原提示細胞活性化能の評価と活性化機序の解析.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 横浜国立大学

Reinke E^{*1}, Ulrey A^{*2}, Hoffmann S^{*3}, Baskett D^{*4}, Corsini E^{*5}, Ashikaga T, Gerberick F^{*6}: Peer Review for Validation Studies: Building Confidence and Transparency Into a New Validation Paradigm.
ASCCT 13th Annual Meeting (2024.10.29)

^{*1} Inotiv

^{*2} Institute for *In Vitro* Sciences

^{*3} SEH Consulting + Services

^{*4} DABMEB Consultancy, LTD

^{*5} Universita degli Studi di Milano

^{*6} GF3 Consultancy, LLC

前田洋祐^{*1}, 佐藤亜紗子^{*1}, 武吉正博^{*1}, 立花滋博^{*2}, 成田和人^{*2}, 小林諒太^{*3}, 島田真理子^{*3}, Priyanka M^{*4}, Rahul D^{*4}, Abhay D^{*4}, Namhee K^{*5}, Miriam J^{*6}, 福山朋季^{*7}, 松本一彦^{*8}, 赤堀有美^{*1}, 足利太可雄, 大野彰子, 小島肇^{*9}, 小野敦^{*10}: 皮膚感作性試験代替法 *a*-Sens[®]のValidation研究 (Phase I).

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

^{*1}一般財団法人化学物質評価研究機構

^{*2}一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所

^{*3}住友化学株式会社

^{*4}Jai Research Foundation (JRF)

^{*5}KoCVAM, Korea Ministry of the Food and Drug

Safety

*⁶ UK Health Security Agency

*⁷ 麻布大学

*⁸ 名古屋市立大学

*⁹ 山口東京理科大学

*¹⁰ 岡山大学

大野彰子, 沖山佳生^{*1}, 山城真輝^{*2}, 飯島一智^{*2}, 足利太可雄: ナノマテリアルの免疫毒性評価系における*in vitro* h-CLAT試験法の有用性.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

*¹ 神戸大学

*² 横浜国立大学

徳永朱莉^{*1}, 木下啓^{*1}, 岩佐帆乃夏^{*2}, 波多野浩太^{*2}, 中村伸昭^{*2}, 足利太可雄, 安部賀央里^{*1}: アミノ酸誘導体結合性試験 ADRA 等を使用した強感作性物質の皮膚感作性強度を予測する機械学習モデルの開発.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

*¹ 名古屋市立大学

*² ホーユー株式会社 総合研究所

石橋直樹*, 大野彰子, 足利太可雄, 飯島一智*: 気管支モデルとの共培養系を用いた各種シリカナノ粒子のTHP-1 細胞活性化能の評価と活性化メカニズムの解析.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

* 横浜国立大学

荒井りおん*, 大野彰子, 足利太可雄, 飯島一智*: ナノマテリアル吸入毒性試験法の開発に向けた、各種シリカナノ粒子曝露によるTHP-1 細胞活性化のメカニズム解析と新規評価指標候補遺伝子の発現解析.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

* 横浜国立大学

坂本玲奈*, 山城真輝*, 大野彰子, 足利太可雄, 飯島一智*: 気管支モデル／THP-1 細胞共培養系を用いた酸化亜鉛ナノ粒子の免疫細胞活性化能の評価.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.30)

* 横浜国立大学

足利太可雄: 皮膚感作性試験代替法の行政活用状況.

日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.12.1)

石ヶ守里加子*, 今井正彦*, 大野彰子, 戸塚ゆ加里*: マウス肝臓オルガノイドを用いたアドバンストマテリアルの毒性評価.

日本環境変異原ゲノム学会 第53回大会 (2024.12.7)

* 星薬科大学

Yoshimoto T*, Katahira Y*, Hasegawa H*, Qu N*, Yamaguchi N*, Horio E*, Ashikaga T, Mizoguchi I*: Prediction of the Respiratory Sensitizing Potential of Chemicals Using DC Coculture and DC/T Cell Coculture Systems.

SOT 64th Annual Meeting (2025.3.17)

* Tokyo Medical University

Ohno A, Okiyama Y^{*1}, Yamashiro M^{*2}, Iijima K^{*2}, Hirose A^{*3}, Ashikaga T: Usefulness of Evaluation System for Activation Potential of Various Nanoparticles Using Monocytic Cell Line THP-1 and Prediction of Toxicity.

SOT 64th Annual Meeting (2025.3.18)

*¹ Kobe University

*² Yokohama National University

*³ Chemicals Evaluation and Research Institute

Aoshima H^{*1}, Ishikawa S^{*1}, Tanabe I^{*1}, Mizoguchi I^{*2}, Yoshimoto T^{*2}, Ashikaga T: Investigation of the Differential Biological Effects of Skin and Respiratory Sensitizing Chemicals Using a Co-Culture System of Bronchial Epithelium and Dendritic Cells.

SOT 64th Annual Meeting (2025.3.19)

*¹ Japan Tobacco Inc.

*² Tokyo Medical University

大野彰子: 動物実験代替法に向けた化学物質の安全性評価手法の開発と国際動向.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

田邊思帆里, カデール サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラー オラシオ^{*2}, パーキンス エド^{*3}, 佐々木博己^{*4}: AI を用いたコロナウィルス及び上皮間葉転換パスウェイ分子ネットワーク活性化予測モデリング.

日本薬学会第145年会 (2025.3.28)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ U.S. Army Engineer Research and Development Center (ERDC), USA

*⁴ 国立がん研究センター研究所

田邊思帆里, カデール サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, パーキンス エド^{*3}, 佐々木博己^{*4}: SPINK1 がんパスウェイとがん幹細胞関連抗がん剤耐性分子ネットワーク制御について。

第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.21)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ U.S. Army Engineer Research and Development Center (ERDC), USA

*⁴ 国立がん研究センター研究所

Yamada T, Maruyama-Komoda T, Jojima K, Yamazoe Y*, Masumura K: Extracting hepatotoxicity-related insights by expert-driven comprehensive analysis on animal toxicity data: Towards new approach methodologies-based risk assessment.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT2025) (2025.3.20)

* Tohoku University

関野祐子^{*1,2}, 筒井泉雄^{*1}, 白尾智明^{*3}, 小金澤紀子^{*3}, 田邊思帆里: 神経毒性と発達神経毒性を評価するための新しい有害転帰経路の提案 (AOP475) : 学習と記憶障害につながるドレブリンの喪失という新しいキーイベント。

第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会 (APPW2025) (2025.3.19)

*¹ 東京大学大学院農学系研究科

*² (NPO) イノベーション創薬研究所

*³ アルメッド

田邊思帆里, カデール サビーナ^{*1}, 小野竜一, カブラル オラシオ^{*2}, パーキンス エド^{*3}, 佐々木博己^{*4}: Eukaryotic initiation factor 2シグナリングの役割とコロナウイルス病態パスウェイへの関与。

第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本

薬理学会合同大会 (APPW2025) (2025.3.17)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ U.S. Army Engineer Research and Development Center (ERDC), USA

*⁴ 国立がん研究センター研究所

Yamamoto S, Maruyama-Komoda T, Kobayashi N, Yamamoto H*, Yamada T: Evaluating the validity of the action limit and PEC in environmental risk assessment workflow for novel pharmaceuticals in Japan.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT2025) (2025.3.17)

* National Institute for Environmental Studies, Japan

Fukushima A^{*1}, Tanabe A^{*1}, Matsumoto M, Umano T, Hayashi T.I^{*2}, Hirose A^{*1}: Impact analysis of prior information on BMDL calculation for continuous data using Bayesian model software tools.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT2025) (2025.3.17)

*¹ (一財) 化学物質評価研究機構

*² 国立環境研究所

Matsumoto M, Wakayama M, Hirose N, Umano T, Iso T, Murata Y: Comparison of Bayesian model averaging BMDLs calculated with ToxicR and BMABMDR for the incidence of animal carcinogenicity.

The 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT2025) (2025.3.17)

Tanabe S: Current status and future of ROS-related KE harmonization.

SKIG meeting (2025.2.12)

Tanabe A*, Fukushima A*, Akahori Y*, Umano T, Hirose N, Matsumoto M, Hirose A*: Comparison of BMDL calculation performance with Bayesian BMD calculation tools using continuous datasets of animal toxicity studies.

米国 SRA Annual Meeting (2024.12.9)

*¹ (一財) 化学物質評価研究機構

田邊思帆里, Sabina Quader^{*1}, 小野竜一, Horacio Cabral^{*2}, 佐々木博己^{*3}, Edward Perkins^{*4}: 活性酸素種からヒト治療抵抗性胃がんに至る有害性発現経路AOP298の開発について.

第7回医薬品毒性機序研究会(2024.12.8)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} U.S. Army Engineer Research and Development Center(ERDC), USA

増村健一, 安東朋子, 堀端克良, 石井雄二, 杉山圭一: アクリルアミドが誘発する生殖系列突然変異の解析. 日本環境変異原ゲノム学会第53回大会(2024.12.8)

松本真理子, 磯貴子, 馬野高昭, 村田康允, 広瀬望, 増村健一, 堀端克良, 杉山圭一: トルエンジイソシアネート経口投与によるMutaMouse肝臓における変異原性. 日本環境変異原ゲノム学会第53回大会(2024.12.7)

井上薰, 川島明, 広瀬明彦^{*1}, 杉山圭一, 出水庸介, 橋本清弘^{*2}, 三島雅之: ニトロソアミン類の発がん性試験結果に基づく発がん性指標の導出とCPCAによる推定許容摂取量との比較.

日本環境変異原ゲノム学会第53回大会(2024.12.7)

^{*1} (一財) 化学物質評価研究機構

^{*2} 武田薬品工業(株)

Inoue K: Validation of the Carcinogenic Potency Categorization Approach (CPCA).

日本環境変異原ゲノム学会 変異原性QSARワークショップ2024(2024.12.4)

山田隆志: (Q) SAR予測の信頼性をどのように評価するか?: OECD (Q) SAR評価フレームワーク (QAF) の概要.

日本動物実験代替法学会第37回大会(2024.12.1)

安部賀央里^{*1}, 山田隆志, 吉成浩一^{*2}, 頭金正博^{*1}: 機械学習によるヒトアセチルコリンエステラーゼ活性阻害のin silico予測モデルの開発.

日本動物実験代替法学会第37回大会(2024.11.30)

^{*1} 名古屋市立大学

^{*2} 静岡県立大学

井上薰, 東賢一^{*}, 酒井信夫, 平林容子: シックハウス(室内空気汚染)問題のための初期リスク評価. 第61回全国衛生化学技術協議会年会(2024.11.21)

* 近畿大学医学部

井上薰, 田原麻衣子, 河上強志: 実態調査により家庭用品から検出された未規制物質の有害性評価. 第61回全国衛生化学技術協議会年会(2024.11.21)

杉森裕樹^{*1}, 伊藤直子^{*1}, 小田嶋剛^{*1}, 堀口逸子^{*2}, 間宮弘晃^{*3}, 大平隆史^{*4}, 増村健一, 平尾磨樹^{*1}, 本間正充: 医療従事者等を対象としたニトロソアミン類の適正な安全性情報提供に関する検討. 第83回日本公衆衛生学会総会(2024.10.30)

^{*1} 大東文化大学

^{*2} 慶應義塾大学

^{*3} 国際医療福祉大学

^{*4} 日本製薬団体連合会(武田薬品工業株式会社)

Yamada T, Maruyama-Komoda T, Jojima K, Yamazoe Y*, Masumura K: Multifaceted data analysis on animal toxicity database for extracting hepatotoxicity-related insights: Towards improved safety assessment integrating new approach methodologies.

13th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology(2024.10.28)

* Tohoku University

Tanabe S, Quader S^{*1}, Ono R, Cabral H^{*2}, Aoyagi K^{*3}, Perkins E^{*4}, Yokozaki H^{*5}, Sasaki H^{*3}: AI-based Modeling to Predict Activation of Molecular Network Pathways in Disease Therapeutics.

14th Global Summit on Regulatory Science(GSRS24) Annual Conference(2024.9.18)

^{*1} ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)

^{*2} 東京大学大学院工学系研究科

^{*3} 国立がん研究センター研究所

^{*4} U.S. Army Engineer Research and Development Center(ERDC), USA

^{*5} 神戸大学大学院医学研究科

田邊思帆里, Burgdorf T^{*1}, Choi J^{*1}, Cooke MS^{*2}, Delrue N^{*3}, Edwards SW^{*4}, Filipovska J^{*5}, FitzGerald

R^{*6}, Halappanavar S^{*7}, Hench G^{*8}, Karschnik T^{*9,10}, LaLone C^{*9}, Landesmann B^{*11}, La Rocca C^{*12}, Luijten M^{*13}, Meek B^{*14}, O'Brien J^{*15}, Omeragic E^{*16}, Perkins E^{*17}, Sachana M^{*3}, Scholz S^{*2}, Song Y^{*18}, Tcheremenskaia O^{*12}, Terron A^{*19}, Tollefsen KE^{*18,20,21}, Villeneuve D^{*9}, Viviani B^{*22}, Wittwehr C^{*11}, Yauk C^{*14}: 活性酸素種関連のAOP (Adverse Outcome Pathway; 有害性発現経路) キーイベント国際調和的開発について。

第14回 レギュラトリーサイエンス学会学術大会
(2024.9.13)

*¹ Federal Institute for Risk Assessment (BfR), Berlin, Germany

*² University of South Florida, Tampa, USA

*³ Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD), Paris, France

*⁴ United States Environmental Protection Agency (U.S. EPA), Research Triangle Park, USA

*⁵ Independent, North Macedonia

*⁶ Universities of Basel and Geneva, Switzerland

*⁷ Environmental Health Science and Research Bureau, Health Canada, Ottawa, Canada

*⁸ RTI International, Washington DC, USA

*⁹ Great Lakes Toxicology and Ecology Division, U.S. EPA, Duluth, USA

*¹⁰ General Dynamics Information Technology, USA

*¹¹ Joint Research Centre (JRC), European Commission, Ispra, Italy

*¹² Istituto Superiore Di Sanità (ISS), Rome, Italy

*¹³ National Institute of Public Health and the Environment (RIVM), Netherland

*¹⁴ University of Ottawa, Ottawa, Ontario, Canada

*¹⁵ Wildlife Toxicology Research Section, Environment and Climate Change Canada, Toronto, Ontario, Canada

*¹⁶ the University of Sarajevo-Faculty of Pharmacy, Sarajevo, Bosnia and Herzegovina

*¹⁷ Environmental Laboratory, U.S. Army Engineer Research and Development Center (ERDC), Vicksburg, USA

*¹⁸ Norwegian Institute for Water Research (NIVA), Oslo, Norway

*¹⁹ EFSA Europe, Parma, Italy

*²⁰ Norwegian University of Life Sciences (NMBU), Ås, Norway

*²¹ Centre for Environmental Radioactivity (CERAD)

Ås, Norway

*²² DiSFeB, University of Milan, Milan, Italy

Ono A^{*1}, Akahori Y^{*2}, Ambe K^{*3}, Yoshinari K^{*4}, Yamada T: Evaluation of the Caco-2 permeability assay as NAM, New approach methodologies, for *in vivo* repeated dose toxicity NOAEL assessment.

58th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2024) (2024.9.11)

*¹ Okayama University

*² Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

*³ Nagoya City University

*⁴ University of Shizuoka

Hayashi T*, Fukushima A*, Akahori Y*, Kawamura T, Yamada T, Hirose A*: Identification of chemical categories of E&Ls having PDEs below the proposed threshold of toxicological concern for non-genotoxic chemicals via intravenous (TTCiv).

58th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2024) (2024.9.10)

* Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

Yamada T, Maruyama-Komoda T, Jojima K, Yamazoe Y*, Masumura K: Extracting hepatotoxicity-related insights through analysis on animal toxicity database - Towards improving *in silico* prediction accuracy.

58th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2024) (2024.9.9)

* Tohoku University

増村健一：医薬品ニトロソアミン不純物のリスク評価の現状と課題。

日本環境変異原ゲノム学会BMS研究会第70回定例会 (2024.7.12)

Yamada T: Development and future challenges in integrating *in silico* approaches to support regulatory decisions in chemical risk assessment.

SOT-JSOT Joint Symposium, 51st Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology (2024.7.5)

田邊思帆里, Quader S^{*1}, 小野竜一, Cabral H^{*2}, 青柳一彦^{*3}, Perkins E^{*4}, 横崎宏^{*5}, 佐々木博己^{*3}：上皮

間葉転換及びコロナウィルス関連分子パスウェイ活性化
状態予測.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ U.S. Army Engineer Research and Development
Center (ERDC), USA

*⁵ 神戸大学大学院医学研究科

井上薰, 東賢一*, 平林容子: シックハウス (室内空気汚染) 問題の詳細リスク評価における有害性評価: エチルベンゼン.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 近畿大学医学部

牛田和夫, 甲斐薰, 山下ルシア幸子, 川島明, 増村健一,
井上薰: 化審法のリスク評価 (一次) 評価 I における発
がん性定量的評価: UR/SF適用の妥当性検討.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

山下ルシア幸子, 牛田和夫, 甲斐薰, 増村健一, 井上薰:
1-ノナノールと1-デカノールの人健康影響に係るスク
リーニング評価: 異なる鎖長アルコールのリードアクロ
ス (RA) による検討.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

Murata Y, Akagi J, Doi Y*, Iso T, Umano T, Ogawa K,
Masumura K, Matsumoto M: Repeated Dose 90-Day
Oral Toxicity Study of Zirconium (IV) Butoxide in
Rat.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* 株式会社DIMS医科学研究所

広瀬明彦¹, 内山恵², 高橋和彦², 六鹿元雄, 松本真
理子, 福島麻子¹, 西村哲治³: 給水設備から溶出され
る化学物質に関するリスク評価スキームの開発.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

*¹ (一財) 化学物質評価研究機構

*² 日本水道協会

*³ 帝京平成大学

Iso T, Murata Y, Hirose N, Umano T, Tsuda M,

Horibata K, Sugiyama K, Masumura K, Matsumoto M:
In vivo mutagenicity evaluation of cobalt acetate
tetrahydrate.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

山田隆志, 丸山 (薦田) 多恵子, 広瀬明彦*: 医薬品の
生態毒性評価を支援するデータベースと *in silico* 予測手
法の開発.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5)

* (一財) 化学物質評価研究機構

Matsumoto M, Yoshida K, Umano T, Murata Y, Hirose
N, Iso T, Yamada T, Masumura K: *In vitro* to *in vivo*
extrapolation (IVIVE) for uterotrophic activity of
4-alpha-cumylphenol.

第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.4)

山本繁史, 丸山 (薦田) 多恵子, 小林憲弘, 山本裕史*,
山田隆志: 国内の新医薬品の環境影響評価フローにお
けるaction limit及びPEC値の妥当性の評価.

第3回環境化学物質合同大会 (2024.7.4)

* 国立環境研究所

廣田衛彦¹, 豊田明美¹, 畠尾正人¹, 笹木修², 山田
隆志, 伊藤晃成³, 小野敦⁴: パネルディスカッション
「化粧品の安全性保証の新たな考え方: Next Generation
Risk Assessment (NGRA) の行政利用に向けたチャレ
ンジ」.

第49回日本香粧品学会 (2024.6.29)

*¹ 日本化粧品工業連合会

*² 医薬品医療機器総合機構

*³ 千葉大学

*⁴ 岡山大学

増村健一: ニトロソアミン類の混入に関するリスク評価.
レギュラトリーサイエンス学会WEBシンポジウム～医
薬品におけるニトロソアミン類の混入リスクへの対応～
(2024.6.7)

田邊思帆里, カデール サビーナ¹, 小野竜一, カブヲ
ル オラシオ², 青柳一彦³, パーキンス エド⁴, 横崎
宏⁵, 佐々木博己³: コロナウィルス分子パスウェイネット
ワークの活性化状態を予測するための人工知能に基づ
いたモデル.

2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）(2024.5.31)

*¹ ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

*² 東京大学大学院工学系研究科

*³ 国立がん研究センター研究所

*⁴ U.S. Army Engineer Research and Development Center (ERDC), USA

*⁵ 神戸大学大学院医学研究科

Tanabe S: Current status of new approaches in environmental diseases and toxicology in Japan.

International Workshop for Environmental Disease 2024 (2024.5.29)

Tanabe S: Introduction and current status of MoR. The Mystery of ROS (V) (2024.5.17)